

KOBE TOURISM BUREAU
神戸観光局

—Why?からはじめる『SDGs教育旅行』—
「**KOBE SDGs 探究**プログラム」

一般財団法人 神戸観光局



神戸にお越しいただく皆さまへ

神戸の魅力は、山と海が近く、六甲山の夜景をはじめとする素晴らしい眺望や、旧居留地、北野異人館、南京町などの異国情緒溢れる街並み、日本を代表するウォーターフロントがあることです。昨今の教育旅行は観光型から探究型にシフトする学校が増えています。

このたび、「探究学習・SDGs・キャリア教育」をテーマに、自ら問いを立て、社会や自分の将来の答えを探していく「神戸SDGs探究教育プログラム」を新たに用意しました。

神戸市を代表する企業・公共施設・大学等に協力をいただき、中学生、高校生向けに神戸オリジナル「産・官・学」の充実した内容が完成しました。

今後、神戸にお越しいただく学校様のコース検討の一助になればと思います。

このプログラムに参加した生徒達が、「探求・SDGs・キャリア」について考え、自分の進路やキャリアを考えるきっかけとして、また自分達の地域と比較して持続可能な社会の担い手になっていただくことを願っております。

SDGs教育旅行について



—Why?からはじめる『SDGs教育旅行』—

「KOBE SDGs探究プログラム」



SDGsをテーマに、自ら問いを立て、
社会や自分の将来の答えを探していく「**探究型教育旅行**」

自分自身で学習のテーマを設定し考え、体験で得た知識を参考にさらに考察を深めることで、**生徒の主体性**が引き出され、将来の行動へとつなげていく。

探究学習

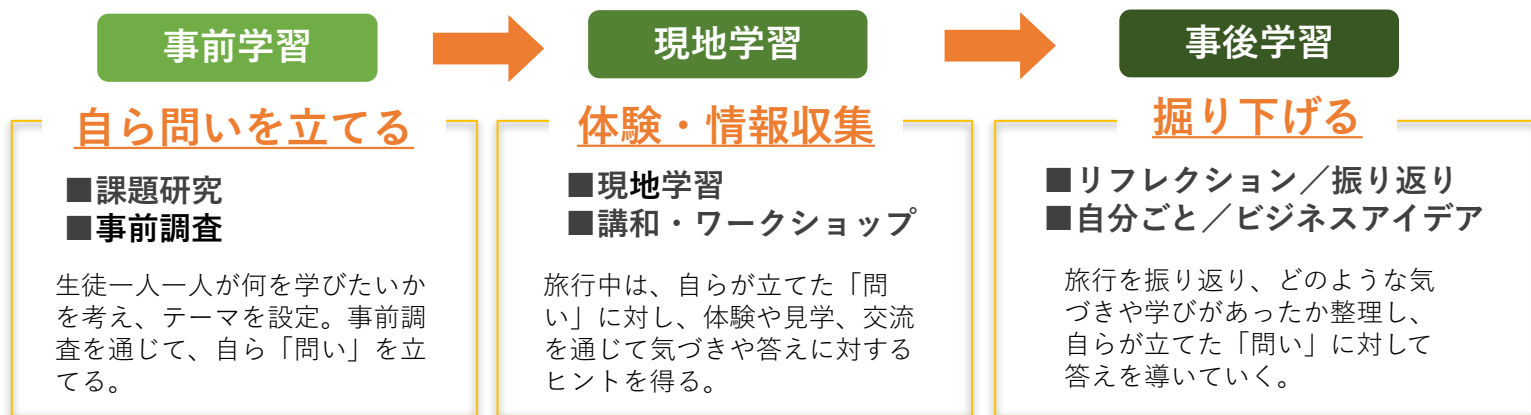
キャリア教育

地元神戸の企業等が実際に行っている社会課題や環境問題を解決する**SDGsの取り組み**を学ぶ。

探究学習やグループでの協働活動などの実践型のキャリア教育や、企業等での体験学習を通じて、自分なりの**職業観を形成**していく。

探究プログラムの特徴

① 「旅マエ～旅ナカ～旅アト」でより深まる探究学習



グループワークや発表を通じてインプットだけでなくアウトプットを行う→実践的なキャリア教育へ

② 「SDGs探究」「キャリア教育」それぞれの観点から学ぶことができる

SDGs探究の観点

地元神戸の企業が実際に行っている社会課題や環境問題を解決するSDGsの取り組みを学び、自分ごととして視野を広め、自分の生活に置き換えて実践する「答え」を出す。

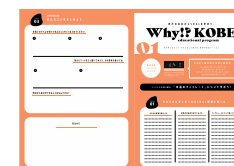
キャリア教育の観点

企業担当者より、企業の取り組みや、抱える課題をヒアリングして、自分が担当者として解決に向けたアイデアや答えを導き出し、社会に出た際の考える力を身につける。



③ 各プログラムに応じた「探究手帳」

それぞれの観点からの学習を導き出すように「探究手帳」を作成して、より効果的かつ効率的な学習が出来る様にサポートを行う。



企業

公共施設

大学

NPO

ボランティア団体

ー5つの協力先がそれぞれプログラムを提供ー

1	(株) アシックス	スポーツ×心身の健康 スポーツメーカーの考えるSDGsとは？	P.8
2	ヴィッセル神戸	一致団結 みんなでつくるサステナブルな社会	P.10
3	NTT西日本 兵庫支店	人をつなぐ、街をつくる、社会を変える。“eスポーツ”での課題解決。	P.12
4	外来生物展示センター + 苅藻島クリーンセンター	「外来生物」を感じ・知り・考える/「クリーンセンター」の役割と機能を学ぶ	P.14
5	川崎重工業(株) + 早駒運輸(株)	その視線の先に、とびっきりの"ワクワク"が待っている。	P.16
6	菊正宗酒造(株)	江戸時代から日本の酒造りは生産から流通まですべてがSDGs!	P.18
7	神戸空襲を記録する会	神戸の空襲と戦争遺跡について、まち歩きをしながら現在と過去の神戸を学ぶ	P.20
8	(株) 神戸クルーザー	停泊中の日本最大級のレストランクルーズ船から学ぶ「循環型SDGs」	P.22
9	神戸大学	六甲山麓のキャンパスで学ぶ水循環～環境に優しい社会の実現をめざす膜工学～	P.24
10	神戸どうぶつ王国	王国の生物多様性保全・環境保全の取り組みを学ぶ	P.26
11	(株) 神戸酒心館	海外の環境アワード受賞! 世界初となるカーボンゼロの酒造りをする酒蔵	P.28
12	神戸新開地・喜楽館	落語を通じて、明るい社会に! 世界を平和に! SDGsの実現に向けて	P.30

(五十音順)

企業

公共施設

大学

NPO

ボランティア団体

—5つの協力先がそれぞれプログラムを提供—

13	(株) 神戸製鋼所	暮らしを支えるKOBELCO製品による気候変動への取組みを学ぼう	P.32
14	神戸ベイクルーズ (株)	神戸港でクルーズをしながら歴史・海洋環境について学ぶ	P.34
15	(株) 神戸ポートピアホテル	神戸ポートピアホテルが取り組む資源・環境への配慮と安心安全なご滞在を目指して	P.36
16	(株) 神戸マツダ	『そこまでやるか?やるんです』時代を走り続けるオンリーワンディーラー	P.38
17	(株) G-7ホールディングス	「野菜生産」を通して障害者雇用とこども食堂の支援	P.40
18	神戸紅茶 (株)	日本で紅茶をスタンダードティーにした先駆者のブランド	P.42
19	シスメックス (株)	ヘルスケアの進化をデザインする	P.44
20	(株) ノーリツ	「おふろの力」と「技術開発力」で世界中の人々の暮らしを幸せにする	P.46
21	ネスレ日本 (株)	「ネスレ サステナビリティ」 キットあなたの行動が世界を変える!	P.48
22	萩原珈琲 (株)	炭火焙煎の製造工程から学ぶ 資源循環型社会の取り組み	P.50
23	白鶴酒造 (株)	未成年にこそ知って欲しい! 江戸時代から続くお酒と自然の持続可能な関係性	P.52
24	東灘処理場 (下水処理場)	下水道の役割りと仕組みから、循環型社会の実現に向けた新たなソリューション事業まで学習する	P.54

(五十音順)

企業

公共施設

大学

NPO

ボランティア団体

ー5つの協力先がそれぞれプログラムを提供ー

25	兵庫ダイハツ販売（株）	地元の大学生が教える新しい移動手段と兵庫ダイハツが担う役割	P.56
26	兵庫トヨタ（株）	お客さま、社員、地域にとって、「良い（いい）会社」となること	P.58
27	（株）フェリシモ	「幸福のチョコレート」と「LOVE&THANKS基金」	P.60
28	フジッコ（株）	「生昆布」で循環型社会の扉を啓く	P.62
29	麻酔博物館+国際くらしの医療館・神戸	「すべての人に健康と福祉を」麻酔の理解を深め、医療次世代事業の革新に触れる	P.64
30	神戸情報大学院大学 /神戸電子専門学校	平和や人道支援（難民支援）について学ぶ	P.66
31	理化学研究所計算科学研究センター	スーパーコンピュータ「富岳」で科学や社会が抱える課題を解決	P.68
32	（株）JTB 神戸支店	CO ₂ ゼロ修学旅行 ～地球にイイネ！ 修学旅行で持続可能な社会に貢献～	P.70
33	IKEA神戸	イケアのサステナビリティ戦略とその取り組みを学ぶ	P.72
34	FC BASARA HYOGO	人工芝コートを雨水で冷却 SDGs取り組むサッカー場	P.74
35	日本テクノロジーソリューション株式会社	「地球をワクワクに変える」 ～社会の課題を発見し、挑人®（=挑戦する人）たちと共に世界をより良く変えていく～	P.76
36	NPO法人Peace & Nature	～日本の課題を肌で感じ、ビジネスチャンス（起業）に対する発想を「Mind Set」する～ グリーンリーダー育成探究プログラム	P.78
37	株式会社ソウルメイト	違いを越えてひとつになれる場をつくり新しい価値を生み出す！ 「平和と公正をすべての人に」を目指して	P.80

プログラム実施場所

プログラム実施場所については
下のMAPを参照願います。



- 1 (株) アシックス
- 2 ヴィッセル神戸
- 3 NTT西日本 兵庫支店
- 4 外来生物展示センター+苅藪島クリーンセンター
- 5 川崎重工業 (株) + 早駒運輸 (株)
- 6 菊正宗酒造 (株)
- 7 神戸空襲を記録する会
- 8 (株) 神戸クルーザー
- 9 神戸大学
- 10 神戸どうぶつ王国
- 11 (株) 神戸酒心館
- 12 神戸新聞地・喜楽館
- 13 (株) 神戸製鋼所
- 14 神戸ベイルーズ (株)
- 15 (株) 神戸ポートピアホテル
- 16 (株) 神戸マツダ
- 17 (株) G-7ホールディングス
- 18 神戸紅茶 (株)
- 19 シスメックス (株)
- 20 (株) ノーリツ
- 21 ネスレ日本 (株)
- 22 萩原珈琲 (株)
- 23 白鶴酒造 (株)
- 24 東灘処理場 (下水処理場)
- 25 兵庫ダイハツ販売 (株)
- 26 兵庫トヨタ自動車 (株)
- 27 (株) フェリシモ
- 28 フジコ (株)
- 29 麻酔博物館+国際くらしの医療館・神戸
- 30 神戸情報大学院大学 / 神戸電子専門学校
- 31 理化学研究所計算科学研究センター
- 32 (株) JTB 神戸支店
- 33 FC BASARA HYOGO
- 34 IKEA神戸
- 35 日本テクノロジーソリューション株式会社
- 36 NPO法人Peace & Nature
- 37 株式会社ソクルメイト

1. アシックス



～誰もが一生涯、運動・スポーツを通じて心も身体も満たされるライフスタイルを創造する～ スポーツ×心身の健康 スポーツメーカーの考えるSDGsとは？



創業哲学 『Anima Sana In Corpore Sano』

-健全な身体に健全な精神があれかし-

神戸市に本社を置く株式会社アシックスは、1949年に創業者・鬼塚喜八郎がスポーツによる青少年の育成を通じて社会の発展に貢献することを志して興した会社です。グローバルに事業を展開するスポーツメーカーである同社が、企業としての活動や、スポーツとサステナビリティとの関連性を未来ある学生達へ発信する場を提供します。

プログラムスケジュール例

プランA

14:30～15:10 アシックススポーツミュージアム見学
15:20～15:45 会社概要及び事業紹介
15:45～16:30 エコポッチャ体験

プランB

14:30～14:40 会社概要及びサステナビリティ活動紹介
14:40～16:30 ミニチュアシューズ ワークショップ

実施場所：株式会社アシックス 本社
実施時間：14時30分～16時30分（120分）
実施曜日：火曜日～金曜日
各プラン詳細：

プランA 人数上限：20名
費用：1,000円（お土産あり）/人
持ち物：学校で捨ててしまっている紙ごみや、
着なくなった服など（エコポッチャで使用）

プランB 人数上限：20名
費用：1,000円（お土産あり）/人

プランA アシックススポーツミュージアム見学 会社の紹介・エコポッチャ体験

前半

アシックス本社に隣接するアシックススポーツミュージアムにて、トップアスリートたちのパフォーマンスを支えるシューズやウェアに実際に触れ、スポーツの楽しさと素晴らしさを体感しながら、アシックスの進化と歴史を学習していただきます。

後半

会社概要及び事業紹介、アシックスのサステナビリティ活動を紹介したのちに、リサイクルへの理解やモノづくりの楽しさなどが学べる「エコポッチャ」作りを体験して頂きます！

プランB 会社概要及びサステナビリティ活動紹介 ミニチュアシューズワークショップ

シューズの生産ラインから出た残材などを用いて、複雑なシューズ製造の工程を体験して頂きます。
モノを大切に作る意識をもって頂くとともに「作る責任、使う責任」について学んで頂くプログラムとなります。

※プランABの同時受け入れは不可となります
※こちらは、プログラム独自の特別見学です。通常のミュージアムご見学を希望される学校様は、
アシックススポーツミュージアムのホームページをご覧ください。
※諸事情による臨時休館で、ご変更をお願いする場合がございますことをご了承ください。



1. アシックス

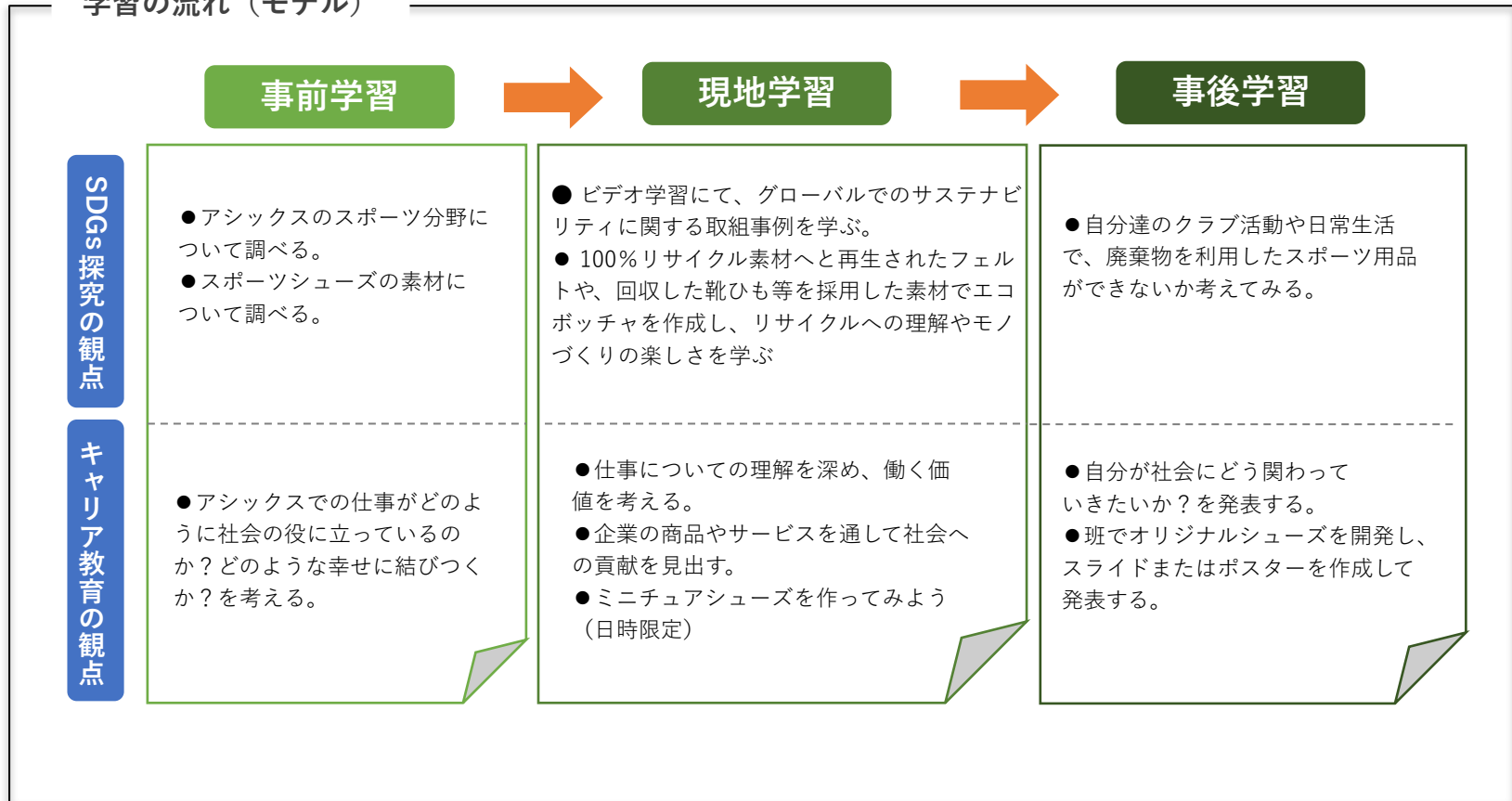


学習のポイント

- ① スポーツメーカーのキャリアについて学ぶ
- ② スポーツメーカーのサステナビリティについて学ぶ
- ③ サステナビリティ体験活動



学習の流れ（モデル）





一致団結 みんなでつくる サステナブルな社会

「一致団結」

試合へ挑む選手と同じエリアを通して神聖な空気を感じたり、記者会見室で実際に多くの人に囲まれてマイクを持ってみたり、普段はできない体験ができます。他にも、防災拠点として指定されている弊施設では、大規模な災害に備えて防災倉庫の中に備蓄品を格納しております。SDGs目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に掲げるように、さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを学びます。

ヴィッセル神戸

これまで、これからも、「環境」、「社会」、「地域」をよりよくするために様々なことに取り組んでまいります。クラブだけではなく、ファン・サポーター、ホームタウン、地域住民、スポンサーと共に「一致団結」して活動することで、すべての人が幸せになる社会を目指します。

プログラムスケジュール例

10:00～	ガイダンス オリジナルPASS(持ち帰り可)配布
10:10～	スタジアムツアー スタジアム・ロッカールームなどの バックヤード
10:40～	防災学習 備蓄倉庫の見学と説明
10:50	質疑応答
11:00	終了

実施場所：ノエビアスタジアム神戸
実施時間：10:00～11:00
所要時間：約1時間
実施可能人員：50名以上～
実施費用：1,100円/人

①ノエビアスタジアム神戸スタジアムツアー

ノエビアスタジアム神戸は、Jリーグの試合はもちろん、サッカーやラグビーなど、世界各国の代表チームが集った大きな国際大会も行われました。また、日本で初めてハイブリッド芝を導入したスタジアムです。芝生を良い状態に保つための工夫を行っています。記者会見室へ入室では、試合時はメディア関係者のみ入れる部屋で記者気分を体験できます。

②プロスポーツ興業の裏側を体験

試合日にVIP専用通路である、LEGEND WALKを特別にご通行いただけます。LEGEND WALKにはヴィッセル神戸に所属した世界的に有名な選手のサイン入りユニフォームが飾られています。有名選手のサイン入り歴代ユニフォームなどが装飾されている選手のロッカールームで、街と共に歩んできた25年以上の歴史を学習します。

③スタジアムを通した防災学習

北スタンド下にある防災倉庫内に備蓄されている2万人分の「防災備蓄品」を実際に見てもらい、神戸をはじめ、今後想定される南海トラフ地震などの大災害が発生した際に、ここから各避難所に物資が配られることや、ヴィッセル神戸が発足した1995年に発生した阪神・淡路大震災の出来事を、子供たちに防災教育の一環として伝えています。



2. ヴィッセル神戸

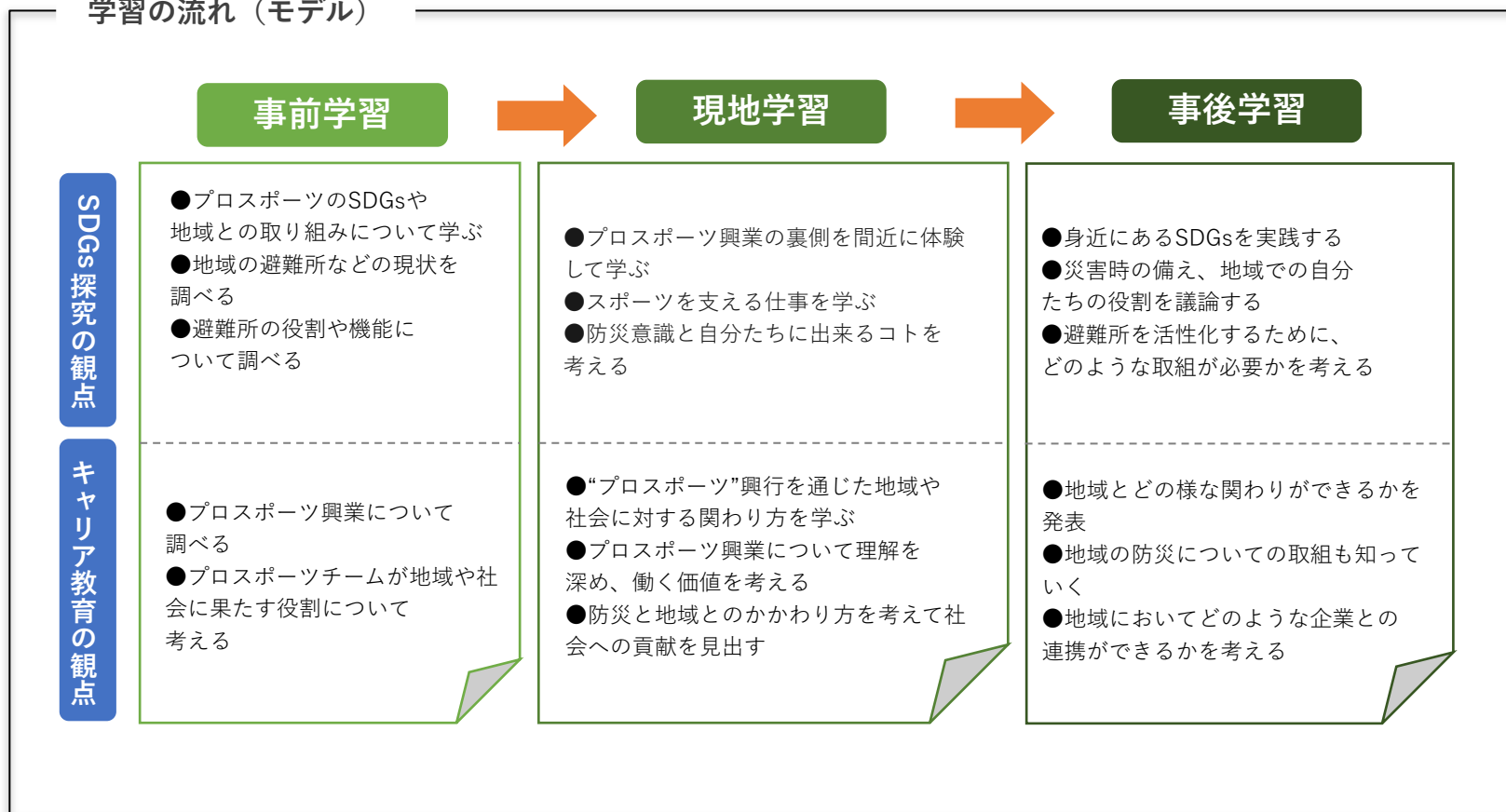


学習のポイント

- ① プロスポーツ興業の裏側を体験
- ② 防災意識と自分たちに出来るコト



学習の流れ（モデル）



3. NTT西日本 兵庫支店



人をつなぐ、街をつくる、社会を変える。“eスポーツ”での課題解決。

「eスポーツとは？ / NTT西日本グループがなぜeスポーツ？」

現在、世界中で盛り上がりを見せているeスポーツ。日本でもイベントや大会が日本各地で開催され、さらに地域活性化の手段としても注目を集めている。コンピュータゲームやテレビゲームを使った対戦型ゲーム競技であるeスポーツ。ICT技術によって地域のあたらしいカタチを創造してきたNTT西日本グループは今、eスポーツで地域にあたらしい賑わいを生み出すことにチャレンジしています。

eSPARKLe KOBE

「eSPARKLe KOBE」は、子供から高齢者、初心者からプロ志望者までが「eスポーツを楽しく学べる場」を提供することを目的に、2021年4月神戸三宮にオープンした、NTT西日本グループ初のeスポーツ体験施設です。



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ① eスポーツ講義
市場動向や社会的価値
- 10:30～ ② eスポーツ体験
チーム戦形式で対戦
- 11:15～ ③ ワークショップ
eスポーツを地域社会にどう活かせる？
自分はどの立場で関わる？

※11名様以上の場合、
②③は別れて交互にご対応します

12:00 終了

実施場所：eSPARKLe KOBE（エスパークル神戸）
 実施時間：10:00～12:00
 所要時間：約2時間00分
 実施可能人員：30名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：6,500円/人

① 自社施設を利用したeスポーツ体験型講座

公的な地域イベント等が多数開催され、初心者からプロゲーマーまでがeスポーツを楽しむ『eSPARKLe Kobe』にて、eスポーツの基本的な内容が学べる体験型プログラム。施設スタッフによるセミナーに加え、実際にeスポーツタイトルを体験してもらうプログラムを通して、ゲームの持つ教育的・社会的価値に注目し、ゲームを通じた多様な学びをお届けします。



② eスポーツのキャリアについて考える

今や中学生の「なりたい職業ランキング」でYouTuberの次に位置するプロeスポーツプレイヤー。一方、一部では「ゲーム＝悪」のイメージもあり、日本では黎明期といえるeスポーツについて、その社会的価値や、自治体、NTT西日本グループ等地域での具体的な取組について学ぶことで、eスポーツに関するキャリアについて考えていただきます。



③ eスポーツでの探求とワークショップ

世界におけるeスポーツの発展はすさまじく、現在、世界のeスポーツ競技人口（推定）は、サッカーに次ぐ1億3,000万人以上。そんなeスポーツを通じ、地域社会へどのような貢献ができ、その中で自分はどうな立場で関わっていきたいのか。経済効果や集客拡大、地域活性化などeスポーツが持つ将来への可能性について考えていただきます。



はじめに

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ

3. NTT西日本 兵庫支店

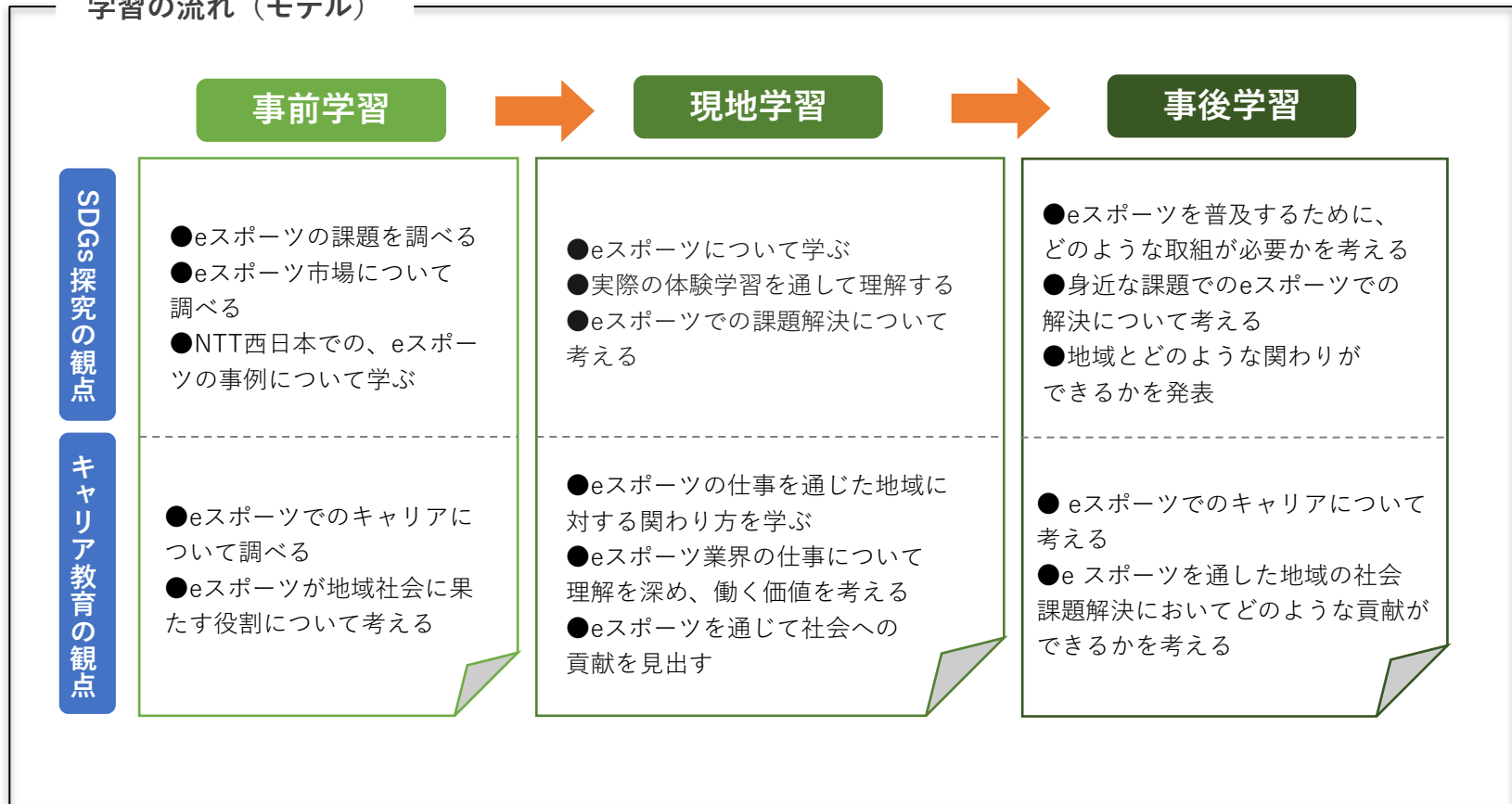


学習のポイント

- ① 「eスポーツ」について学ぶ
- ② 実際の体験学習を通して理解する
- ③ 「eスポーツ」での課題について考える



学習の流れ（モデル）



4. 外来生物展示センター＋苅藻島クリーンセンター

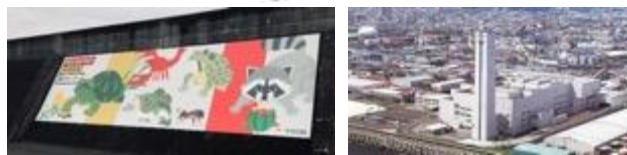


～住み続けられるまちづくりを目指して～ 「外来生物」を感じ・知り・考える/ 「クリーンセンター」の役割と機能を学ぶ



『外来生物展示センター』

神戸市が全国の自治体で初の外来生物に特化した施設として2022年8月に設置しました。実際に外来生物を見る機会やその問題について知ることが少ない中、ブラックバスやアカミミガメ等の生きた個体、アライグマの剥製やその他学習展示をご覧いただき、専門員が解説することで外来生物問題を感じ・知り・考えるきっかけとしていただきます。



かもじま

『苅藻島クリーンセンター』

神戸市では、ごみの減量・資源化に取り組んでいますが、資源化できないごみはクリーンセンターで焼却し、それによって発生する熱で発電を行っています。苅藻島クリーンセンターは、平成29年に焼却を停止、ごみピットなどを中継施設として活用することにより、収集・運搬の効率化、温室効果ガスや自動車公害の削減など環境負荷の低減に努めています。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①外来生物展示センターの見学・説明
- 11:00～ ②苅藻島クリーンセンターの見学・説明
- 11:30～ ③会議室にて質疑応答等
- 12:00頃 終了

①外来生物展示センターの見学・説明

- ・生きた個体やはく製を見学し、外来生物について、専門員から詳しい説明を聞きます。

②苅藻島クリーンセンターの見学・説明

- ・クリーンセンターについて、その役割と機能を現場で見学し、脱炭素化や再生可能エネルギーについても学習する。

③見学後に質疑応答・発表

- ・見学後は、生物多様性保全や自然共生社会、環境問題について疑問に思ったことを、専門員に質問し、グループで話し合い、発表の時間をとります。



実施場所：苅藻島クリーンセンター内で2施設見学
実施時間：10：00～16：00の間
所要時間：約2時間
実施可能人員：最大50名程度
受入団体数：年間5団体（先着順）
※ 詳細については事前に要調整
実施費用：無料

4. 外来生物展示センター＋苅藻島クリーンセンター

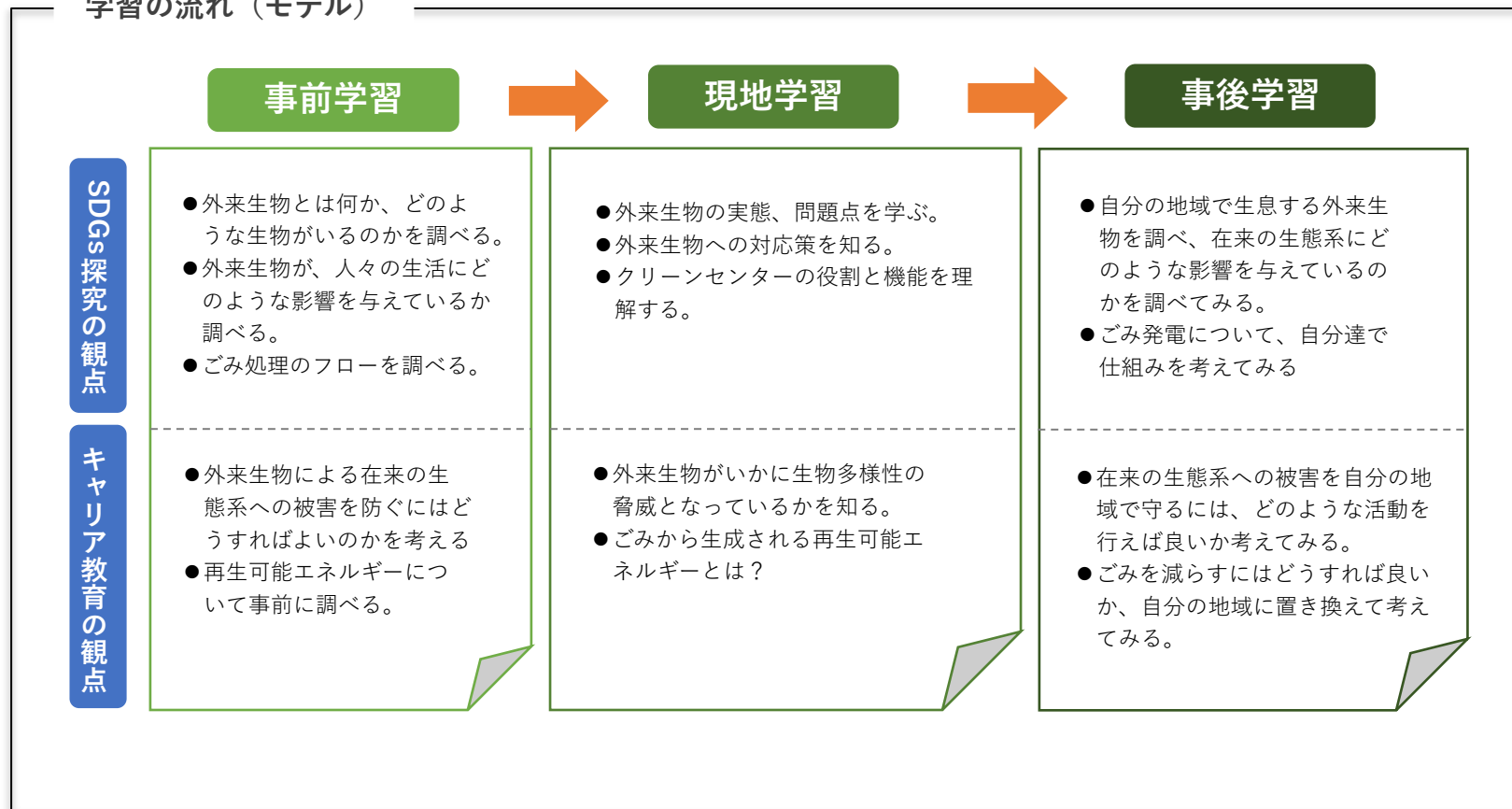


学習のポイント

- ① 「外来生物」の問題を理解する
- ② クリーンセンターの役割を理解する
- ③ 生物多様性保全や環境問題について考える



学習の流れ（モデル）



5. 川崎重工業 + 早駒運輸



HAYAKOMA
since 1885

～世界へ飛び出せ、未来都市の玄関港～

その視線の先に、とびっきりの"ワクワク"が待っている。

「つぎの社会へ、信頼のこたえを」

川崎重工グループは、刻々と変わる社会に、革新的なソリューションをタイムリーに提供し、希望ある未来をつくっていきます。そして、さまざまな枠を超えてスピーディに行動・挑戦することで、自らの可能性を広げ成長し続けていきます。また、川崎重工グループでは、新たな時代の社会課題を見据え、次の3つのフィールドに注力しています。

- ・安全安心リモート社会 「リモートによる新しい価値の創造」
- ・近未来モビリティ 「人・モノの移動を変革」
- ・エネルギー・環境ソリューション 「安定したクリーンエネルギーへの挑戦」

boh boh KOBE

海からの美しい神戸の街並みと東西に広がる六甲山景、壮大な大阪湾をboh boh KOBE号でお楽しみください。タイミングが良ければ、船上から迫力ある飛行機の離発着にも出会えるかも。新しい神戸の魅力を、またひとつ見つけませんか。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ カワサキワールド見学
ものづくりと技術を学ぶ
- 11:00～ 出航（60分クルーズ）船内説明
※水素工場は、見学できません。
- 12:00 着岸
早駒運輸SDGsの取り組みについて
操舵室見学、質疑応答
- 12:30 終了

実施場所：カワサキワールド+boh boh KOBE 号
 実施時間：10:00～12:30 ※月曜定休日
 所要時間：約2.5時間
 実施可能人員：30名～40名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：1,900円/人 ※入場料・乗船料込

①“ものづくり”と“技術”を学ぶ

カワサキワールドでは、川崎重工グループの代表的な製品を「見て」「触れて」いただくとともに、楽しく学びかつ遊びながら「技術のすばらしさ」と「ものづくりの大切さ」を実感していただくことを目指しています。また、boh boh KOBEからは、数々の潜水艦や商船を建造してきた歴史ある川崎重工 神戸工場を海上からご覧いただけます。

②カワサキワールド

港町・神戸、メリケンパークの帆船と波をイメージした神戸海洋博物館内に「カワサキワールド」はあります。かつての文化の発信地であった港で、神戸に生まれ世界にはばたく川崎重工のテクノロジーを体感してください。当たり前前にあると、ものづくりの「大切さ」「思い」はいつもは気づかないかもしれません。Kawasakiのテクノロジーを「見て・触れて」ものづくりを身近に感じてほしい。夢中で楽しむその先に、学びや発見が待っているはずです。

③boh boh KOBE 号でのクルージング

神戸にいながら気軽にリゾート気分を感じられます。1階はオリジナルグッズやカフェが備えられ、2階には大パノラマビューがご覧いただける特別スペース3階には海風を感じられる開放的なオープンデッキを備えております。
定員:550名、総トン数:427トン、全長:38m、幅:10.66m、深さ:3.5m、馬力2,001PS、航海速力:14kt



はじめに

プログラムについて

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ

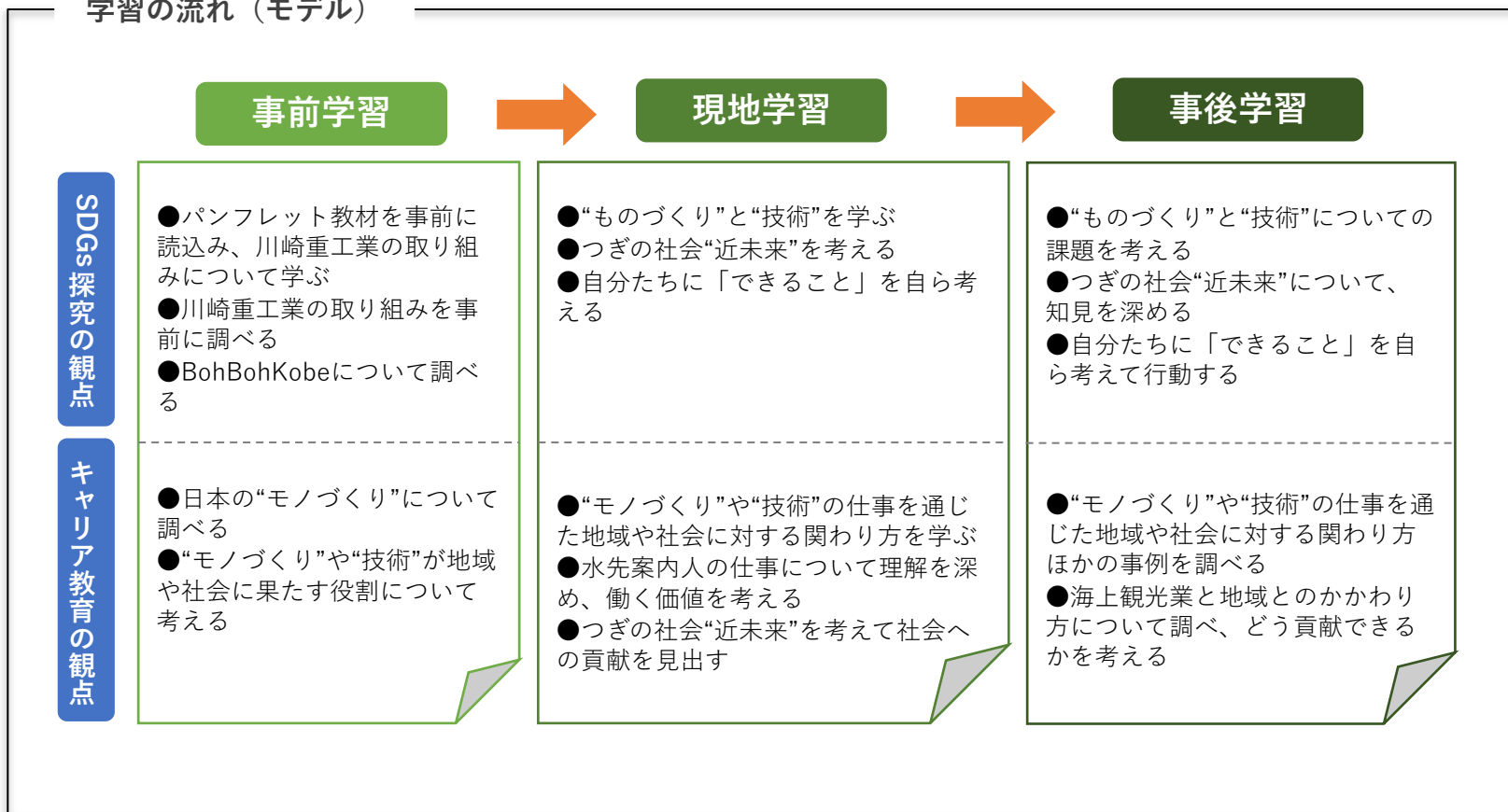


学習のポイント

- ① “ものづくり”と“技術”を学ぶ
- ② つぎの社会“近未来”を考える
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



6. 菊正宗酒造



江戸時代から日本の酒造りは生産から流通まですべてがSDGs！

～ 灘から世界へ ～



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①菊正宗酒造記念館
酒造りとSDGsの関わり パート1
- 10:30～ ②樽酒マイスターファクトリー
酒造りとSDGsの関わり パート2
- 11:00～ ③休憩
- 11:15～ ④菊正宗酒造 キャリア学習
- 12:00 終了

実施場所：菊正宗酒造株式会社 菊正宗酒造記念館
実施時間：10：00～12：00（平日のみ）
または 14：00～16：00
所要時間：約2時間
実施可能人員：30名程度
（日程により調整が必要です）
実施費用：1,500円／人

『長年培った発酵技術』を核に豊かで健やかな生活を創業以来360余年、酒造りに必要不可欠なものである「水」「米」を守ることに尽力し、それが現在、そして未来へと酒造りを伝承しております。菊正宗では酒造りの基礎となる米作りは勿論、貯蔵・物流に用いる酒樽も自然の恵みを利用しており、一貫した自然との共存、SDGsと強い結びつきを大切にしております。

菊正宗酒造記念館 酒造りとSDGsの関わり パート1

現在・過去・未来を自在に駆け巡る日本酒の世界を展開し「知るは楽しみなり」をあますことなく感じ取れる菊正宗酒造記念館。記念館にて酒造りの工程とSDGsの関りを学習して頂きます。

樽酒マイスターファクトリー 酒造りSDGsの関わり パート2

江戸時代から酒の貯蔵、輸送に使われてきた「樽」。菊正宗酒造では「樽」を作る原材料となる奈良の吉野杉の植林や保全に貢献し、1本の吉野杉から伝統の職人技で香りを引き立たせる「酒樽」を1つ1つ製造します。

菊正宗酒造株式会社 キャリア学習

普段スーパーなどで目にする日本酒メーカーで働く人たちは、どんな仕事をしているのか？に迫ります。酒造メーカーで働くことがどう社会に役に立ち人々の生活や心を豊かにしているのか、是非学習してください。



6. 菊正宗酒造

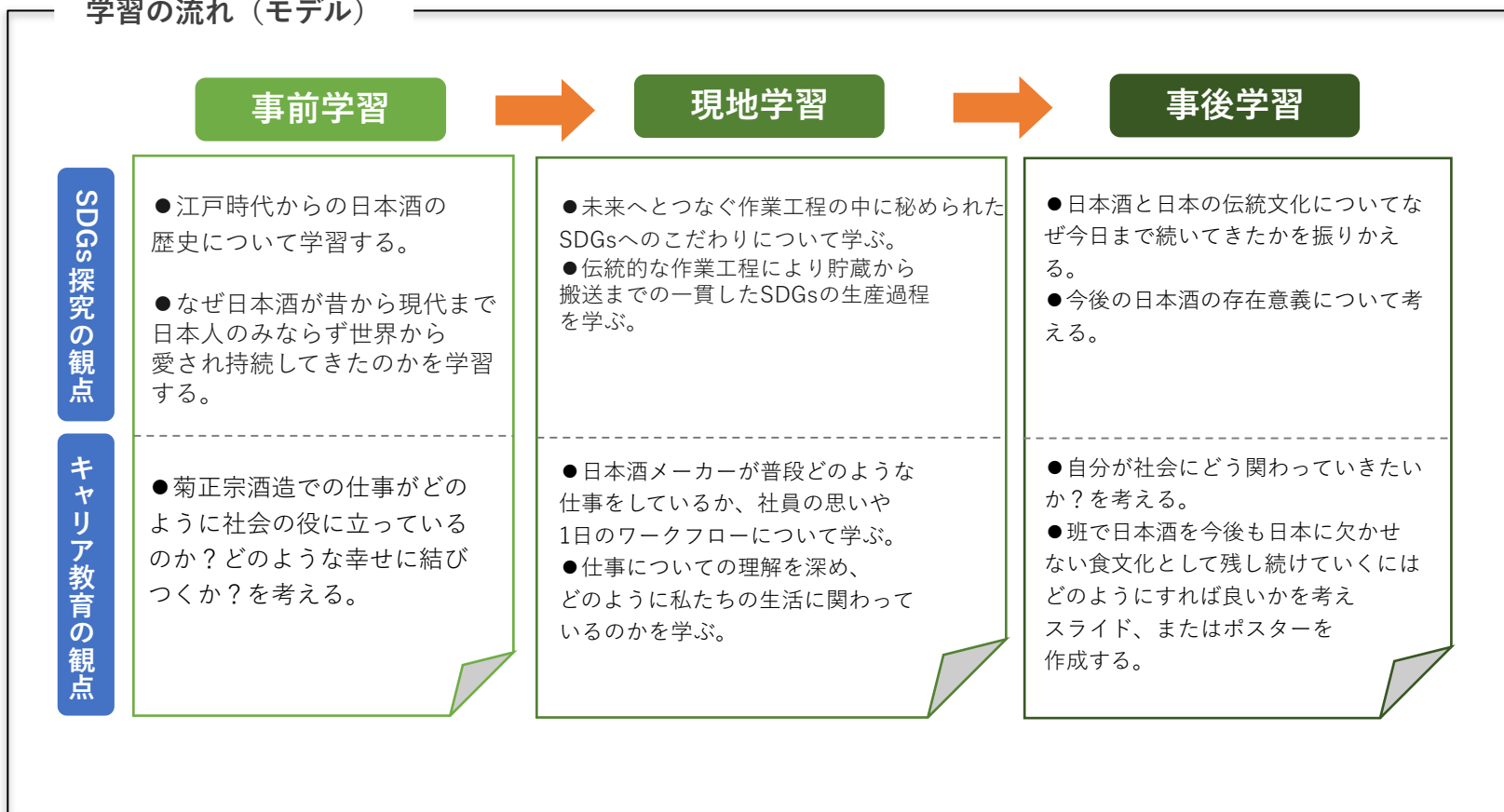


学習のポイント

- ①酒造りとSDGsの関連性を学ぶ
- ②日本酒と日本の伝統文化について学ぶ
- ③今後の日本酒について考える



学習の流れ（モデル）



7. 神戸空襲を記録する会

はじめに

プログラムについて

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ

～平和と公正をすべての人に～

神戸の空襲と戦争遺跡について、 まち歩きをしながら現在と過去の神戸を学ぶ



*神戸新聞社提供

『恒久的な平和を願って』

1945年に何度も繰り返された「神戸大空襲」では、8千人の方が亡くなりました。

平和をつくり守っていくためには、過去の歴史に学び、日本の戦争の痕を知り、戦争の実相を語り伝えていくことが大切だと思います。戦争がどのように引き起こされ、人々の暮らしに何が起こったのか、その地に立ち、空気にふれることで、思いを巡らせることができるのではないかと考えています。

神戸の町の歴史と戦争の歴史について調べ、考えていただければ、そして平和をつくり守っていくためにできることを一緒に考えていただければ嬉しいです。
神戸空襲を記録する会 事務局長 小城 智子



*小城智子様提供

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①会員による神戸空襲・戦争遺跡・歴史について説明を聞きながら指定ルートを歩く。
(事前に希望を伺います)
- 11:30～ ②テーマ別ディスカッション
グループに分かれて、課題テーマにそってディスカッションを実施。
発表をさせていただきます。
- 12:30 終了

実施場所：神戸市内各区 各ルート
 実施時間：平日9：00～16：00の間
 所要時間：約2時間（時間の範囲内で調整可能）
 実施可能人員：30名～180名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：中学・高校生1,000円／人

①会員の方と神戸の空襲、戦争遺跡を歩く

「神戸平和マップをつくる会」の方と一緒に、神戸空襲、戦争遺跡と神戸の歴史も交えた説明を聞きながら歩きます。

10ルート以上設定されていますが、主なルート例として、

■「兵庫区」ルート

JR兵庫駅→兵庫図書館：神戸戦災記念資料室→柳原天神社 電話局殉職女子職員の慰霊碑→能福寺兵庫大仏→平清盛像→大輪田橋
空襲のあと 出在家町慰霊碑→薬仙寺 慰霊碑等が整備されている

■「東灘区」ルート

阪神石屋川駅→東明神社：銃弾痕→石屋川公園「火垂るの墓モニュメント」→御影公会堂爆弾のあと→成徳小学校皇紀2600年記念石灯籠



*神戸新聞社提供



*神戸新聞社提供

②テーマ別ディスカッション

- ・公共施設会議室にて、課題テーマにそって、グループディスカッションを行い、発表します。
- ・東灘区、灘区ルートでは、神戸大空襲と阪神大震災に被災した御影公会堂内でのディスカッションを予定しております。



*神戸観光局提供

7. 神戸空襲を記録する会

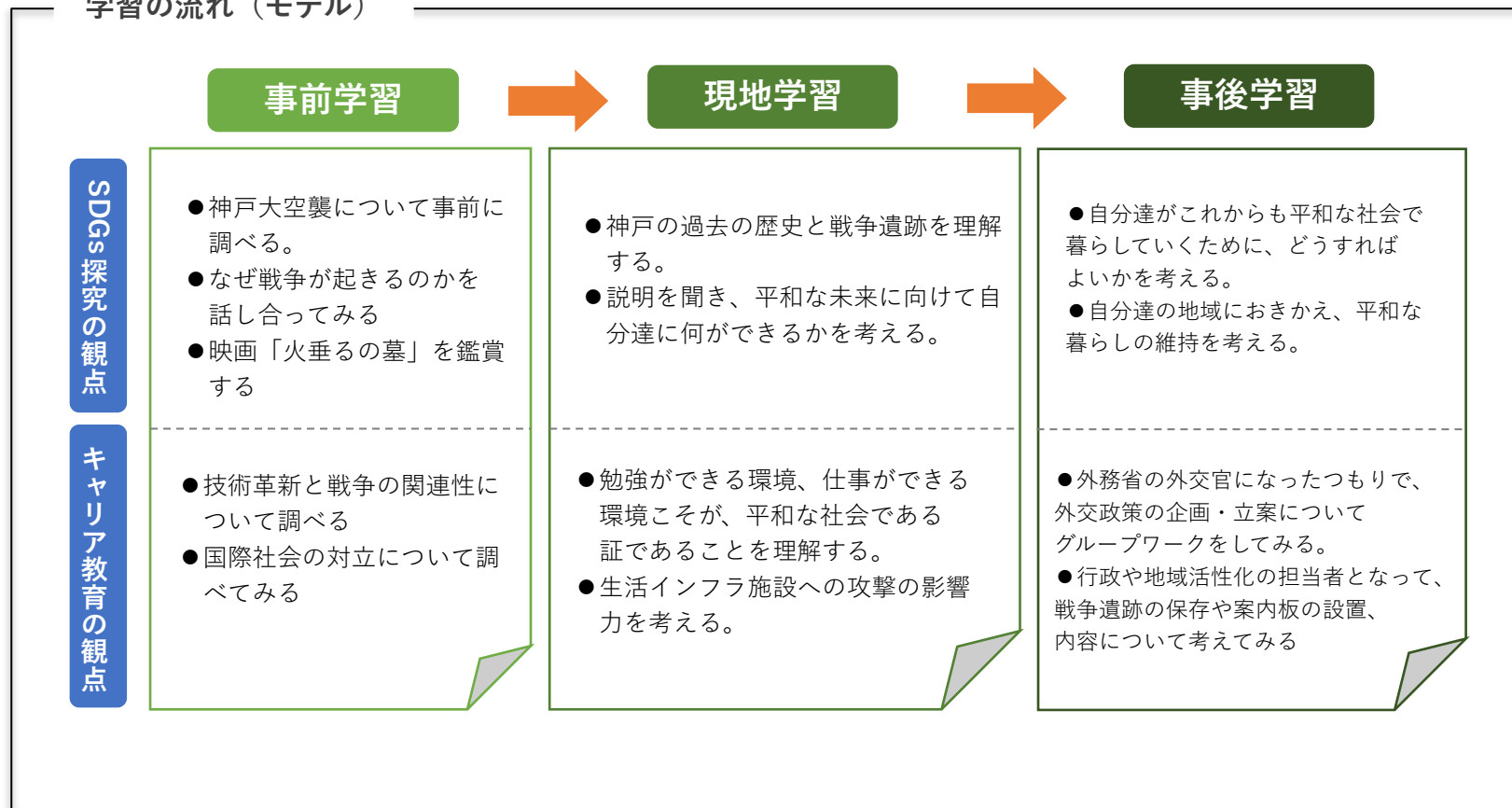


学習のポイント

- ① 神戸の町の歴史と戦争の歴史について理解する
- ② 国際平和を自分ごととして考える
- ③ 平和な未来の社会に向けて自分の役割を考える



学習の流れ（モデル）



8. 神戸クルーザー

～島国の日本だからこそ、海について考えてみよう～

停泊中の日本最大級の レストランクルーズ船から学ぶ「循環型SDGs」



『The KOBE CRUISE と SDGs』

私たちはクルーズの会社として、神戸港でレストラン船を運航しています。みなさまに美しい海でクルージングをお楽しみいただきたいと考えております。そこで、海の環境問題に関心を持っていただき、SDGsの14番「海の豊かさを守ろう」について、海洋ごみや海の資源の内容を、停泊している船内で、わかりやすく学んでいただきます。

プラスチックフリーな未来の実現

使用している米ストローは、精米の際に出てくる非食用の碎米を使用しています。お米とコーンスターチのみでできているので、ゴミを排出せず、自然界に返しています。



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①神戸クルーザーの取り組みについて講演
- 10:30～ ②ワークショップ
- 11:00～ ③船員による職業体験プログラム
(船内見学ツアー)
・1グループ10名程度で分散
- 11:45頃 終了

①神戸クルーザーの取り組みについて講演

神戸港150年の歴史は【水質汚染】との闘いでもありました。さまざまな取り組みによって現在の綺麗な海になり、それを守るための取り組みを説明します。

②ワークショップ（テーマは「循環型SDGs」）

従来のバイキング料理・テーブルマナー教育に加え、使用するカトラリーを植物性のものをご提供する等の配慮を行っています。（米ストロー等）使い終わった食器を海に放流する事で魚類の発育に繋げる「循環型SDGs」を実体験する事で新たな視点を持っていただきます。そのうえで、自身の身のまわりで取り組める「循環型SDGs」とは何かをグループワークで発表していただきます。



③船員による職業体験プログラム

船員の案内による、各機器の説明（操舵機、レーダー、GPS等）や双眼鏡を使用した海の観察を行います。



実施場所：ルミナス神戸2の停泊船内
実施時間：平日10：00～17：00
(＊事前に確認必要)
所要時間：1時間30分～2時間
実施可能人員：30名～100名
(＊100名以上は要相談)
実施費用：2,000円/人

8. 神戸クルーザー

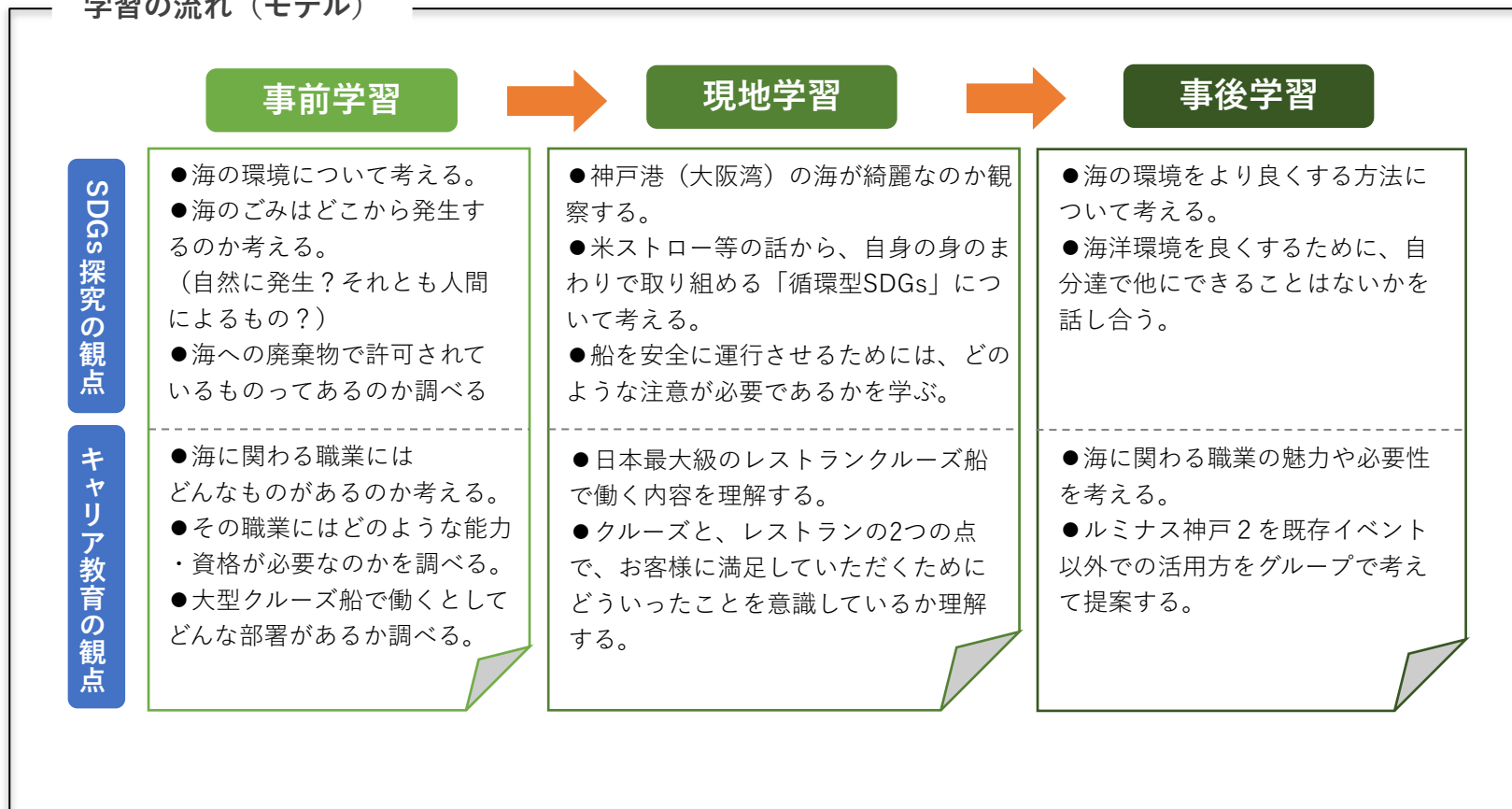


学習のポイント

- ① 海の環境問題について考える
- ② 食べることによる循環型SDGsについて学ぶ
- ③ 船員の仕事を理解する



学習の流れ（モデル）



六甲山麓のキャンパスで学ぶ水循環～環境に優しい社会の実現を目指す膜工学～



プログラムスケジュール例

- 10:00～ 神戸大学におけるSDGsの取り組み
- 10:15～ 先端膜工学研究センター見学
- 11:00～ キャンパスウォーク
- 11:30 終了

実施場所：神戸大学六甲台地区
 実施時間：10:00～11:30
 所要時間：90分
 実施可能人員：35名程度
 実施費用：3,000円程度
 (昼食、お土産の有無による)

膜工学＝環境問題の解決につながるカギとなる技術

現在、人口増加や経済発展などの社会的要因や地球規模の気候変動などの自然的要因により、世界各地で水不足が深刻化しています。また、人類の化石燃料消費量の増加にともなう大気中の二酸化炭素濃度の上昇も、地球規模の課題となっています。そのような環境問題の解決のカギとして膜工学が注目を集めています。

今プログラム3つの特徴

- ① 身近なものからSDGsを学ぶ
- ② 「水循環」から環境問題を考える
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える

持続可能なツーリズムを目指して

SDGsを実現するうえで、世界経済の10%を占めるといわれている観光は無視できない領域です。神戸大学は2021年に、観光分野におけるSDGsを推進している国連世界観光機関の賛助加盟員となりました。

①サイエンス×SDGs

水不足問題を解決する手段として、膜を利用した水の再利用や浄化技術、さらには海水淡水化など、膜技術を用いた水の有効利用がますます重要になっています。また、二酸化炭素の排出抑制の手段として、膜を用いるガス分離技術にも注目が集まっています。



②世界的な研究拠点を見学

神戸大学は、2007年に我が国初かつ唯一の総合的膜研究拠点として「先端膜工学センター」を設置しました。様々な膜技術に関して大学独自の基礎研究から実用化を目指した応用研究まで幅広く、世界最先端の研究と教育に取り組んでいます。



③キャンパスで考える水循環

1902年に誕生した神戸大学は、海と山に面した4つの地区に7つのキャンパスを構え、15,000人以上の学生が学んでいます。工学部や国際人間科学部があるキャンパスを歩きながらSDGsやカーボンニュートラルを実践することについて学びます。



9. 神戸大学

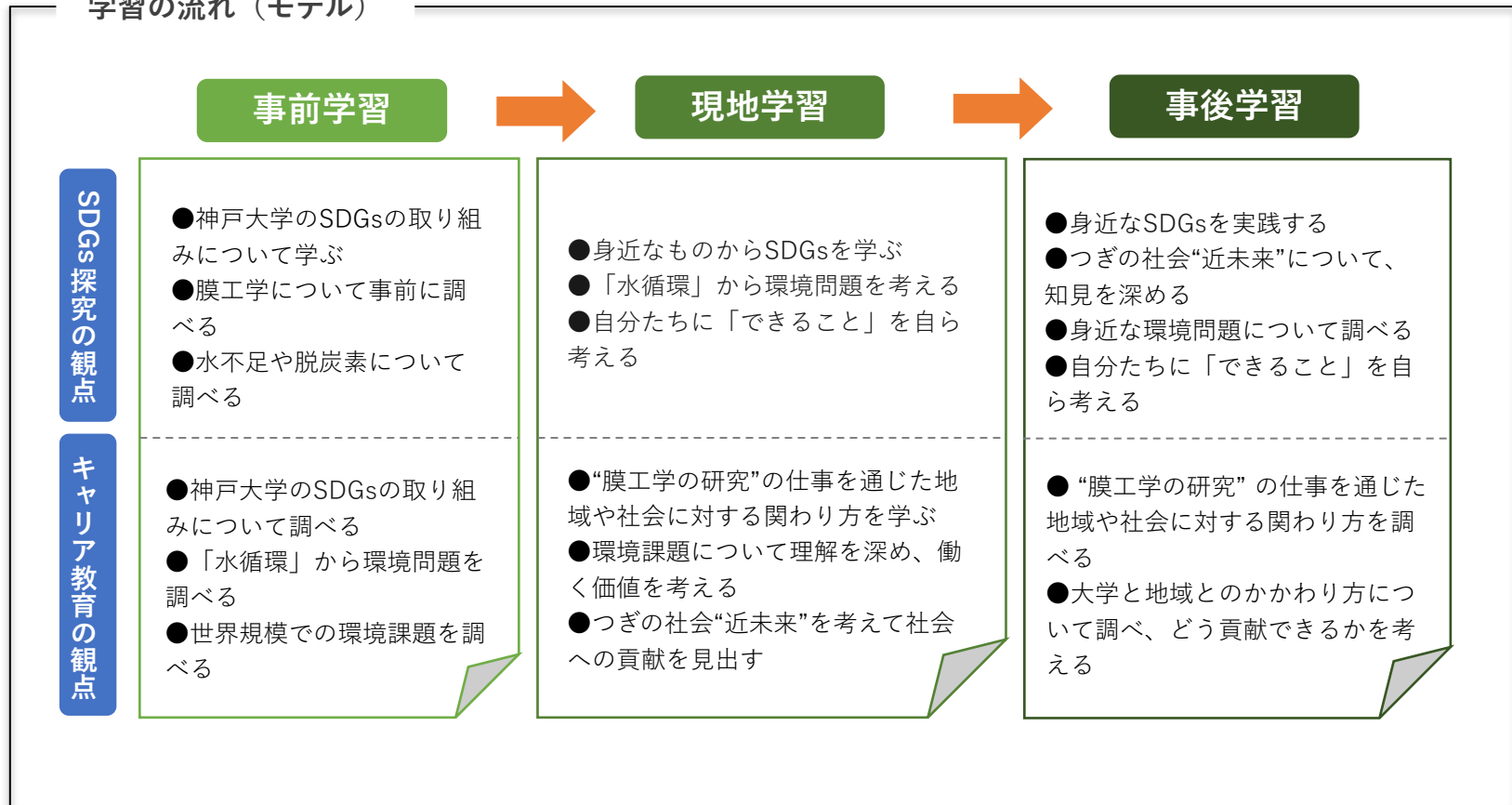


学習のポイント

- ① 身近なものからSDGsを学ぶ
- ② 「水循環」から環境問題を考える
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



10. 神戸どうぶつ王国

はじめに

プログラムについて

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ



～動物たちの未来のためにできること～

王国の生物多様性保全・環境保全の取り組みを学ぶ



『花と動物と人とのふれあい共生パーク』

緑に溢れ、色とりどりの花が咲き誇る園内では、動物たちの生き生きとした姿を間近でご覧いただけます。動物たちとのふれあいやパフォーマンスを通じて、楽しく学べるエデュテイメント施設です。2021年には、日本財団 環境省 共同事業「海ごみゼロアワード2021」で環境大臣賞を受賞しました。

神戸どうぶつ王国が実践しているSDGsの取り組み

- ①使い捨てプラスチック製品の廃止
- ②ツシマヤマネコの生息環境を守る取り組み
- ③ボルネオ保全プロジェクト
- ④生息域外保全
- ⑤ユキヒョウ保全プロジェクト
- ⑥種の保存について、本プログラムで具体的に学んでいただきます。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①職員によるSDGsの取り組み説明
- 10:50頃～ ②王国が取り組んでいるSDGsの取り組みを理解し、知識を深め園内を自由見学
- 12:00頃～ ③終了
+ 「やまねこキッチン」で昼食可能

実施場所：神戸どうぶつ王国
 実施時間：平日10：00～16：00（木曜日休園）
 所要時間：2時間
 実施可能人員：30名～100名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：中学生1,500円・高校生1,700円
 （入園料含む、食事は別途料金要）

①職員によるSDGsの取り組みと仕事内容を説明

- ・王国がSDGs目標に取り組んでいる内容を説明します。
- ・どうぶつに携わる仕事内容について説明します。



②SDGsの取り組みを理解した上で園内を見学（見学例）

- ・動物たちの本来の力をご覧いただける
「フリーフライトバードパフォーマンス“Wings”」や
「ワーキングドッグパフォーマンス“Buddy”」を見学しよう
- ・「ハシビロコウ生態園Big Bill」や「オッターサンクチュアリ～コツメカワウソウ生態園～」では生息環境に合わせた展示場で動物たちが自然界で置かれている状況を学習しよう。
- ・+α 「やまねこキッチン」でお食事
ツシマヤマネコ米を実際に食べることで保全の取り組みについての理解を深める。
ご飯を食べることで、餌場の田んぼを増やし、彼らの生息環境を守る取り組みに参加できる。



10. 神戸どうぶつ王国

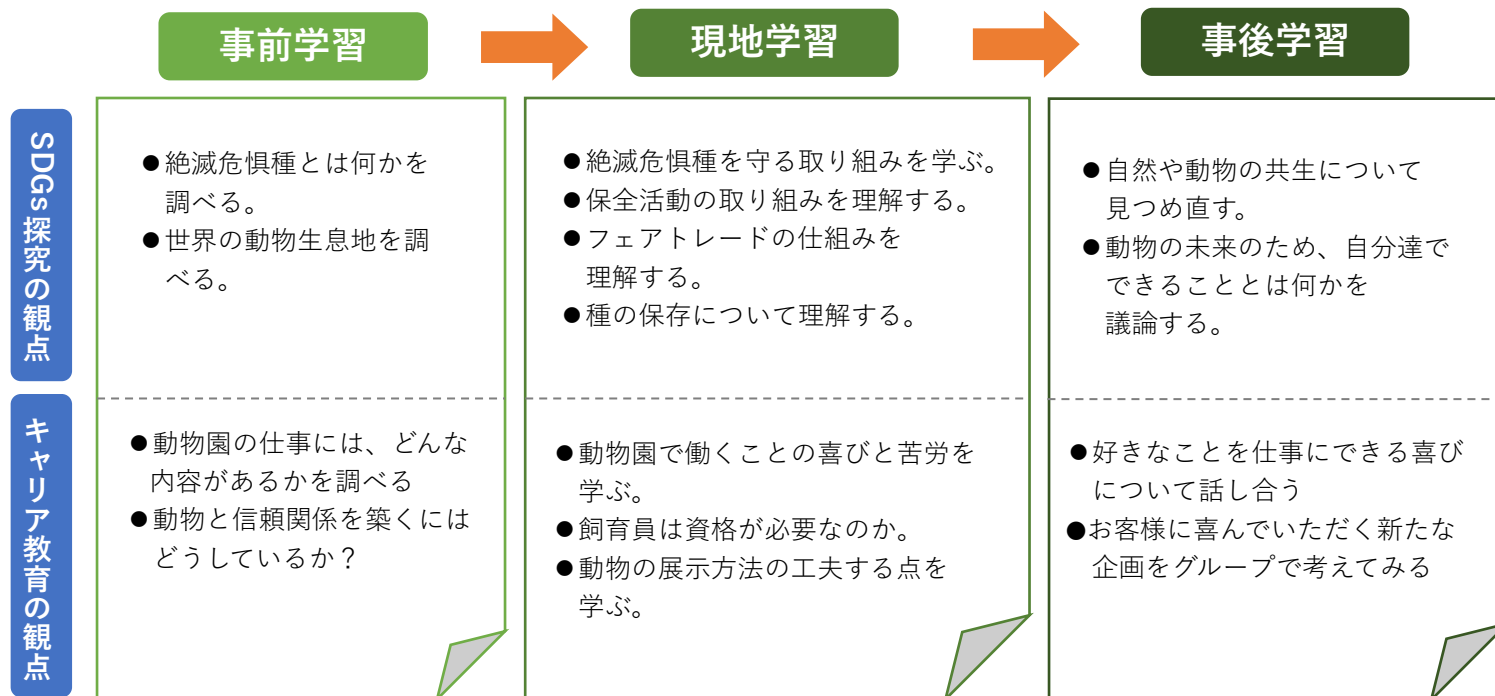


学習のポイント

- ① 生物多様性保全・環境保全について理解する
- ② 環境と動物の関わりについて学習する
- ③ 自然との共生について考える



学習の流れ（モデル）





海外の環境アワード受賞！ 世界初となるカーボンゼロの酒造りをする酒蔵



プログラムスケジュール例

- 10:00～ 酒蔵見学
- 10:30～ SDGsとは？ 神戸酒心館の取組み
- 11:00～ ワークショップ
伝統文化や地場産業の課題を考えよう
- 11:30～ お買い物（要相談）
- 11:45 終了

実施場所：神戸酒心館 酒心館ホール
実施時間：10:00～12:00 14:00～16:00
所要時間：約2時間
実施可能人員：30名～40名程度
（日程により調整が必要です）
実施費用：1,000円／人

『サステナブルな酒造り』

日本酒をつくる酒蔵の継承と発展は、日本の歴史、伝統、文化などの理解のために欠くことができないものですが、昭和48年をピークに日本酒の需要は長期低落傾向にあります。この問題に対して、当社はクオリティーの追求という限定された目的のためだけでなく、持続的生産にも目を向ける必要があると考えました。「サステナブルな酒造り」とは、環境価値（環境負荷の低減）と経済価値（売上増加やコストダウン）を両立することにより、酒蔵の継承と発展につなげようというものです。

神戸酒心館 『福寿』

宝暦元年（1751年）に創業以来、神戸・御影の地で手造りにこだわる酒蔵。「環境負荷をかけないで、おいしい日本酒をつくること」を理念とする。ノーベル賞公式行事において「福寿 純米吟醸」が提供されるなど海外での評価も高い。

①伝統産業・文化を学ぶ

日本酒の原料は米と水です。原材料がシンプルだからこそ、良い日本酒を造るために「良い米」と「良い水」はとても重要なものとなります。当社の酒造りは、天与の名水「宮水」や兵庫特産の酒米「山田錦」、自然の要素が絶妙に、そして永続的に作用しあったものです。



②自社施設を利用したワークショップ

酒心館ホールは、かつての酒蔵を利用した多目的ホールです。江戸時代の大きな梁をはじめ、木のぬくもりを感じる優しい雰囲気と独特の音響効果が他にはない木造ホールとしての特徴です。



③地場産業が抱える諸問題について考える

「誰一人取り残さない」という考えのもと、社会・経済・環境を統合的な視点で捉え、中長期的に問題解決を図るSDGsの考え方が重要になっています。SDGsの達成に向けたサステナブルな酒造りをご紹介します。



11. 神戸酒心館

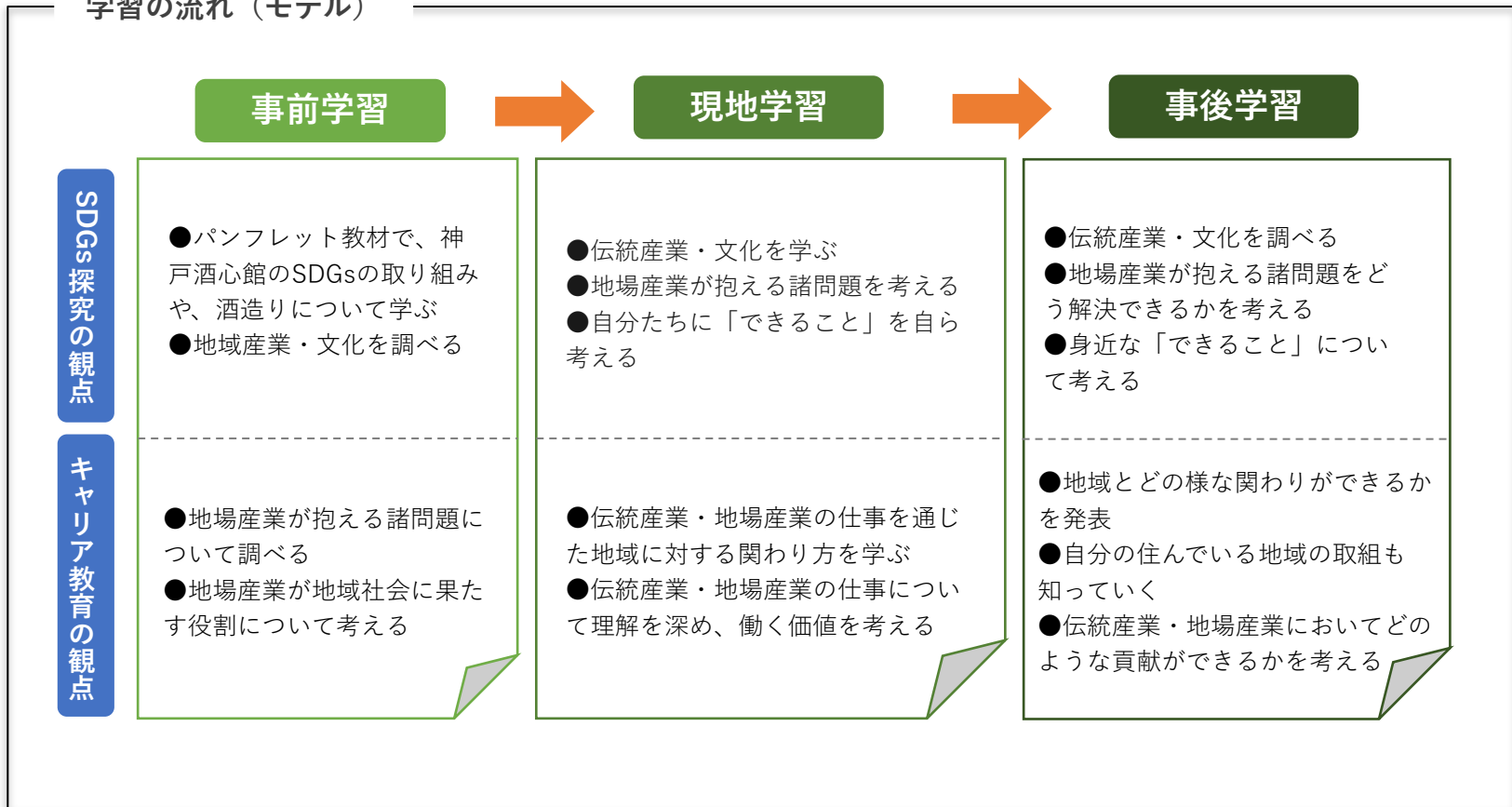


学習のポイント

- ① 水と稲作、酒造りの関連性を学ぶ
- ② 自然環境と酒造りの影響を考える
- ③ 270年の伝統企業の歴史を学ぶ



学習の流れ（モデル）



神戸新開地 喜楽館



落語を通じて、明るい社会に！ 世界を平和に！SDGsの実現に向けて

「神戸新開地・喜楽館の誕生と、上方落語を通じてSDGsを学ぶ」

かつては「東の浅草、西の新開地」と謳われていた歓楽街の新開地に、2018年7月11日に上方落語協会・兵庫県・神戸市・新開地まちづくりNPOの4者が、神戸のまちの活性化と伝統芸能の振興を共に願い、上方落語の定席「神戸新開地・喜楽館」が誕生しました。落語を通じて、社会を明るく公平に、人の平等、世界を平和にできることを、笑って喜楽館で学び、体感していただきます。

当企画の狙い

コロナ禍で人との交流が途絶えたり、ロシアとウクライナの紛争など、最近では明るい話題が少ない中、落語を気軽に聞いていただき、笑い、和んでほしい。若者にも上方落語の魅力を知っていただき、またSDGs落語を通じて、環境や平和について考えていただく機会を作りたいと思います。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ 上方落語とは
上方落語の歴史についての説明
- 10:30～ 笑福亭鶴笑の「笑いで世の中、世界を幸せにする考え方」や「SDGs落語」を鑑賞
または 笑福亭学光の「福祉活動」や「環境落語」を鑑賞
- 11:15～ 生徒からの質疑応答
- 11:30～ バックヤードツアー
- 12:00頃 終了

実施場所：神戸新開地・喜楽館
実施時間：10：00～12：00（要相談）

* 鶴笑師匠または学光師匠の予約を確定する為、3カ月以上前のお問い合わせをお願いします。

所要時間：約2時間（貸切対応）
実施可能人員：80名～180名程度
（日程により調整が必要）
実施費用：3,000円/人（*人数により要相談）

①上方落語の歴史と裏側を知る

上方落語は、大阪や京都を中心とする関西で主に演じられる落語の総称。本格的な演芸場の舞台や裏方の役回り、落語の道具などを紹介。江戸時代から続く上方落語の歴史や、伝統芸能について、説明を聞きます。

②SDGs落語を鑑賞（笑福亭 鶴笑師匠または笑福亭 学光師匠）

●笑福亭 鶴笑師匠が、SDGsパペット落語を提供します。手作りパペット(人形)で、若者にもわかりやすいテーマで落語が鑑賞できます。また「国境なき芸能団」を立ち上げ、笑顔を届ける活動を通じて国際貢献にも取り組まれています。公演実績は、世界35カ国・100都市以上にのびります。アフガニスタンのカブールの病院や難民キャンプに笑いとお救援物資を届けたり、独自の世界平和活動もしています。

●笑福亭 学光師匠は、銀行員から笑福亭鶴光に弟子入り、落語家になった異色派です。「お笑い福祉士」という資格を制定し介護施設等で活動するボランティアの方の養成にも力をいれています。また、落語会のほか、人権、平和、家族、国際等のテーマで講演会活動を行っています。「我が家の環境大作戦」と題し、面白く楽しい「環境落語」も演じています。

③SDGsの学習、自助・共助の探究とバックヤードツアー

特別に館内の一部をご見学いただけます。ステージ前での記念写真も撮影可能です。また、SDGs落語を聞いたうえでグループワークも可能です。（*時間帯、予約状況により可能）



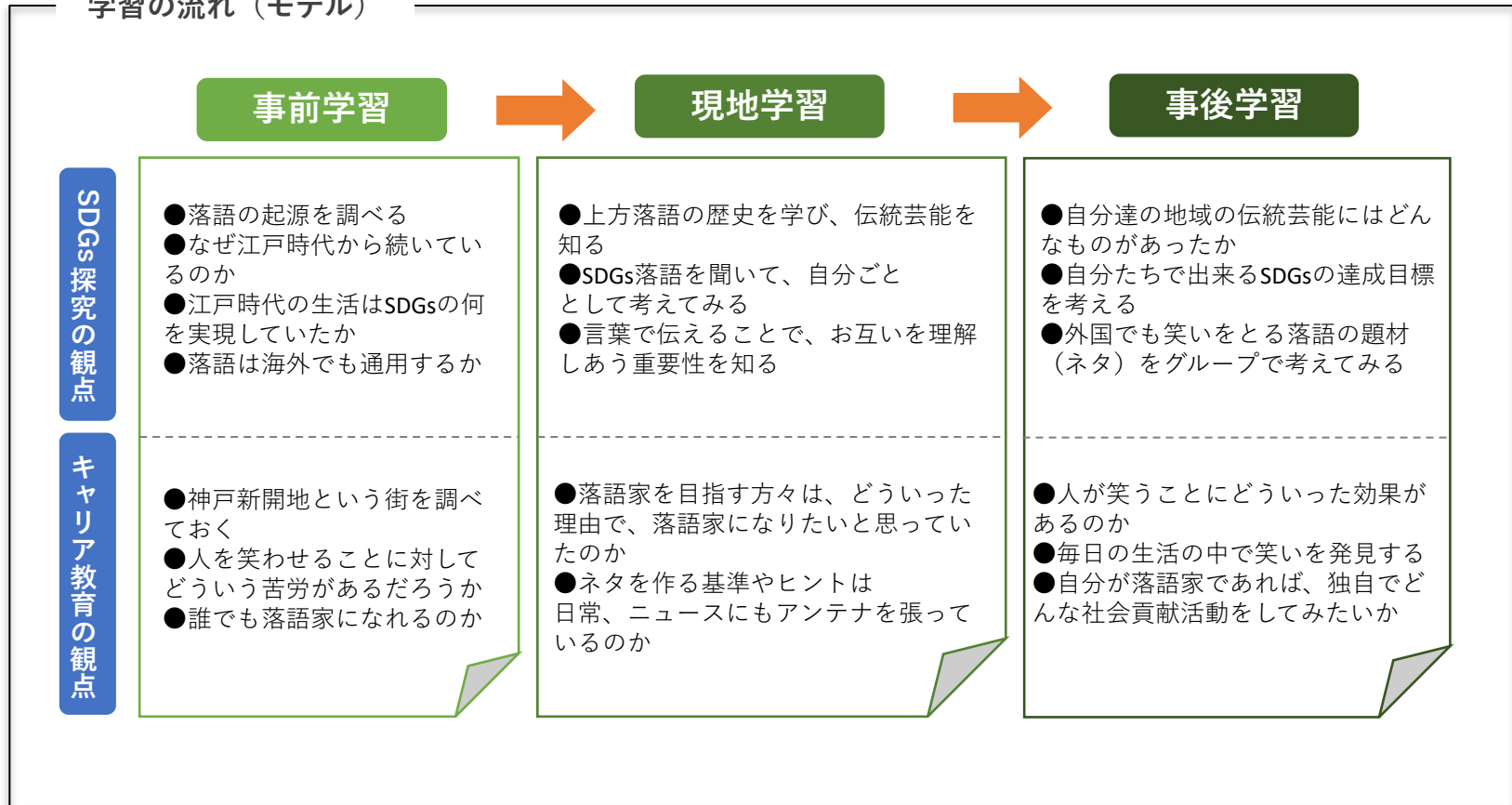


学習のポイント

- ①落語といった伝統芸能について触れてみる
- ②SDGs落語を聞いて、自分ごととして考える
- ③笑うこと、平和についてグループで話し合う



学習の流れ（モデル）





暮らしを支えるKOBELCO製品による 気候変動への取組みを学ぼう



『様々な製品を通じて、気候変動という社会課題に取り組んでいます』
KOBELCOは、1905年の創立以来、100年以上にわたり、社会から求められる課題の解決に挑みつづけてきました。現在は皆さんの暮らしを支える様々な分野で事業を展開しています。今、世界では「気候変動」という大きな社会課題への対応が求められています。KOBELCOのSDGsへの取組みの一例として『様々な製品を通じたCO₂削減への貢献』を中心にお伝えさせていただき、未来ある学生の皆さんに自分自身でできることを考えていただく場を提供します。

低CO₂高炉鋼材 Kobenable Steel

KOBELCOは、独自技術を活用し、自社の製鉄プロセスでのCO₂削減を実現しました。その技術を活用して、低CO₂高炉鋼材“Kobenable Steel”を国内で初めて商品化、実用化しました。



■ Kobenable Steel紹介映像
<https://www.youtube.com/watch?v=xOdIGPFycFs>

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①KOBELCOにおけるSDGsへの取組み
- 10:30～ ②神戸線条工場見学
- 11:30～ ③ワークショップ
- 12:00 終了

実施場所： 神戸製鋼所 灘浜サイエンススクエア、神戸線条工場
 実施時間： 10:00～12:00
 所要時間： 約2時間
 実施可能人員： 40名程度
 実施費用： 1,500円/人

① KOBELCOにおけるSDGsへの取組み説明

地球規模の課題である「気候変動」。気候変動への対策としてCO₂を削減しなければなりません。鉄やアルミなどの素材や、産業機械、建設機械など、暮らしを支える様々な製品を通じたKOBELCOのCO₂削減への貢献について学習いただきます

② CO₂削減に貢献する製品を作る工場を見学

CO₂削減に貢献する製品のひとつである「線材」を製造している工場を見学いただきます。ご見学いただく神戸線条工場では、高温の細長い線材がとても速いスピードで輪になって生産される様子をご覧くださいませ。

③ 灘浜サイエンススクエアでのワークショップ

ワークショップを通して、「気候変動」に対して、「自分たちができること」を考えていただきます。自らの考えを発信し、社員からのフィードバックを貰うことで、教室での授業とは違った学びの場を提供します。



13. 神戸製鋼所

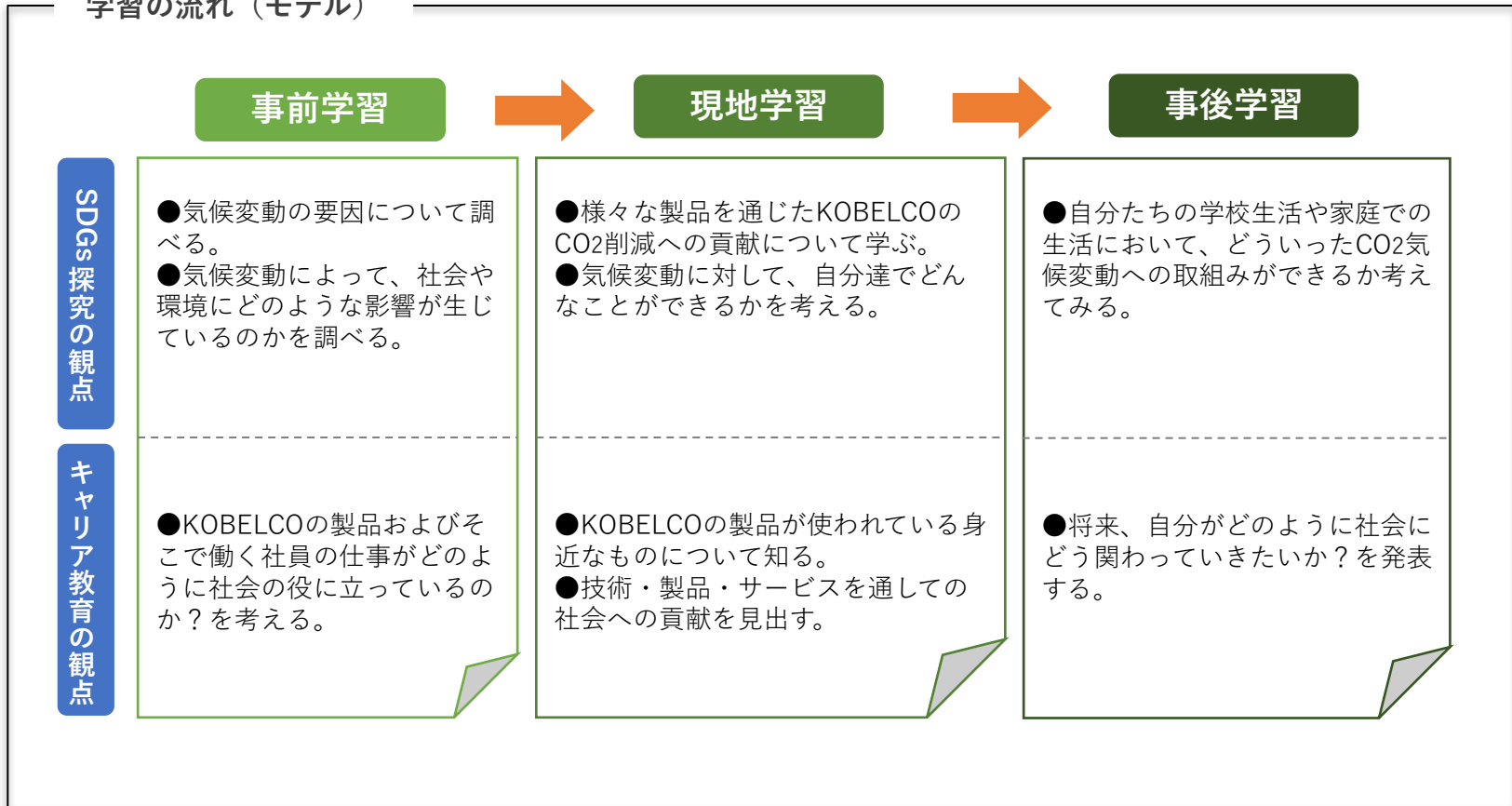


学習のポイント

- ① 暮らしを支えるKOBELCO製品を学ぶ
- ② 製品を通じて「気候変動」への取組みについて知る
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



14. 神戸ベイクルーズ



神戸港でクルーズをしながら歴史・海洋環境について学ぶ



プログラムスケジュール例

- 9:15～ ①停泊船内での講和
- ・神戸ベイクルーズにおけるSDGsの取り組み
 - ～次世代に伝えたい神戸港でのお仕事と魅力～
 - ・神戸港とクルーズの歴史、従業員の遊覧船の仕事などをテーマとした講和。
- 9:45～ ②神戸港クルーズ
- ・港湾関係者からのお話し
 - ・神戸港をクルーズしながら、海洋環境ワークショップ
- 10:30 終了

実施場所：ロイヤルプリンセスor御座船安宅丸
 実施時間：9時15分～10時30分
 所要時間：約75分間
 実施可能人員：50名程度～
 ※日程により調整が必要です
 実施費用：3,500円～/人（50名の場合）
 ※チャータークルーズのため、要相談

美しい神戸の街。魅力的な神戸港を海から満喫。

神戸ベイクルーズは2001年から神戸港で遊覧船事業を行っています。現在は関西最大級の豪華遊覧船「ロイヤルプリンセス」と江戸幕府3代将軍家光公の命によりつくられた安宅丸をモチーフに作られた「御座船安宅丸」の2隻が運航しています。美しい神戸の街と魅力的な神戸港を海から満喫して頂いています。

魅力的な神戸港を守り伝える取り組み

クルーズ船の運行によって海を汚さないための取り組みをしています。また、日頃より積極的に教育プログラムを実施し、おもに地元神戸市の学生にみなとに触れる機会を創出しています。



①神戸ベイクルーズにおけるSDGsの取り組み

停泊中の船内で、神戸港とクルーズの歴史や神戸ベイクルーズでのお仕事について講和を聞いていただけます。「みなとのお仕事」のキャリアについて学んで頂きます。



②神戸港クルーズ～港湾関係者からのお話し～

実際に乗船を体験し、海に触れることで、より海・や港へ関心を持っていただけます。クルーズ中は神戸港の関係者から、神戸港の歴史や役割を学べるお話しを聞いて頂きます。



③海洋環境ワークショップ

川崎・三菱の造船所や神戸空港がある神戸港は、神戸の産業の核を担ってきました。一方、工場排水や貨物船による海洋汚染問題も長年の課題として取り組んできました。海洋環境を守るために自分たちが出来ることは何かをグループワークで考え、発表して頂きます。



14. 神戸ベイクルーズ

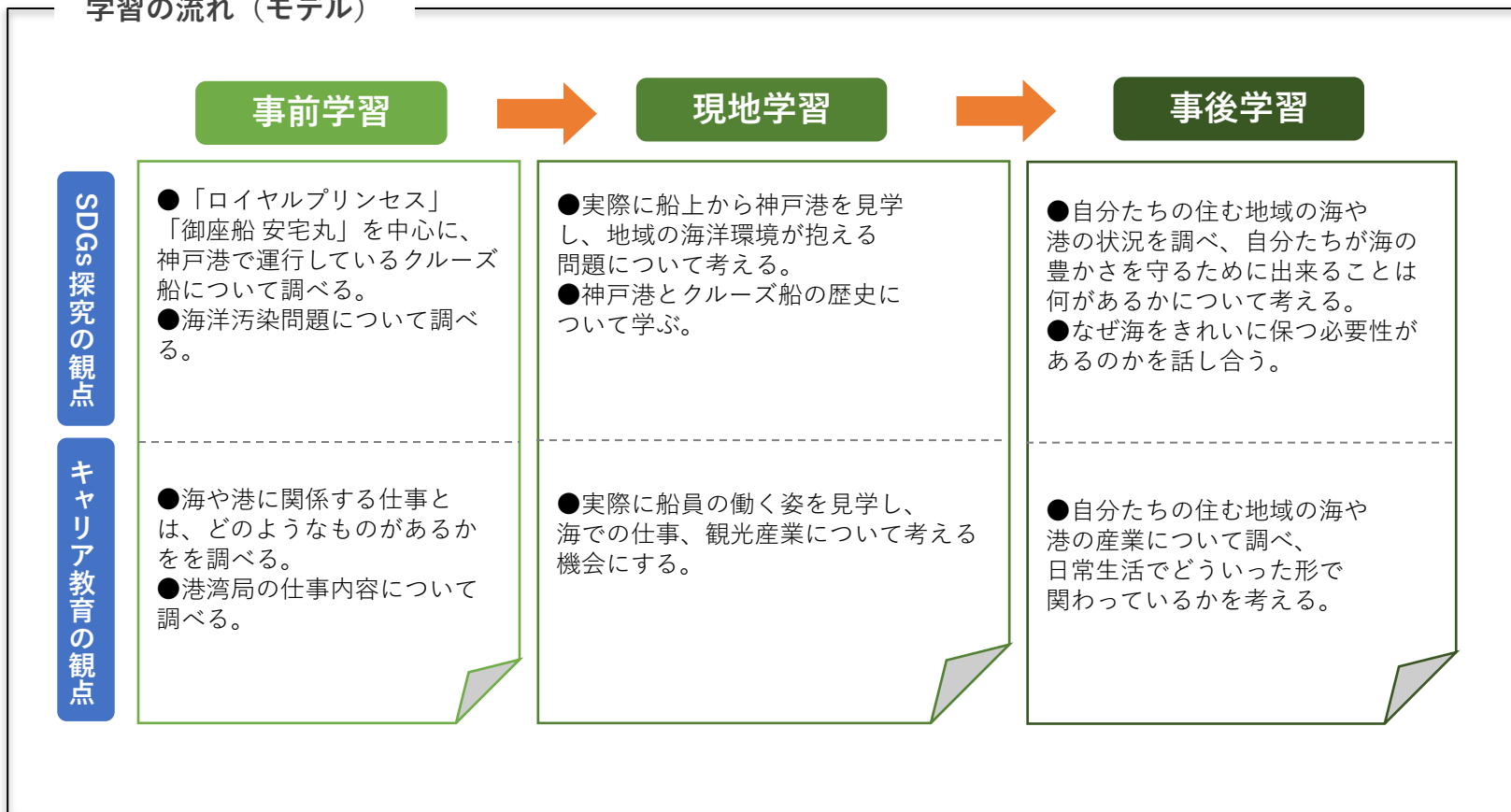


学習のポイント

- ①船員から海・港での仕事について学ぶ。
- ②実際に神戸港を見学し、海洋環境について学ぶ。
- ③海の豊かさを守る必要性について考える。



学習の流れ（モデル）



15. 神戸ポートピアホテル

～空と海と、神戸の街に抱かれたアーバンアイランドリゾート～

PORTOPIA HOTEL 神戸ポートピアホテルが取り組む資源・環境への配慮と 安心安全なご滞在を目指して



『地球環境にやさしいホテルを目指して』

神戸ポートピアホテルは、企業の社会的責任として地球環境の保全が人類共通の最重要課題の1つであることを認識し、持続可能な社会を目指して、あらゆる面で環境負荷の低減に配慮する「地球環境にやさしいホテル」を目指してまいります。

神戸ポートピアホテルが取り組むSDGs

ホテルとして持続可能な社会を目指して、6つの基本方針のひとつに「環境への配慮」に取り組んでいます。近隣の生態系保全への貢献や地産地消、食育の取り組みの一つとして、2022年、ホテル敷地内で養蜂の実証実験を行い、150kg以上のはちみつ採取に成功しました。また、CO2排出量が少ないコージェネレーションシステムを導入、廃油のリサイクルなどにも取り組んでいます。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①ホテルが取り組むSDGsと防災の取り組みについて社員より説明
- 10:30～ ②ホテルの仕事内容の説明。その後、屋上テラス ソラフネ神戸や館内施設見学。
- 11:20～ ③ワークショップ
(ホテルの仕事体験)
- 12:00頃 終了

実施場所：神戸ポートピアホテル
 実施時間：平日10：00～12：00 または
 14：00～16：00 (要相談)
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：20名～50名程度
 (日程により調整が必要です)
 実施費用：2,500円/人
 (屋上テラス ソラフネ神戸入場料込)

①ホテルが取り組むSDGsと防災について説明

- ・ポートピアホテルが取り組むSDGsについて社員より説明。
- ・阪神・淡路大震災を経験したホテルだからこそ、防災の意識を高く持っています。当時の様子と防災についてお伝えしたいと思います。



②ホテルの仕事内容の説明と屋上テラス ソラフネ神戸の案内

- ・ホテルの仕事内容は、宿泊、レストラン、宴会、営業、調理など様々な職種があります。その業務内容の一部をご紹介します。
- ・屋上テラス ソラフネ神戸やホテル館内をご案内します。



③ワークショップ

- ・ホテルの仕事内容を体験してみましょう。生徒さんと一緒にグループワークを実施します。



15. 神戸ポートピアホテル

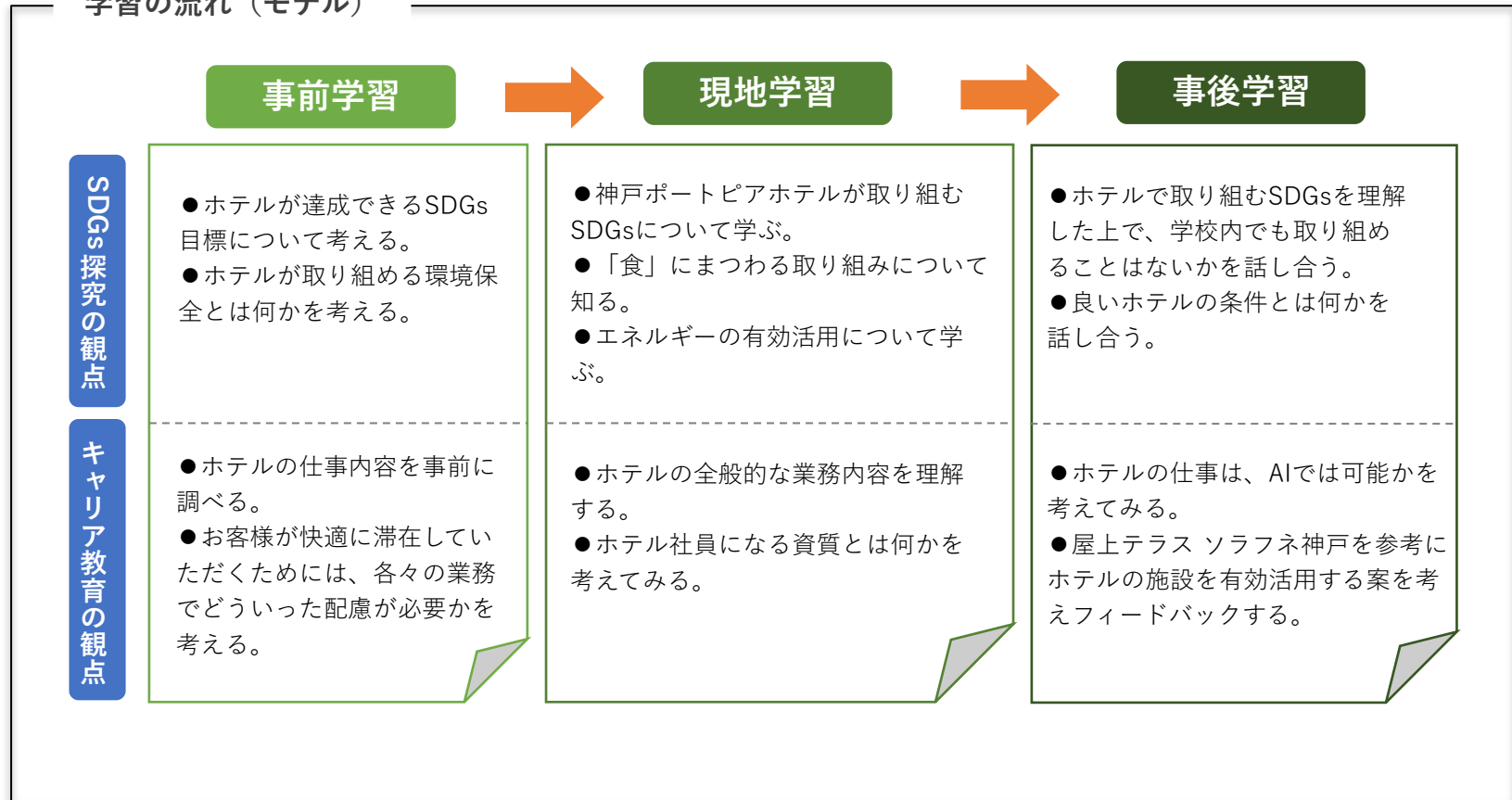


学習のポイント

- ① ホテルが取り組むSDGsを理解する
- ② 阪神・淡路大震災の当時の様子を知り、防災について考える
- ③ ホテルの全般的な業務内容を理解する



学習の流れ（モデル）





『そこまでやるか？やるんです』 時代を走り続けるオンリーワンディーラー



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①SDGsとは？
- 10:15～ ②神戸マツダの取組み
- 10:45～ ③ワークショップ
- 11:15～ ③イベントスクエア体験
- 12:00 終了

実施場所：神戸マツダ イベントスクエア
 実施時間：10:00～12:00 14:00～16:00
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：30名～70名程度
 (日程により調整が必要です)
 実施費用：1,500円/人

『5つの幸せ (5HAPPY) 』

『お客様の幸せ』『社会・環境の幸せ』『地域の幸せ』『協力者（パートナー）の幸せ』『社員とその家族の幸せ』。単なる自動車販売業にとどまらない「自動車総合サービス業」として従来の習慣に基づく常識を捨て発想の転換をしながら、社会的にも環境的にも「持続可能なバリューの連鎖」を提案し続けます。

神戸マツダ イベントスクエア

マツダ全国初となる、「お客様と共に楽しみ、共に創る体験型モビリティテーマパーク」そんな新しいコンセプトの次世代店舗が垂水区に誕生。大切なお客様や地域、社会の皆様が様々なイベントを通して絆を深めながら集える空間を目指しています。

① SDGsとは？「クルマ社会」が生み出す諸問題を考える

エコアクション21

CO₂の排出量算定とその削減など、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等の取り組みを行い、神戸マツダでは具体的な活動につなげています。環境保全や交通事故の未然防止などを通じ「クルマ社会」が生み出す諸問題に突いて学び、考えるきっかけを作ります。



② 神戸マツダの取組み 自分たちに「できること」を自ら考える

100年に一度の大変革の時代

Connected、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）といった「CASE」と呼ばれる新しい領域で技術革新が進む中、大きく変わるクルマの概念を考えてみましょう。



③ ワークショップ・イベントスクエア体験

神戸マツダイベントスクエア

体感・体験型店舗を活用し、教室内とは違った学びの場の提供が可能です。ワークショップを通して、課題に対する理解を深め、その解決に向けて、自らの考えを発信し、社員の方からのフィードバックを貰うことで、より生徒の思考力や表現力の育成を図ります。



16. 神戸マツダ

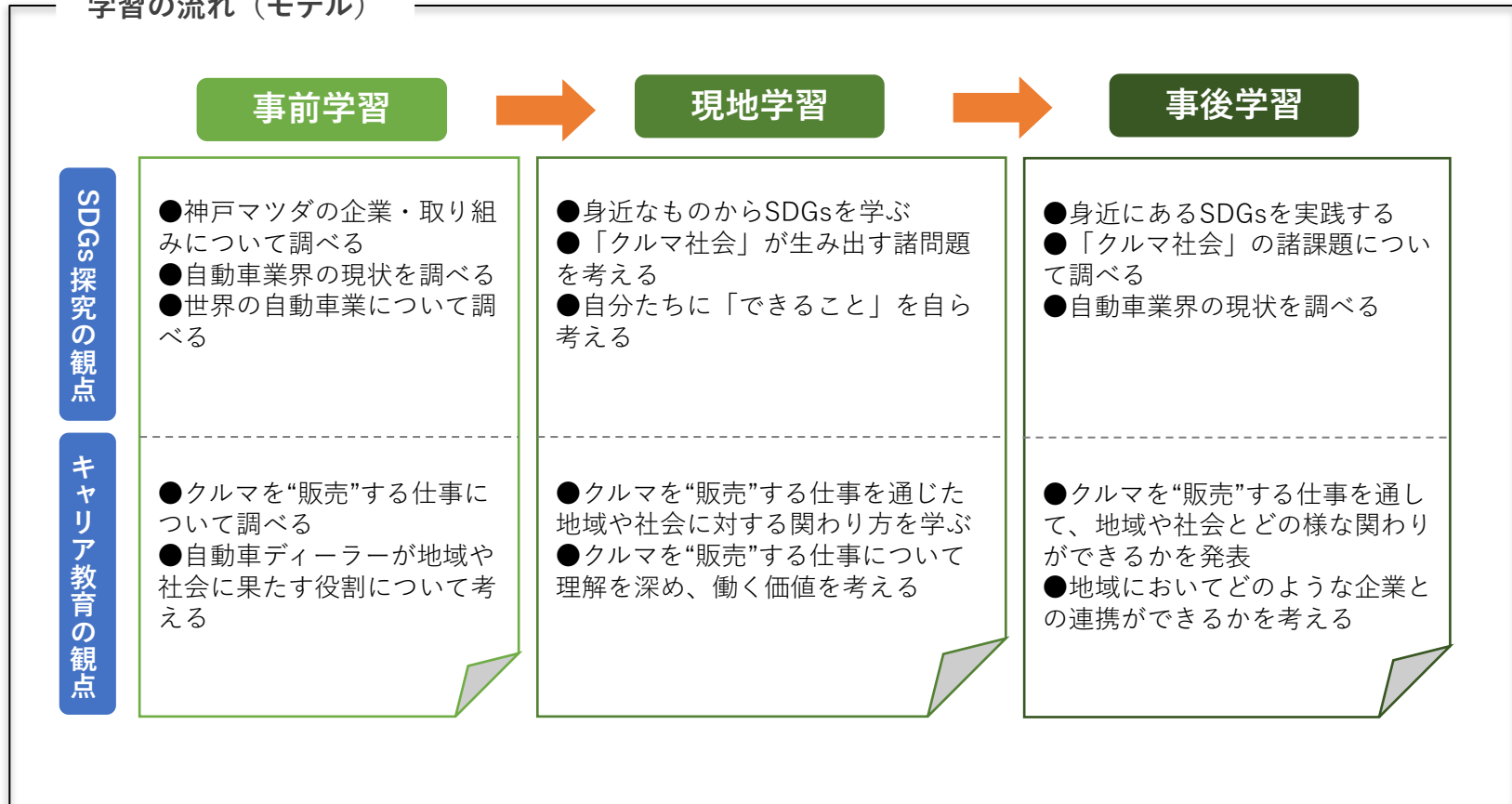


学習のポイント

- ① 身近なものからSDGsを学ぶ
- ② 「クルマ社会」が生み出す諸問題を考える
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



17. G-7ホールディングス

～SDGsを体現する新社屋と、障害者雇用の創出と野菜の生産「こども食堂」への野菜無償提供～



「野菜生産」を通して障害者雇用とこども食堂の支援



G-7グループの一つである株式会社G-7スーパーマーケットでは業務スーパーを運営しており、多様性のある職場環境を目指し、障害者支援サービス会社を通じて障害者を雇用し、農園での野菜の栽培をしております。生産した野菜は、身近な地域で子供たちの育ちを支援する目的として、自治会や福祉センターなどといった施設にある「こども食堂」へ無償提供をしています。またSDGsへ配慮をした新社屋をはじめ、どのような思いで取組みを行っているか学んで頂きます。

地球環境問題への配慮や再生可能エネルギーやクリーンエネルギーの推進を体現した新社屋の見学や、障害者雇用による農園での野菜栽培の取組みを始めたきっかけや企業としての想いを講義頂きます。また実際に野菜の播種（種まき）体験を行います。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ 企業担当者挨拶
- 10:05～ 本社新社屋見学
- 10:25～ 自社SDGs取組みの講義
- 10:55～ 野菜播種（種まき）体験
- 11:15～ 「こども食堂」関係者へ
学生より野菜の贈呈
- 11:20～ グループワークショップ
- 11:50～ まとめ 閉会

実施場所：株式会社G-7ホールディングス本社屋
 実施時間：10:00～12:00
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：10名～15名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：無料

①地球環境問題への配慮と再生エネルギーの活用 本社見学

社用車の電動車・店舗証明LED採用

G-7グループでは社用車を電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）の採用、店舗照明のLED化を実現しています。

本社屋で再生エネルギーを推進

2021年に新社屋に太陽光パネルを設置し、太陽光エネルギーの有効活用に取り組んでいます。



②「こども食堂」へ無償提供する野菜の播種（種まき）体験

多様性のある職場環境と子供への支援

障害者雇用を通じ行われる農園での野菜栽培。播種（種まき）、野菜の移植、収穫、出荷作業を「こども食堂」に届けられています。今回は野菜の播種（種まき）を体験して頂きます。皆さんが植えた種が野菜となりこども食堂に届けられます。



播種（種まき）

③ワークショップ

企業として障害者雇用を推進する理由はなにか、野菜生産が誰の為にしているのか働きがいや経済成長にどう繋がるのか。企業としてSDGsにどう向き合う必要があるのか是非一緒に考え、発表して頂きます。

17. G-7ホールディングス

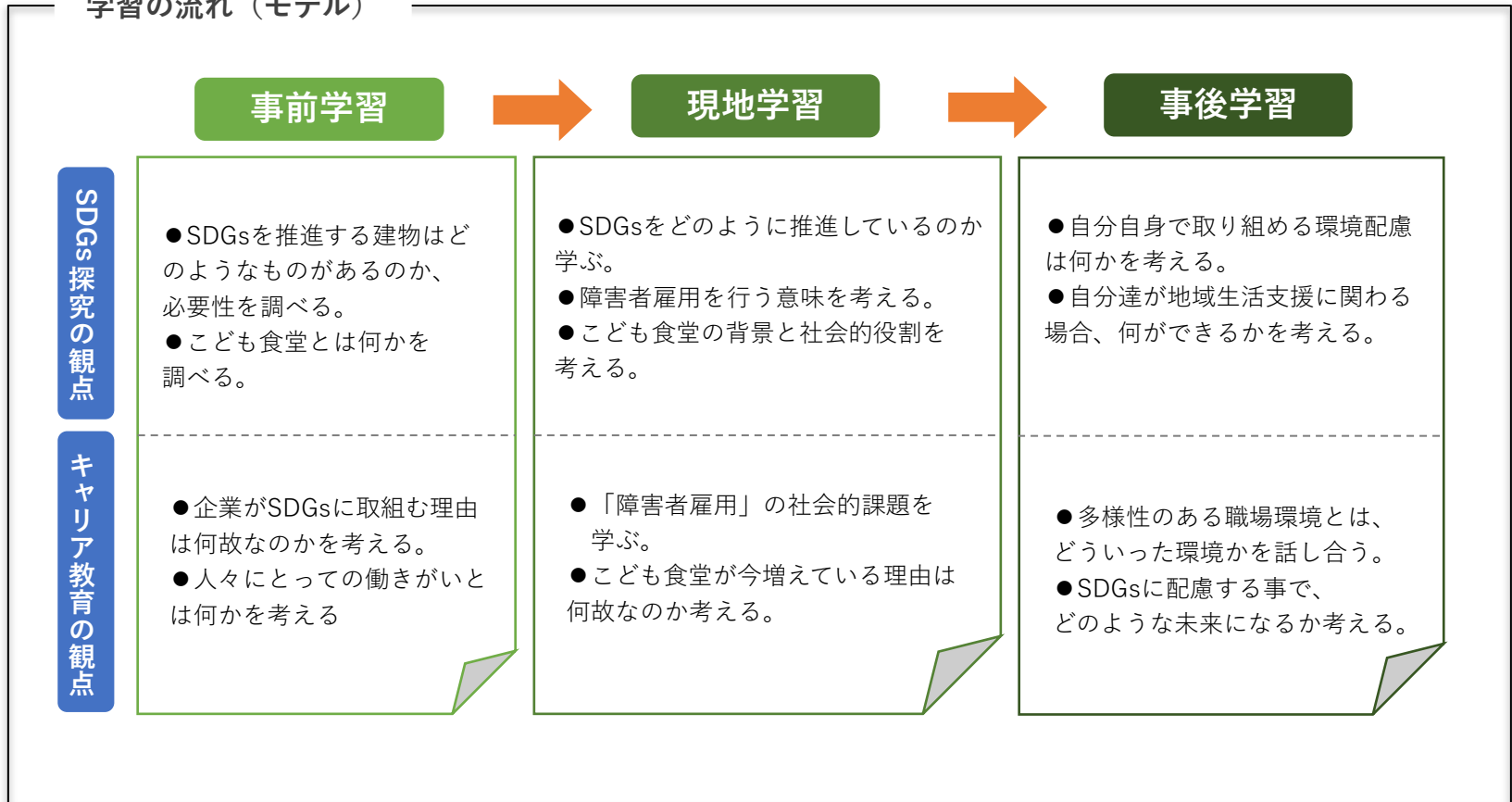


学習のポイント

- ① 企業としてSDGsに取り組む責任とは何かを学ぶ
- ② 障害者雇用の必要性を理解する
- ③ 働きがいと経済成長に繋がる仕組みを学ぶ



学習の流れ（モデル）



18. 神戸紅茶

はじめに

プログラムについて

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ



日本で紅茶をスタンダードティーにした先駆者のブランド



プログラムスケジュール例

- 9:30～ SDGsとは？
- 9:45～ 神戸紅茶の取組み
- 10:15～ ワークショップ
- 10:45～ 工場見学 or テイスティング体験
- 11:30 終了

実施場所：神戸紅茶
 実施時間：9:30～11:30 14:00～16:00
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：10名～20名程度
 (日程により調整が必要です)
 実施費用：3,500円/人

『神戸紅茶のオーガニック&フェアトレード』

「オーガニック」とは、化学肥料を使用せず、有機肥料によって生産された農作物です。「フェアトレード」とは、この紅茶を購入することによって、生産した茶園労働者へ価格の一部から奨励金が直接支払われ、自助組織の発展に貢献できます。この神戸紅茶のダブル認証を取得した『オーガニック&フェアトレード』を購入することで世界が掲げている17の削減目標のうち、11項目を達成することができます。

神戸紅茶

1925年（大正14年）に地元神戸で創業した紅茶メーカー。
 1961年（昭和36年）には、日本で初めてティーバッグの自動包装機をドイツから導入し、機械製造を行った紅茶業界のパイオニアです。茶葉の買い付けから、ブレンド、製造、販売まで一貫して行っています。

①「紅茶」を通して、「世界の文化」を学ぶ

中国で生産されていた紅茶は、イギリス人に特別に愛され、それを契機に世界中に広がっていきました。私たちが知っている紅茶は、ほんの一握りのものなのです。葉ごとに異なる香りや味、水色は、私たちが味の世界旅行に連れ出してくれること間違いなしです。



②本社工場見学

日本で最初に紅茶ティーバッグの自動包装機械をドイツから導入し、日本のティーバッグの第1号は神戸紅茶の工場から誕生しました。およそ40年前に購入された年代物の機械が、いまでも現役バリバリで稼働している、工場をご見学いただけます。



③自分たちに「できること」を自ら考える

包装資材についても環境負荷の少ない素材を提案するなど、環境問題についても考えてきました。紅茶を飲むことで始められる環境改善。紅茶好きなあなただからこそのできる身近なSDGsをはじめませんか？



18. 神戸紅茶

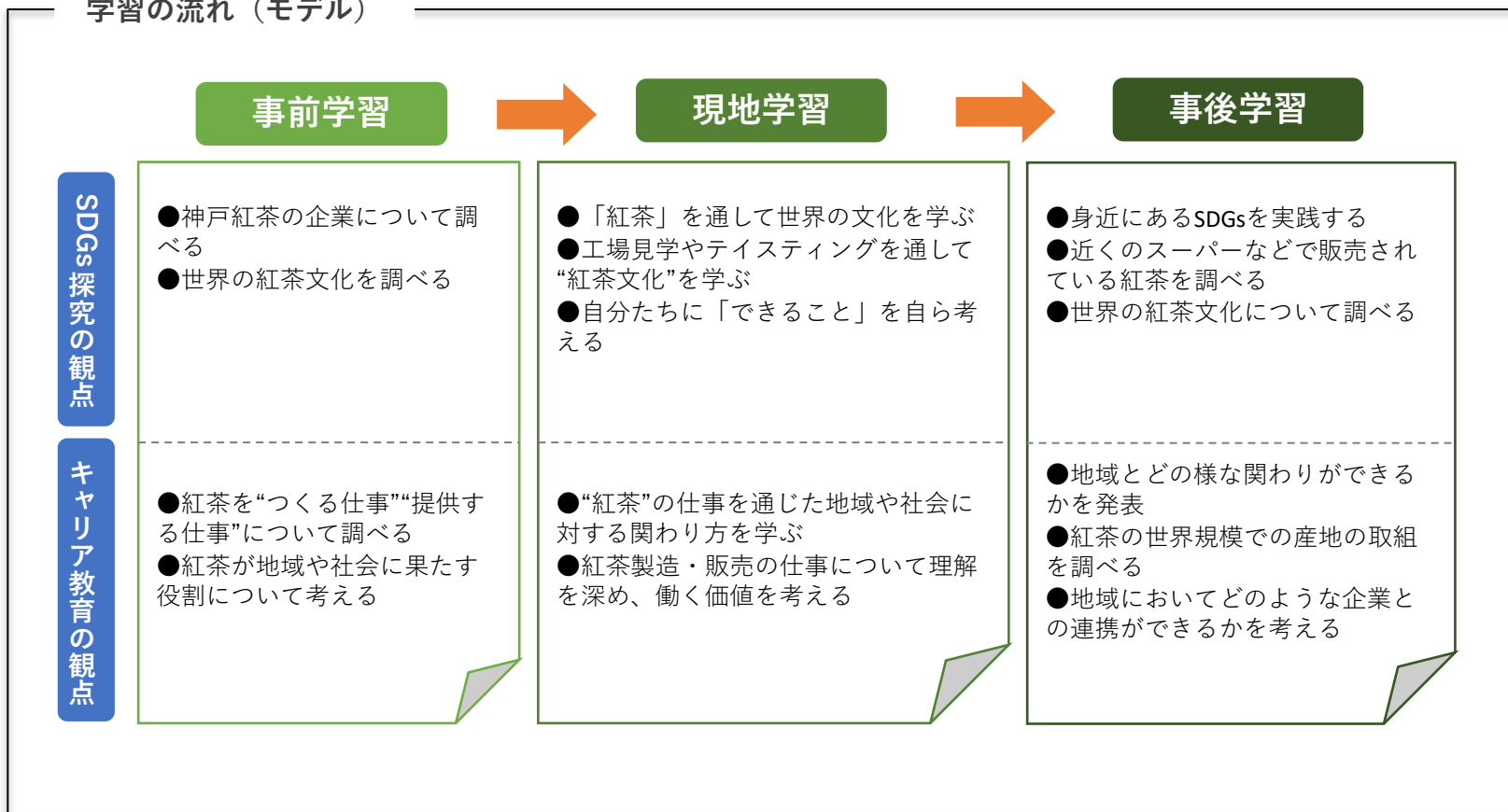


学習のポイント

- ① 「紅茶」を通して世界の文化を学ぶ
- ② 製造見学ができる
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



19. シスメックス



～世界で最も持続可能な企業100社(2021年) に選出されたシスメックスから学ぶ～

ヘルスケアの進化をデザインする



© Tezuka Productions

ヘルスケア分野でのグローバルな企業活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献

グループ企業理念「Sysmex Way」において、「ヘルスケアの進化をデザインする。」をミッションに掲げています。創業から取り組んできた検体検査分野を事業の核としながら、世界の医療課題解決に貢献することを目指して活動しています。シスメックスの社会に対する提供価値は、健康寿命延伸や医療アクセスの向上、医療の高度化などであり、健康で長生きをしたいという人間の普遍的な願いに応えていきます。

プログラムスケジュール例

10:00～ ①シスメックスにおけるSDGsの取り組み
「ファシリテーター紹介・企業紹介・シスメックスが考えるSDGs」

10:15～ ②シスメックスショールームツアー
「シスメックス製品の歴史、手術支援ロボット(メデカロイド製品)の操作体験」 ※10名～15名1グループで時間差見学となります

11:45～ ③ワークショップ
「真の健康・ヘルスケアとは何かを考える」

12:30 終了

実施場所：シスメックス株式会社 ソリューションセンター
実施時間：10時00分～12時30分
所要時間：150分
実施可能人員：20～40名程度
(日程により調整が必要です)
実施費用：1,000円/人

① シスメックスにおけるSDGsの取り組み

世界で最も持続可能な企業100社(2021年)に選出されたシスメックスの取り組み

Sysmex Wayのミッション「ヘルスケアの進化をデザインする。」のもと、持続可能な社会の実現に貢献している取り組みについて学習して頂きます。

② シスメックス ショールームツアー

臨床検査の歴史を学ぶ

病気の診断補助や治療状態の確認、健康状態の確認など治療や予防医療に寄与してきた臨床検査技術の進歩について、シスメックス製品を通じて紹介します。

③ ワークショップ

健康について考える

教室内とは違った環境下において学びの場の提供が可能です。ワークショップを通して、課題に対する理解を深め、その解決に向けて、自らの考えを発信し、社員の方からのフィードバックを貰うことで、より生徒の思考力や表現力の育成を図ります。



19. シスメックス

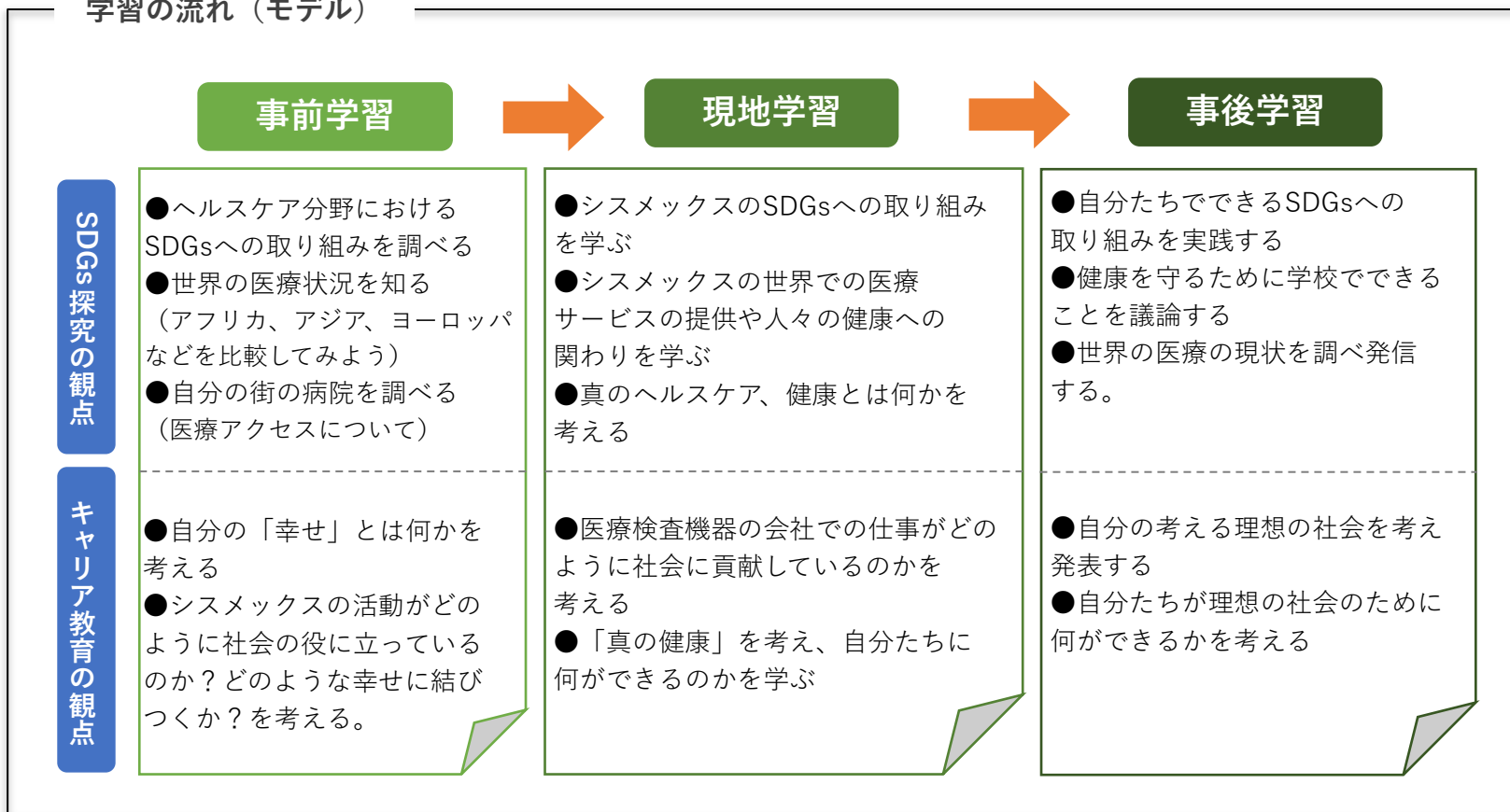


学習のポイント

- ①ヘルスケア分野でのSDGsの取り組みを学ぶ
- ②世界の医療課題の現状を知る
- ③健康のために「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



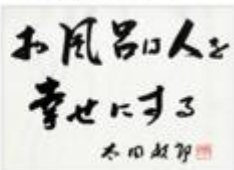
新しい幸せを、わかすこと。



創業(昭和26年)

1951年

戦後復興期における
「生活水準を向上させたい」という情熱からスタート



「おふろの力」と「技術開発力」で世界中の人々の暮らしを幸せにする

「新しい幸せ」をわかすために、時代の進化に挑み続ける

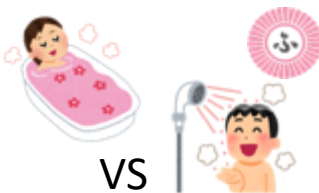
ノーリツグループは社会の変化と私たちが解決すべき社会課題を認識し、私たちの強みを活かすことで価値を創造しています。特に「幸せ」を創るための基盤である「Q+ESG」を大切にし、活動を充実させることで「新しい幸せを、わかすこと。」の実現を目指します。

① ノーリツにおけるSDGsの取り組み

ノーリツがSDGsの取り組みで大切にすることの説明



② 湯舟につかる派⇔シャワー派 (投票会)



ノーリツお風呂部より効果を解説

湯まわり設備メーカーであるノーリツと、神戸市水道局と神戸女子大学が連携し、「おふろ部」の活動がスタートおふろを「持続可能な文化として継続していくための情報発信」を念頭におふろの価値をお伝え致します。

③ お風呂に欠かせないお湯を一番エコにつくる企画

カーボンニュートラルの時代を見据え

低炭素社会、脱炭素社会が目の前にきている今の社会に向けて、若い観智を集め、もっともエコなお風呂(お湯のある暮らし)を創っちゃおう! ということで、今までになかった新しい価値を創造します。 **目指せ! ランニングコストゼロ**



プログラムスケジュール例

- 10:00~ ①ノーリツにおけるSDGsの取り組み
- 10:30~ ②湯舟につかる派⇔シャワー派 (投票会)
- 11:00~ ③もっともエコなお風呂をつくっちゃおう!
- 11:40~ まとめ
- 12:00 終了

実施場所: 神戸市内の会議室
 実施時間: 10時00分 ~12時00分
 所要時間: 120分
 実施可能人員: 40名程度 (日程により調整が必要です)
 実施費用: 無料

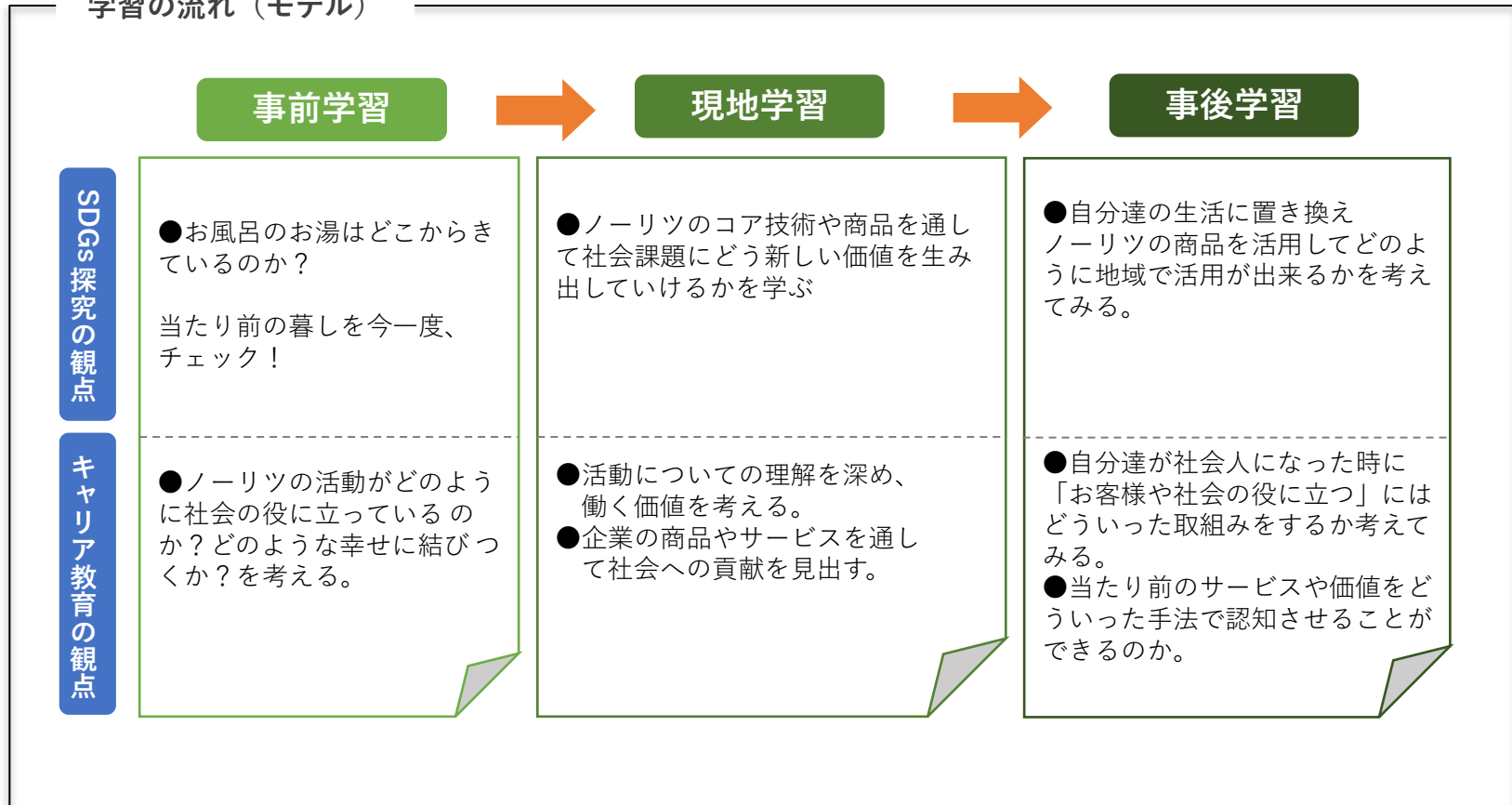


学習のポイント

- ①身近な給湯器という観点でSDGsを学ぶ
- ②お風呂を沸かすテクノロジーの実態を知る
- ③自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



21. ネスレ日本

はじめに

プログラムについて

プログラム内容

プログラムお問合せ



Good food, Good life

～小さな一歩から大きな一歩へ、身近なものからSDGsを考える～

「ネスレ サステナビリティ」 キットあなたの行動が世界を変える！



『ネスレは、食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます。』

ネスレの存在意義は、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」です。ネスレはこの存在意義に動機付けられて、現在そしてこれからの人々やペットの生活、そして地球に対して、プラスの影響を与えるべく取り組んでいます。

地球のために

ネスレの2030年に向けた長期的な目標は、事業活動における環境負荷ゼロを目指すことです。また、気候変動そして持続可能なパッケージへの取り組みについては、様々なコミットメントを掲げています。日本においても、重点項目を定めて事業活動における取り組みを進めています。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ネスレについて
- 10:15～ ネスレの取組紹介
- 10:45～ グループディスカッション
- 11:15～ 質疑応答
- 11:30 終了

実施場所：ネスレハウス内14階カフェスペース
 (外部会場への出張も可能)
 実施時間：:10:00～16:00 要ご相談
 (対応可能日限られます)※土日祝除く
 所要時間：約1時間30分
 実施可能人員：20名～40名程度
 (ネスレハウスにて実施の場合)
 実施費用：無料

①ネスレについて知る

ネスレとはどのような会社で、どのような商品ブランドを取り扱っているか等を紹介させて頂き、ネスレ商品が身近にあることを知って頂きます。またネスレの起源から今尚受け継がれるパーパスが現在の取組へどのように繋がっているかをご理解頂きます。



②ネスレのサステナビリティへの取組に関する講義

ネスレのサステナビリティへの取組は多岐に渡りますが、学生様がイメージして頂きやすい「地球のために」資源と環境を守る為の取組を、プラスチックごみ問題をテーマにネスレとしての取組や目標についてご紹介させて頂きます。普段手に取っているあの商品が、、、一歩踏み込んだ気付きを得て頂きます。



③グループディスカッションと質疑応答

ネスレのサステナビリティへの取組をインプットして頂いた後、環境問題に対して自ら出来ることを考え、発表して頂きます。最後は生徒自らが考えることで、サステナビリティへの理解促進に繋げることが出来ます。

※学年(中学・高校) レベルに応じてカスタマイズ可能

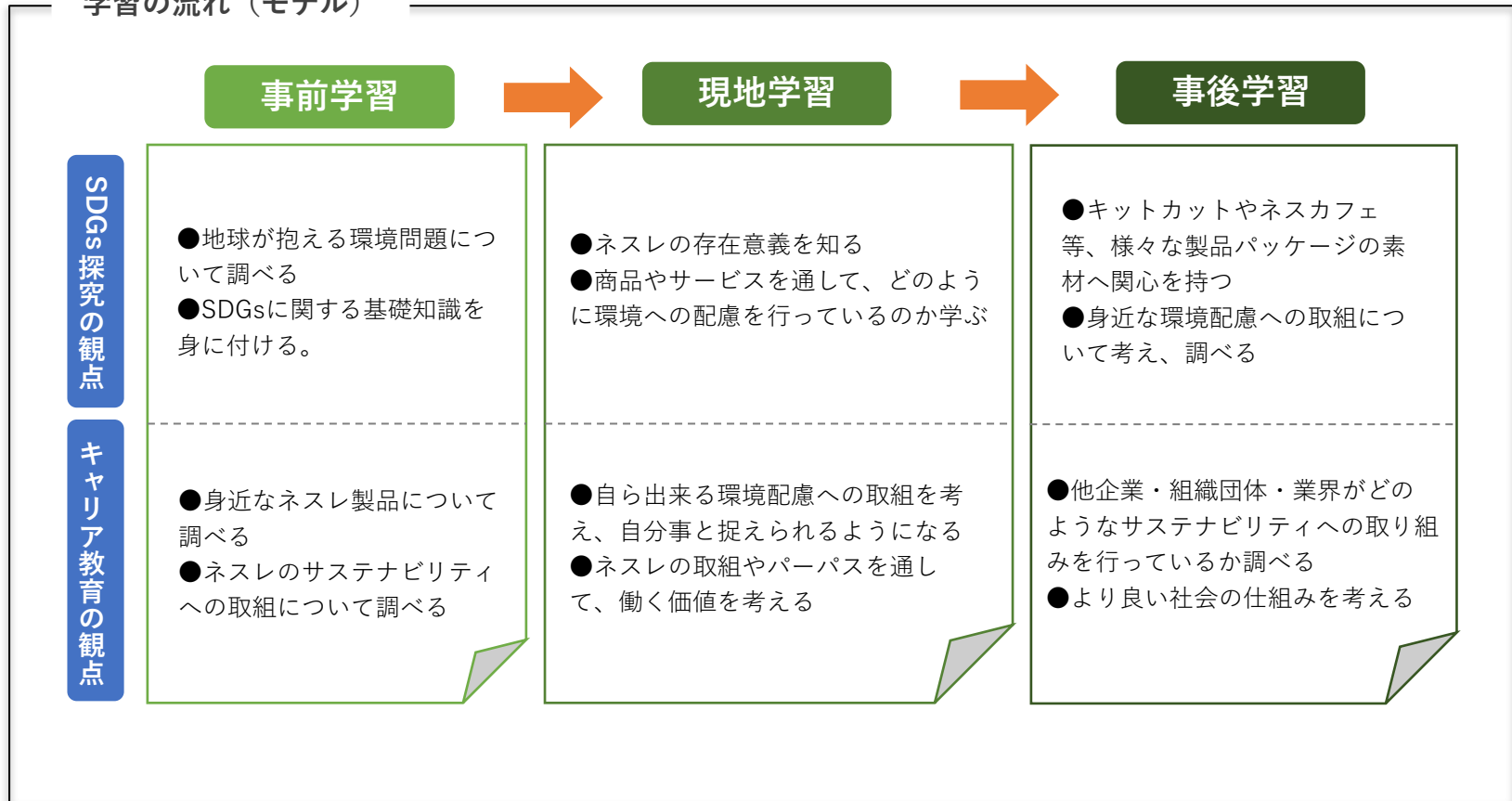


学習のポイント

- ① SDGsを通して企業と社会の繋がりを知る
- ② ネスレの取組から環境問題解決へのヒントを得る
- ③ 「地球のために」自ら出来ることを見つける



学習の流れ（モデル）



22. 萩原珈琲



～自分達が取り組んでいることが結果的にSDGs目標に繋がっている～

炭火焙煎の製造工程から学ぶ 資源循環型社会の取り組み



『時代に流されず、流行に惑わされず。炭火焙煎一筋』

創業当時から炭火焙煎に拘り続けてきました。独自のおいしさのために効率よりも手間や時間がかかる「炭火焙煎方式」を貫いてきました。萩原珈琲独特の「技術・伝統」を大切にしながら、老舗ながらの、今の時代にあった新たな取り組みに挑戦しています！

萩原珈琲が実践している唯一無二の取り組み

自分達が取り組んでいることが結果としてSDGs目標に繋がっています。例えば海外産の炭を100%国内産に切り替えた。結果的に輸送時に係るCO2排出量の削減にも繋がっており、鳥取県の黒炭を使用したことにより、炭産業の維持と関係人口の創出にも繋がっています。また、コーヒー豆の麻袋（廃品）を農家さんへ防草用マルチとして活用していただいています。その他についても、このプログラムで学べると思います。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①萩原代表による講演
コーヒーに関する全般的なお話と資源循環型社会の取り組み⇒SDGsについて、説明。
- 10:45～ ②炭火焙煎のコーヒー豆の製造工程の見学
- 11:20～ ③ワークショップ(2階会議室)
- 12:00頃 終了

実施場所：萩原珈琲ポートアイランド焙煎工場
実施時間：平日10：00～12：00 または
14：00～16：00 （要相談）
所要時間：約2時間
実施可能人員：15名～30名程度
（日程により調整が必要です）
実施費用：2,000円/人

①萩原珈琲での独自の取組みの講演

- ・萩原代表による「技術を継承し、手作りに拘る」独自の取り組みについて講演を聞きます。
- ・唯一無二の資源循環型社会への取り組みについて聞きます。



②炭火焙煎したコーヒー豆ができるまでの工場見学

電気やガスが発達した高度成長期にも、炭を使った萩原珈琲独特の「炭火焙煎方式」を貫いてきました。生豆からおいしいコーヒー豆ができるまでの工程を、実際に焙煎師の説明を聞きながら見学します。焙煎師の五感と経験（技術）を駆使し、焼き上がりのタイミングを目の当たりにして理解できます。



③ワークショップ（2階会議室）

認定コーヒー鑑定士によるおいしいコーヒーの淹れ方を学び、実演と試飲をします。又は、廃品となったコーヒー豆の麻袋の二次活用案についてグループワークをして発表します。



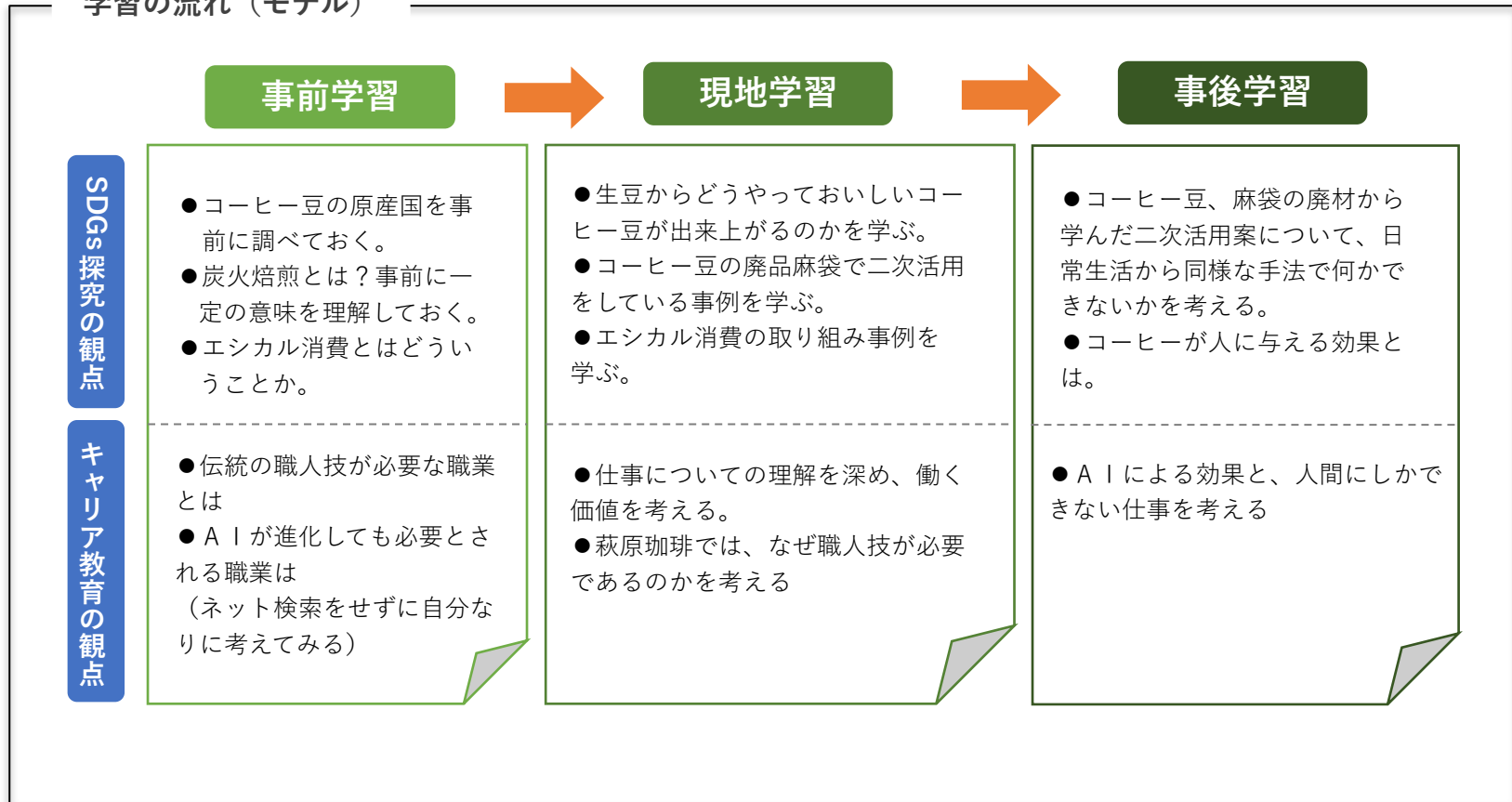


学習のポイント

- ① 資源循環型社会の発想を学ぶ
- ② AIに頼らない技術を考える
- ③ エシカル消費について考える



学習の流れ（モデル）



～お酒は自然の恵み。自社栽培の白鶴ファームとサステナブル活動～



未成年にこそ知って欲しい！ 江戸時代から続くお酒と自然の持続可能な関係性



プログラムスケジュール例

- 10:00～ (14:00～)
①灘五郷と白鶴酒造におけるSDGsの取り組み
(SDGs × 日本酒)
- 10:45～ (14:45～)
②白鶴酒造の事業内容と組織について
(キャリア教育)
- 11:15～ (15:15～)
③白鶴酒造資料館の見学
- 12:00 (16:00) 終了

実施場所：白鶴酒造株式会社 本社
実施時間：10：00～12：00
または 14：00～16：00
所要時間：約2時間
実施可能人員：20名程度
実施費用：1,500円/人
おみやげあり（酒バックを再利用した手漉き紙のグッズ）

未成年である学生にこそ知って欲しい！

お酒に欠かせない灘に流れる六甲山系の伏流水と、酒米の重要性
CMやスーパーでもよく目にする日本酒の代表的企業「白鶴酒造」。江戸時代から数百年も続く企業には訳がある！サステナブルが求められる“今だからこそ”歴史ある企業がどのように社会環境の変化と共に持続してきたのか。未成年の学生にこそ伝えたい、知って頂きたい内容をお伝えします。

白鶴ブランドを通じて

「280年にわたって守られ、培われてきた伝統と心」を、杜氏と一体となり、次世代に継承していくことが我々の使命です。製造に関わる人々の熱い想いと最先端の技術を融合し、常に挑戦する姿勢を忘れないこと。品質と安全性を重視し、より価値ある伝統を継続すること。そして何よりもお客様の笑顔を引き出す酒を醸すことへ私たちは挑戦を続けます。

①白鶴酒造におけるSDGsの取り組み

灘五郷の酒造りには切っても切り離せない六甲山をはじめとした自然の恵み。環境との関わりが強い白鶴酒造ならではのSDGsの取り組みを学習して頂きます。



②白鶴酒造の事業内容と組織について

白鶴酒造の事業内容と組織について、具体的にどのような業務があるのかを知っていただき、我々の事業活動が社会にどう貢献しているのかをお伝えいたします。



③白鶴酒造資料館見学

実際に酒造りに使われていた酒蔵を改造して開設した酒造資料館。伝統の酒造りの一部始終にふれていただき、酒造りの世界を通して、「日本のこころ」を広く学んでいただきます。



23. 白鶴酒造

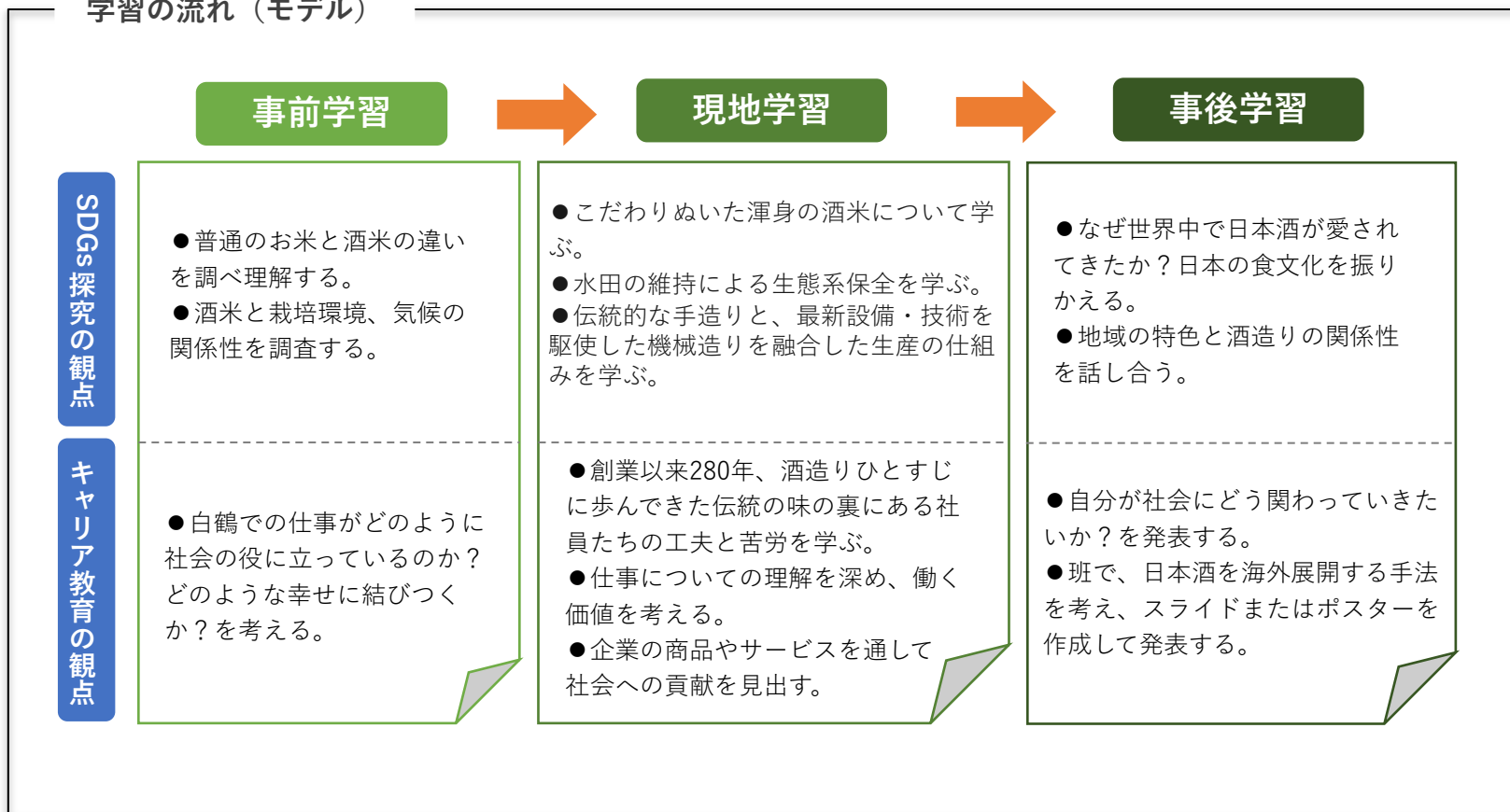


学習のポイント

- ① 水と稲作、酒造りの関連性を学ぶ
- ② 自然環境と酒造りの影響を考える
- ③ 280年の伝統企業の歴史を学ぶ



学習の流れ（モデル）



24. 東灘処理場／垂水処理場（下水処理場）



～下水道固有資源を活用した再生可能エネルギー～ 下水道の役割りと仕組みから、循環型社会の実現に向けた新たなソリューション事業まで学習する



『東灘処理場（神戸市建設局東水環境センター）』

東灘処理場は、神戸市で最も大きな下水処理場です。1995年の大震災で受けた壊滅的な被害から復興して、今では「こうべバイオガス」、「こうべ再生リン」などの地球環境にやさしい取り組みを先導しています。その東灘処理場は、「神戸 下水道の歩み館」、アーモンド並木がある「水辺の遊歩道・うおざき」、そして「下水道×アート×SDGsプロジェクト」で多くの人に親しまれています。また、「都市ガス導管注入事業」に代わる新たな事業として「消化ガス発電事業」や「水素供給事業」を実施していきます。

※2023年度に工事予定のため、見学不可の場合は垂水処理場をご案内します。



『垂水処理場（神戸市建設局西水環境センター）』

14万m³/日の汚水を処理している下水処理場です。下水処理場における空間利用として、噴水のある池、芝生広場、恋人岬、太陽光発電があります。特に下水処理場の施設上部空間と下水道固有の資源を活用した太陽光とバイオガスのダブルでエコロジーな発電事業（Wエコ事業）に取り組んでいます。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①会議室にて
下水道の役割りや仕組みの説明と
再生可能エネルギーの説明
- 10:30～ ②下水処理場の見学・説明
- 11:30～ ③会議室に戻り、質疑応答
- 12:00頃 終了

実施場所：東灘処理場 * 工事中の場合は垂水処理場
実施時間：平日10：00～17：00の間
(12：00～13：00は除く)
所要時間：約1時間30分～2時間
実施可能人員：30名～50名程度
(日程・人数は要相談)
実施費用：無料

①下水道の役割り・仕組みについて説明

- ・下水道の役割りや下水処理の仕組みの説明。
- ・下水道資源の有効利用について説明
(こうべバイオガス事業、再生リン事業等)



②下水処理場の見学・説明

- ・下水処理施設の見学
- ・下水道資源の有効利用施設の見学
(こうべバイオガスの天然ガス自動車燃料利用施設や発電利用施設、リン回収施設などの循環型社会に向けた環境ソリューション事業も学べます)



24. 東灘処理場／垂水処理場（下水処理場）

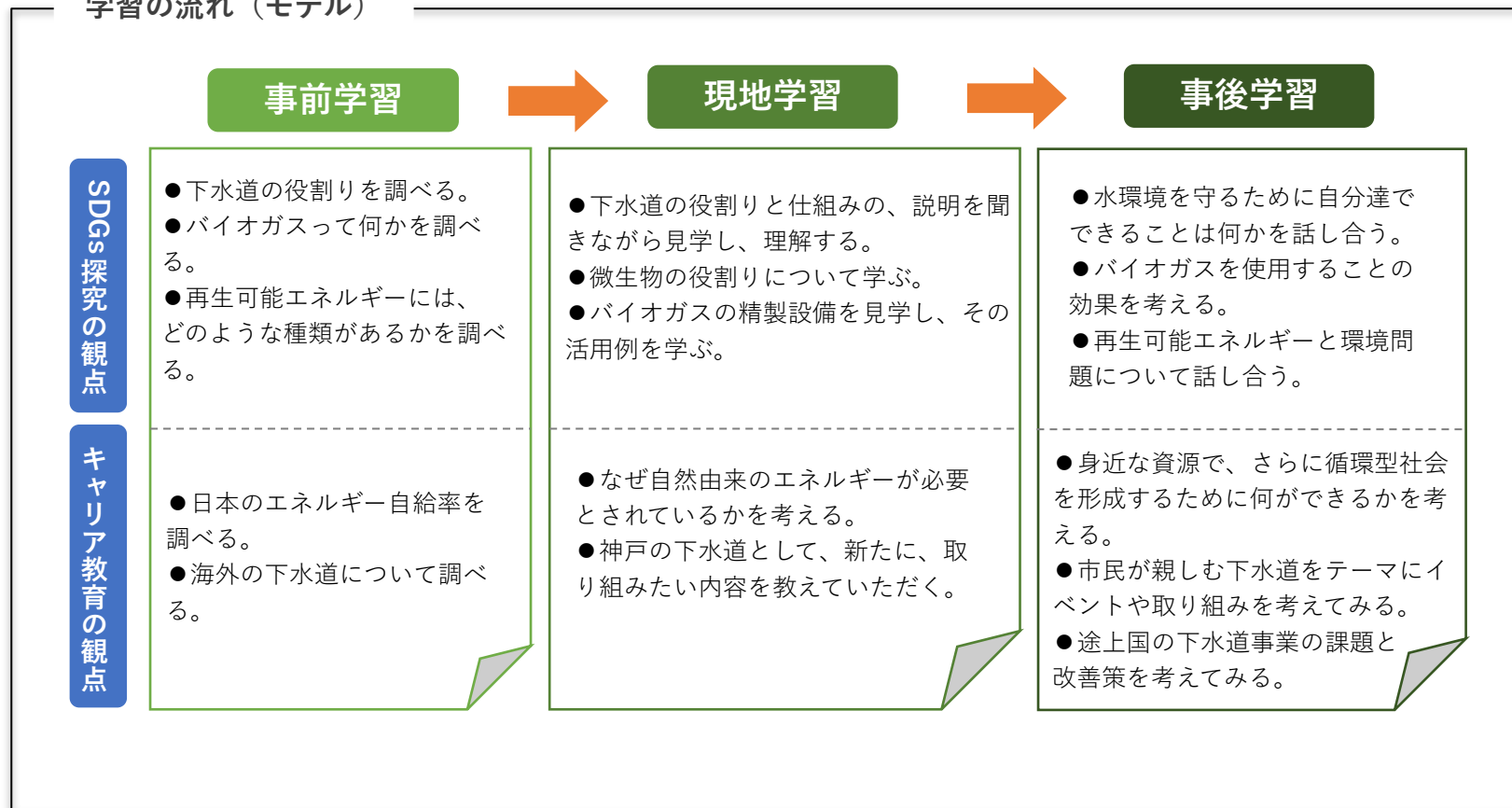


学習のポイント

- ① 下水道の役割りと仕組みを理解する
- ② 水環境を守るために自分達でできることは？
- ③ 再生可能エネルギーの仕組みを学ぶ



学習の流れ（モデル）





地元の大学生が教える新しい移動手段と兵庫ダイハツが担う役割



「地域の方々の暮らしに無くてはならない存在」

兵庫県は、日本海と瀬戸内海、太平洋の3つの海に面し、大都市から農村、離島まで、様々な地域で構成された自然と歴史、文化に富んだ県ですが、同時に過疎化、高齢化、災害対応など、様々な課題も内包しています。SDGs実現に向け、地域の皆さんや自治体、異業種の方々、約3千店の兵庫県内の自動車販売店の皆さんと協力して地域の課題解決に取り組んでまいります。

チョイソコ 地域×車で実現できること

「チョイとソコまでごいっしょに」をコンセプトとした『チョイソコ』。交通手段にお困りの方が多くエリアにおいて、移動手段を提供し、外出機会を増やしていただくことで、健康維持・増進を図っていただくことを目的としたサービスです。お買い物や通院、地域活動など、日常生活の交通手段としてご利用いただけます。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ 兵庫ダイハツにおけるSDGsの取組み [チョイソコ]
- 10:45～ ワークショップ
- 12:00 終了

実施場所：兵庫ダイハツ販売株式会社 本社
 実施時間：10:00～12:00
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：40名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：1,000円/人

① 少子高齢化や過疎地域の交通課題について考える

全国規模の課題である「人口減少」「少子高齢化」「過疎化」。「チョイソコ」や「カーシェア」といった兵庫ダイハツの活動について学び、過疎地域の公共交通について考えるきっかけを作ります。



② 地元大学生が教える新しい移動手段のワークショップ

自社ショールームを利用したワークショップで、教室内とは違った学びの場の提供が可能です。年齢の近い大学生が講師となることで、発言や質問のしやすい環境を整えます。ワークショップを通して、車を使った新しい移動手段「オンデマンド交通」の理解を深め、地域の交通課題に対して自らの考えを発信し、より生徒の思考力や表現力の育成を図ります。



③ 「クルマ」を手段としたこれからの未来を考える

車社会は100年に一度の大変革時代
 Connected、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）といった「CASE(ケース)」と呼ばれる新しい領域で技術革新が進む中、過疎化が進んでいる地域や移動手段が無い地域で、「クルマ」を使ってできることを考えてみましょう。



25. 兵庫ダイハツ販売

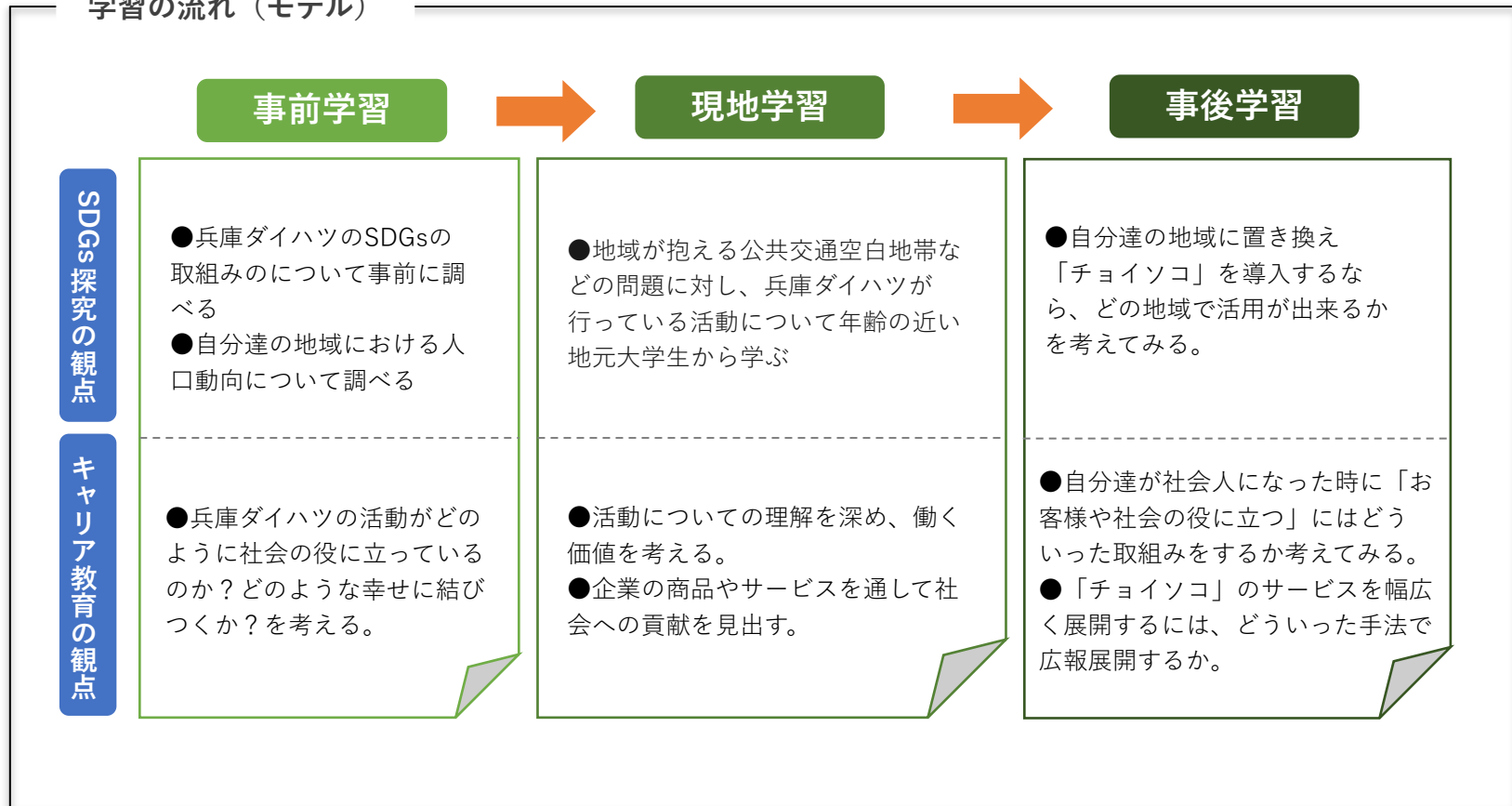


学習のポイント

- ①身近な車という観点でSDGsを学ぶ
- ②過疎化地域の移動問題の実態を知る
- ③自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



26. 兵庫トヨタ自動車



HYOGO TOYOTA

～阪神淡路大震災から学んだ防災意識とクルマが世の中に出るコト～

お客さま、社員、地域にとって、「良い（いい）会社」となること



「良きものを経て、なお良きものへ」

兵庫トヨタは、『「良きものを経て なお良きものへ」事業は社会奉仕の施設であります。私たちは自動車を中心とした職域で立派に社会のお役に立ちたいものです。』の経営理念の追求こそが、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処し、「誰も置き去りにしない」SDGs（持続可能な開発目標）の達成につながるものと信じて2020年5月、より一層SDGsの達成と経営を結び付け、兵庫トヨタの事業を通じて、社会・経済・環境の課題解決に取り組んでまいります。

兵庫トヨタの今プログラムの想い

兵庫トヨタは1995年 阪神淡路大震災を経験しました。だからこそ、災害発生時から、とるべき行動、クルマの装備がどんな場面で役立つかを、クルマを通じて何が出来るのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ トヨタの先進技術
兵庫トヨタの取組
- 10:15～ グループディスカッション
自分たちができること
- 10:55～ 中古車工場見学
給電見学
- 11:25～ ワークショップ（まとめ）
自助・共助活動とは
- 11:45～ 2000GT 撮影・見学
- 12:00 終了

実施場所：兵庫トヨタ自動車株式会社
藤原台総合センター（神戸市北区）
実施時間：10:00～12:00
※火・土・日・第2水曜は受入不可
所要時間：約2時間
実施可能人員：20名～40名程度
（日程により調整が必要です）
実施費用：1,000円/人

①中古車商品化工場見学／使用車をまるごと洗浄

下取りから中古車販売に向けた3R活動

中古車として、再販することにより、3R活動：Reduce（減量）/Reuse（再利用）/Recycle（再生）に貢献する。中古車の商品力をアップし、購入意欲を高めるために、クルマをまるごと洗浄します。ぜひ、その工程をご覧ください。



②トヨタの先進技術と兵庫トヨタのSDGs／給電見学

トヨタの先進技術により、クルマは災害時には様々な利活用ができます。兵庫トヨタの阪神大震災での経験から地域にとって良い活動を進めております。災害時の避難所としてのクルマ、ライフラインの一つである「電源（明かり）の確保」など、実際のクルマを使った、「電源」装備の作動を体験してください。



③自助・共助の探究とワークショップ

災害時、地域の一員として実態を知り、自分たちの「何が出来るか」を考えます。身近であるクルマも地域社会の有用なモノであることを知り、自助・共助に取り組む意識を醸成します。避難所で必要とされるものや避難所で出来ることについて考える。兵庫トヨタSDGs活動や災害時「クルマができること」を知り、生徒の防災意識や今後の活動にも繋がります。



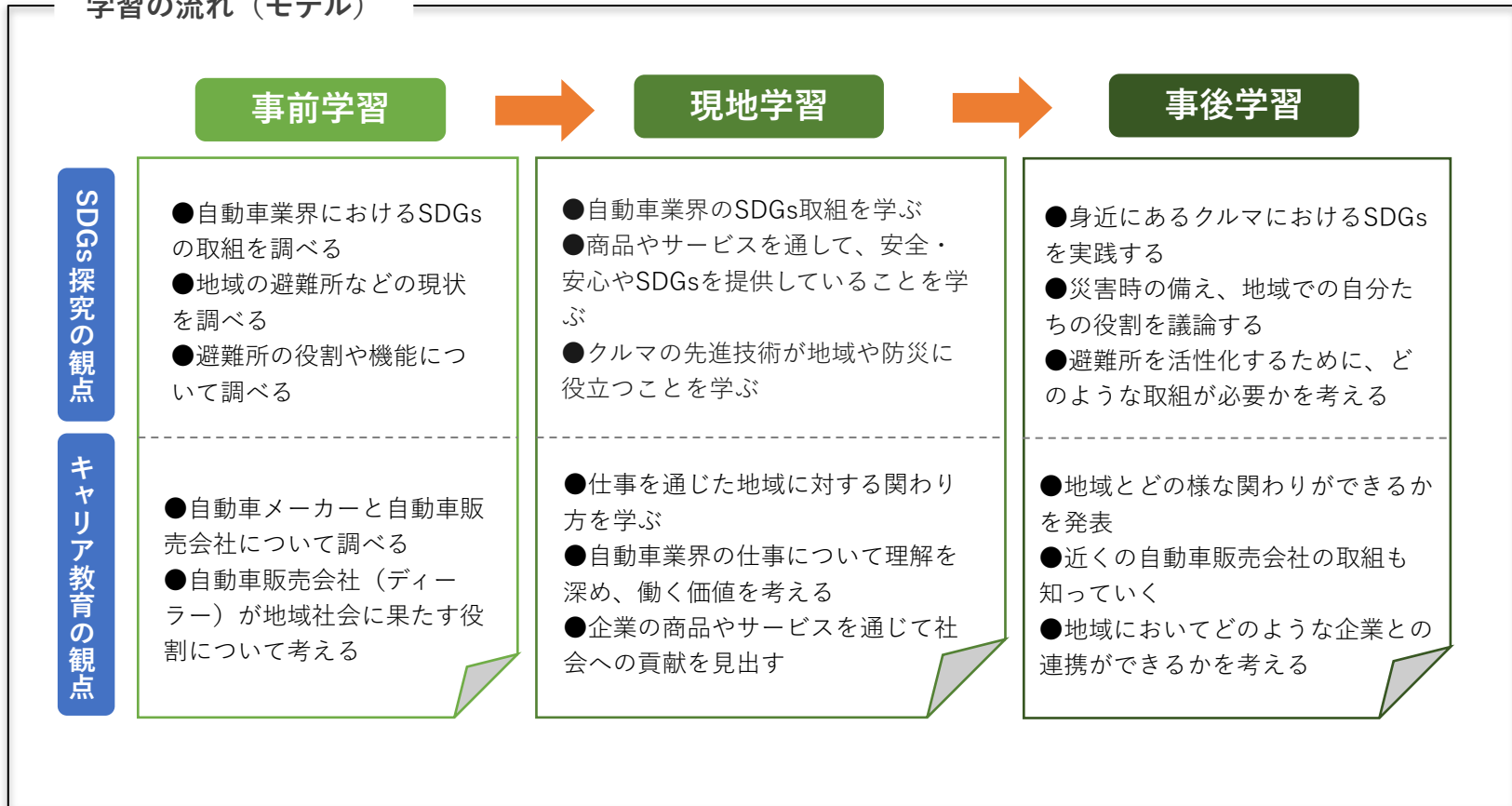


学習のポイント

- ①自動車業界と地域社会の中からSDGsを学ぶ
- ②防災において「できること」を自ら考える
- ③自動車業界から課題解決のヒントを見つける



学習の流れ（モデル）





SDGsのその先へ

チョコレートを通じて答えよう！「学ぶ」こと・「働く」こと・「未来」のこと



『みんなではぐくむ』『お客さまといっしょに取り組む』

フェリシモにはCSRやサステナビリティといった専門部署がありません。なぜなら、社員の誰もが「ともにしあわせになるしあわせ」を実現するための主体的な担い手であると考えているからです。一人ひとりの視点で捉えた環境のこと、生き物のこと、困っている人たちのこと。日々「よりよい未来をつくりたい」と手を挙げる人がいて「みんなでやろう」と共感の輪が広がり、今日もさまざまな活動が生まれ育っています。

LOVE&THANKS基金

「チョコレートの輪が世界中に広がって、誰かのしあわせの種になりますように」という願いを込めて、カタログ「幸福のチョコレート」に掲載のすべてのチョコレートを基金付き商品として販売しています。商品価格の一部は児童労働をなくすための活動やこどもたちの栄養改善につながる活動に運用されます。



プログラムスケジュール例

- 10:00～ SDGsとは？
- 10:15～ ①フェリシモにおけるSDGsの取組み
- 10:45～ ②ワークショップ
- 11:30～ ③『チョコレートミュージアム』見学
- 12:00 終了

実施場所：Stage Felissimo
 実施時間：10:00～12:00 / 13:30～16:00
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：40名～80名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：2,000円/人
 （ミュージアム入場料込み）

①SDGs×探究学習

生徒にとっても、身近なチョコレートを通して、貧困・児童労働・教育問題といった地球規模での課題を知り、それぞれの課題に対して、フェリシモのSDGsの取組みの情報を得ながら、自分なりのSDGsへの取組みを感じる「きっかけ」の場を提供します。



②自社社屋内でのホールを利用したワークショップ

自社社屋内ホールを利用したワークショップにより、教室内とは違った学びの場の提供が可能です。ワークショップを通して、課題に対する理解を深め、その解決に向けて、自らの考えを発信し、社員の方からのフィードバックを貰うことで、より生徒の思考力や表現力の育成を図ります。



③神戸から新しいチョコレート文化の船出を体感

チョコレートには、食べる人も、作る人も、贈る人も、みんなを笑顔にする優しさと力があります。このミュージアムでは、世界のチョコレートやカカオに関する歴史・文化・レジェンド、そして革新にまつわるさまざまな情報やファッションやアートとの繋がりなどを収集・編集・発信します。



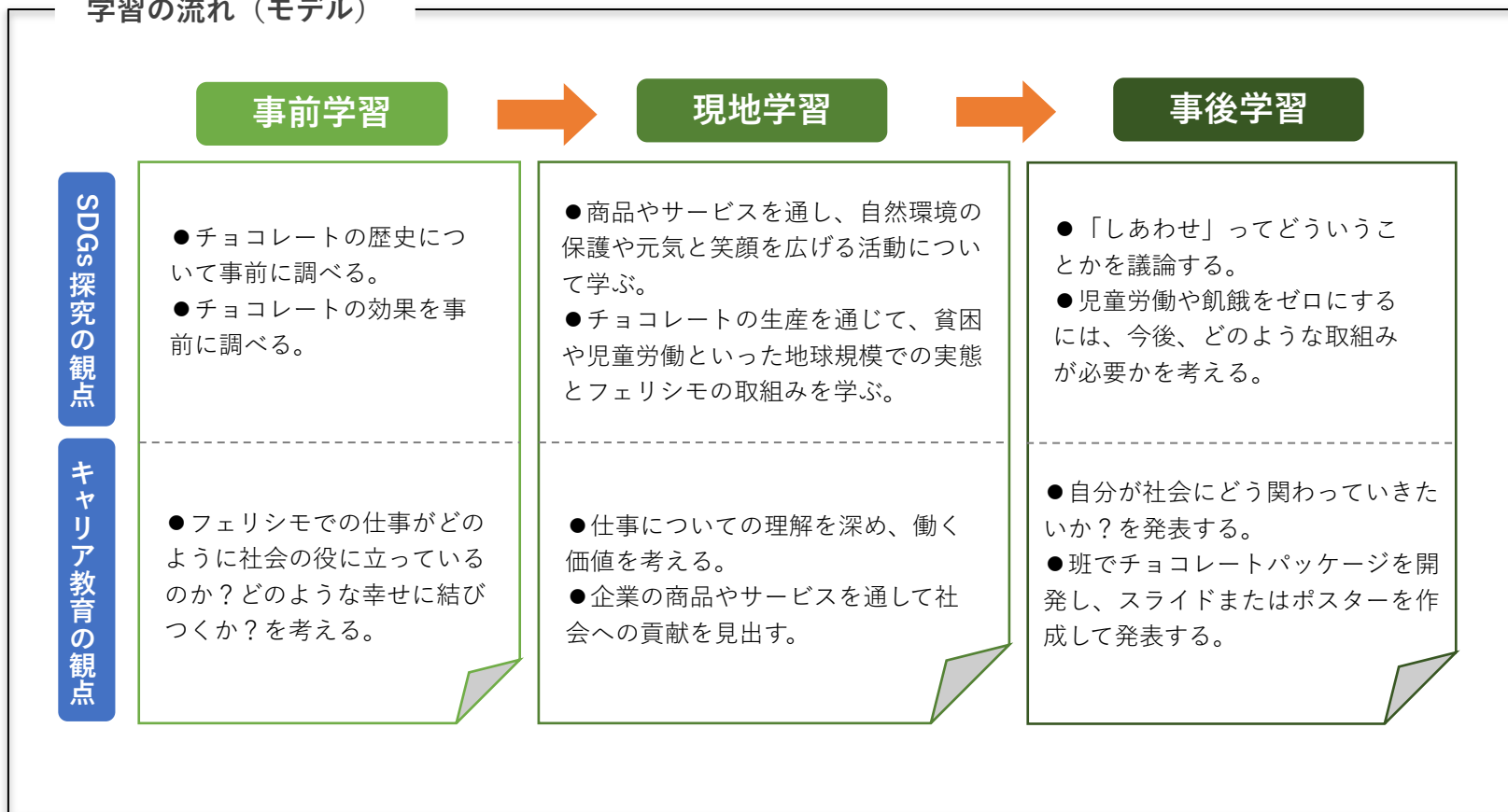


学習のポイント

- ① 身近なものからSDGsを学ぶ
- ② 児童労働の実態を知る
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）



おいしさ、けんこう、
つぎつぎ、わくわく。)



プログラムスケジュール例

- 10:00～ 開始・企業紹介・館内案内
- 10:30～ **【気づく！】**
「生昆布」にまつわる海の環境と生産環境
- 11:00～ **【考えよう！】**
何が本当の問題なのか。
- 11:30～ **【変わろう！】**
わたしたちにできることを宣言しよう！
- 12:00 終了

実施場所：フジッコ株式会社 本社
 実施時間：10時00分～12時00分
 所要時間：120分
 実施可能人員：30名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：1,000円/人

～変わらぬ「おいしさ、けんこう」をお客様に届けるため、
「つぎつぎ、わくわく」とチャレンジを続ける健康創造企業～

「生昆布」で循環型社会の扉を啓く

「生昆布」という商品を通じて、自然（海の環境）や生産をめぐる課題に想いを馳せることにより、「自然の発するメッセージ」を感じるアンテナや、日々を生きる中で、自然をいつくしむ心を育みます。

①企業紹介・キャリア教育など

フジッコは、2020年に創業60周年を迎えました。創業以来、美味しさと健康へのこだわりを柱に、昆布と豆のトップメーカーとして昆布と豆の価値を追究することに加え、新しい食領域への事業拡張や海外をはじめとする新市場の開拓に挑戦しています。



②SDGsの取組みなど

このままでは、「昆布が海からいなくなる！」。フジッコは「昆布製品」を生産する企業として、「生昆布」の商品開発を通じて、昆布をはぐくむ海の環境や、生産にまつわる課題の解決を考え続けています。

③ワークショップ・体験など

複数の動画コンテンツを通じて、今後自分がどう生きるか、どう行動すべきなのかを問い、海の未来を考える力を育みます。



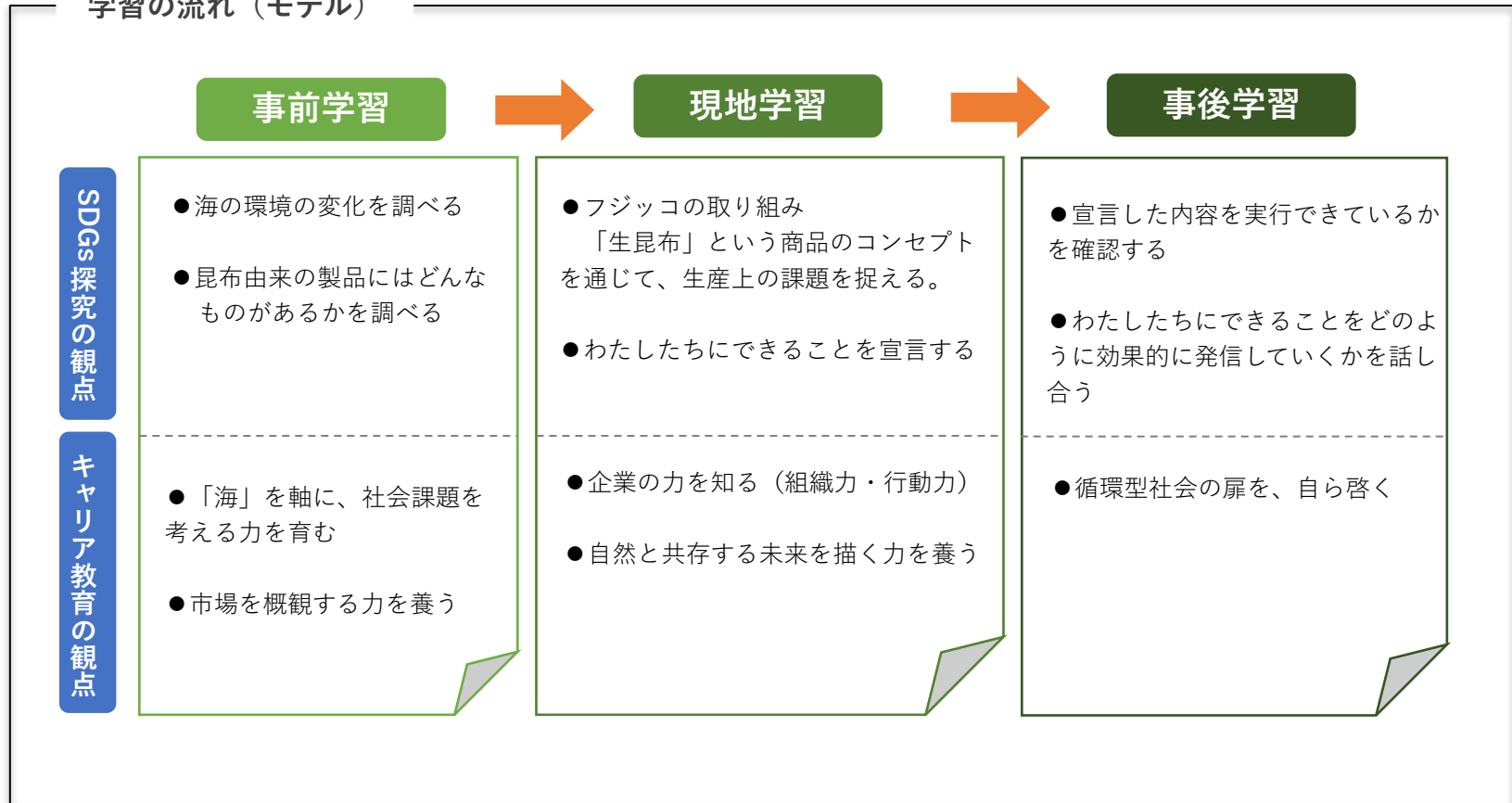


学習のポイント

- ① 自然をいつくしむ心を育む
- ② 真の課題を捉える目を養う
- ③ 未来のために何ができるかを考える



学習の流れ（モデル）



29. 麻酔博物館 + 国際くらしの医療館・神戸

はじめに

プログラムについて

プログラム内容

プログラム内容

プログラムお問合せ



エア・ウォーター

国際くらしの医療館・神戸

～日本最大級の医療産業集積地「神戸医療産業都市」～

「すべての人に健康と福祉を」

麻酔の理解を深め、医療次世代事業の革新に触れる



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①麻酔博物館の見学
→徒歩移動約6分→
- 10:40～ ②国際くらしの医療館・神戸
アテンダーによる館内説明
- 11:40～ ③セミナーホールまたは多目的室にて
質疑応答
- 12:00頃 終了

実施場所：麻酔博物館 + 国際くらしの医療館・神戸
実施時間：平日10:00～17:00の間
所要時間：約2時間
実施可能人員：40名程度
(日程により調整が必要です)
実施費用：1,000円/人

『麻酔博物館』

麻酔の歴史とともに麻酔科医の仕事を紹介する日本医学会の中で初めての歴史博物館です。麻酔科医の仕事は、痛みをとることが中心ですが、近年では重症な患者さんの全身状態を管理する領域へと活動の範囲が広がっております。最近では、心電図やパルスオキシメーターなどのモニタ機器が開発され、麻酔科学は発展を続けています。

『国際くらしの医療館・神戸』

エア・ウォーター（株）が人々の健やかな「くらし」を創造する研究・開発拠点として2019年に設立しました。館内は、研究・体験・交流による新たなイノベーションを創造する5つのフロアで構成されています。医療・ヘルスケア・製品開発をテーマとして、主に・歯髄関連事業・8K映像事業・周術期医療事業・医療関連サービス事業の製品案内や解説により、医療分野を学習することができます。

①麻酔博物館の見学

麻酔に関する歴史や麻酔法の進歩を学びます。
(※事前予約の状況により麻酔医師による説明も可能)

②国際くらしの医療館・神戸

歯髄再生治療の取り組み、8K硬性内視鏡による最先端の手術室、滅菌室などを説明を受けながら見学します。

③見学後に質疑応答

約1時間ほど見学した後に、疑問に感じたことや、健やかな「くらし」を創造する為に必要なことなどをグループで話し合い、質疑応答の時間をとります。



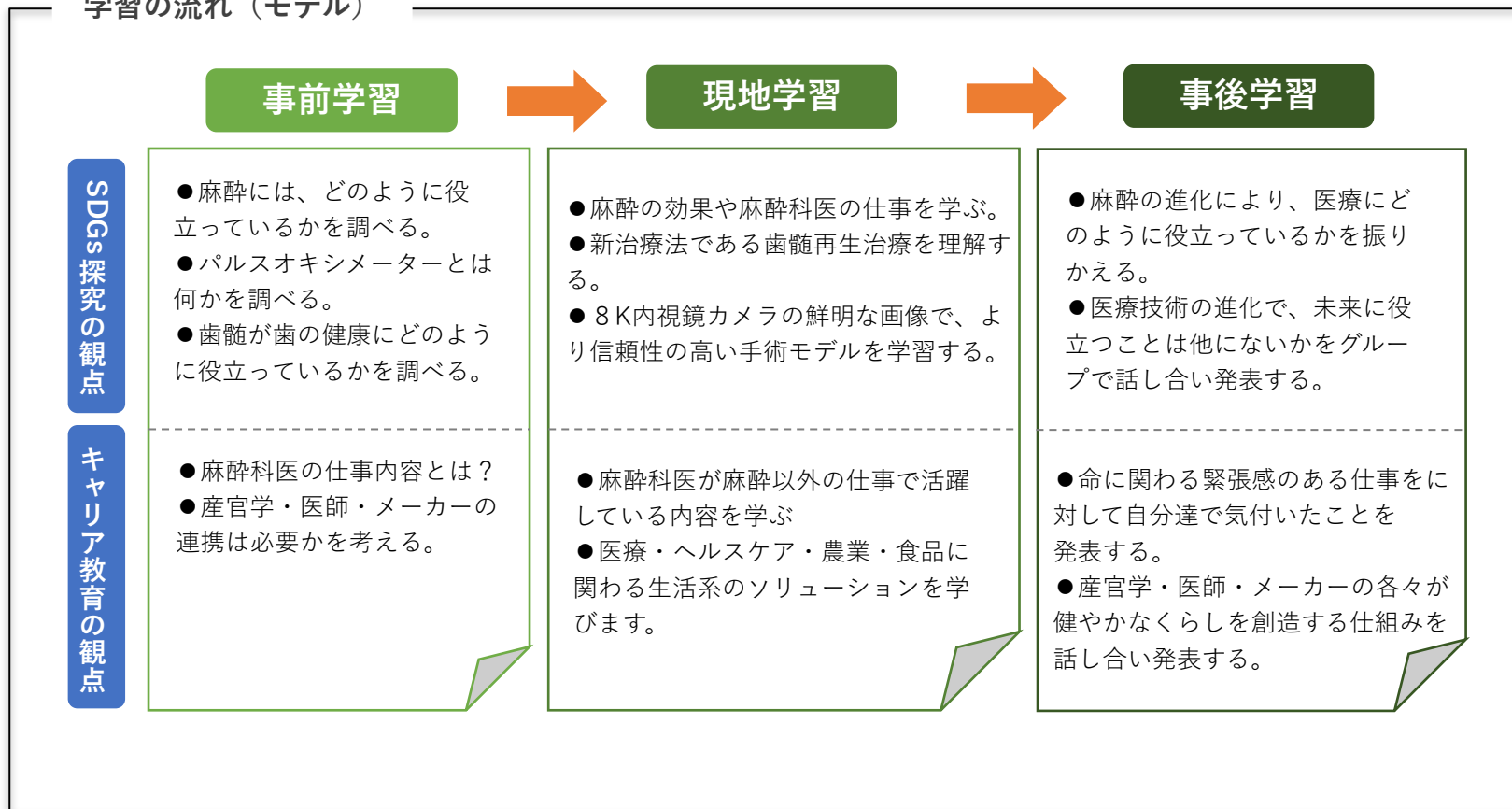


学習のポイント

- ① 「麻酔」「くらしの医療全般」を理解する
- ② くらしを創造する研究・開発拠点を見学する
- ③ 自分の生活に置き換えて未来の生活を考察する



学習の流れ（モデル）





人道支援の地「神戸ジューコム」跡地を見学して 平和や人道支援（難民支援）について学ぶ



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①神戸ジューコム跡地見学と説明
- 10:50～ ②ワークショップ
- 11:20～ ③神戸北野の異人館散策（希望制）
- 12:00 終了

実施場所：神戸電子専門学校 北野館
（神戸市中央区山本通1-6-35）

実施時間：10:00～12:00(応相談)

所要時間：約120分

実施可能人員：10名～80名程度

実施費用：1,500円/人

杉原千畝「命のビザ」のその後をご存じですか？

今からおよそ80年以上前。本校南館の石垣に、神戸ジューコムと呼ばれる「神戸ユダヤ共同体」がありました。世界では第二次世界大戦の戦火が広がり、ナチスドイツのホロコーストと呼ばれるユダヤ人に対する大量虐殺が始まりました。そのころリトアニア日本領事代理 杉原千畝氏が発給した「命のビザ」を受け取り、ヨーロッパから逃れてきたおよそ5000人のユダヤ難民が、福井県の敦賀を経て、神戸ジューコムに逃れてきました。神戸ジューコムの人々はユダヤ難民の支援を献身的に行い、神戸市民との温かい交流もありました。ユダヤ難民は亡命先が決まるまで、神戸の北野町周辺におよそ1年にわたり滞在しました。多くのユダヤ難民が、神戸で命を繋いだのです。



リトアニア
日本領事代理
杉原千畝（1900-1986）
（外務省外交史料館 所蔵）

神戸情報大学院大学

「探究実践プログラム」と「ICT4D」により、「ICTを軸に新たなサービスを提供できる人材」を目指す専門職大学院です。世界中から国や企業を代表して入学する志の高い留学生が多数在籍しています。学びを活かして国際協力の活動に参加している卒業生も多数輩出しています

※専門職大学院とは、従来の大学院理論教育に実務教育をプラスし、高い専門性を有する人材を育成する大学院です。

①神戸ジューコム跡地の見学と説明

神戸ジューコムの跡地である石垣を見学します。また、現存する当時の貴重な写真や映像を交えながら神戸ジューコムの歴史についての説明をします。実際に神戸で支援を受けた難民の方の体験談などから、神戸とユダヤ人との関わりや歴史的背景について学び、平和について考えて頂きます。ユダヤ難民と神戸市民との温かい交流を通じて、人道支援について学びます。

②ワークショップ

難民支援について考え、平和や公正な世の中にするために自分たちができることをグループで考え、発表していただきます。

③神戸北野の街を散策

神戸北野の異人館街を散策します。神戸北野の異人館街は港町として栄え、国際色あふれた、異文化を取り入れた街です。80年前にユダヤ難民たちが過ごした街を散策することにより、難民をあたたく受け入れた、北野の街の多様性を学ぶことができます。



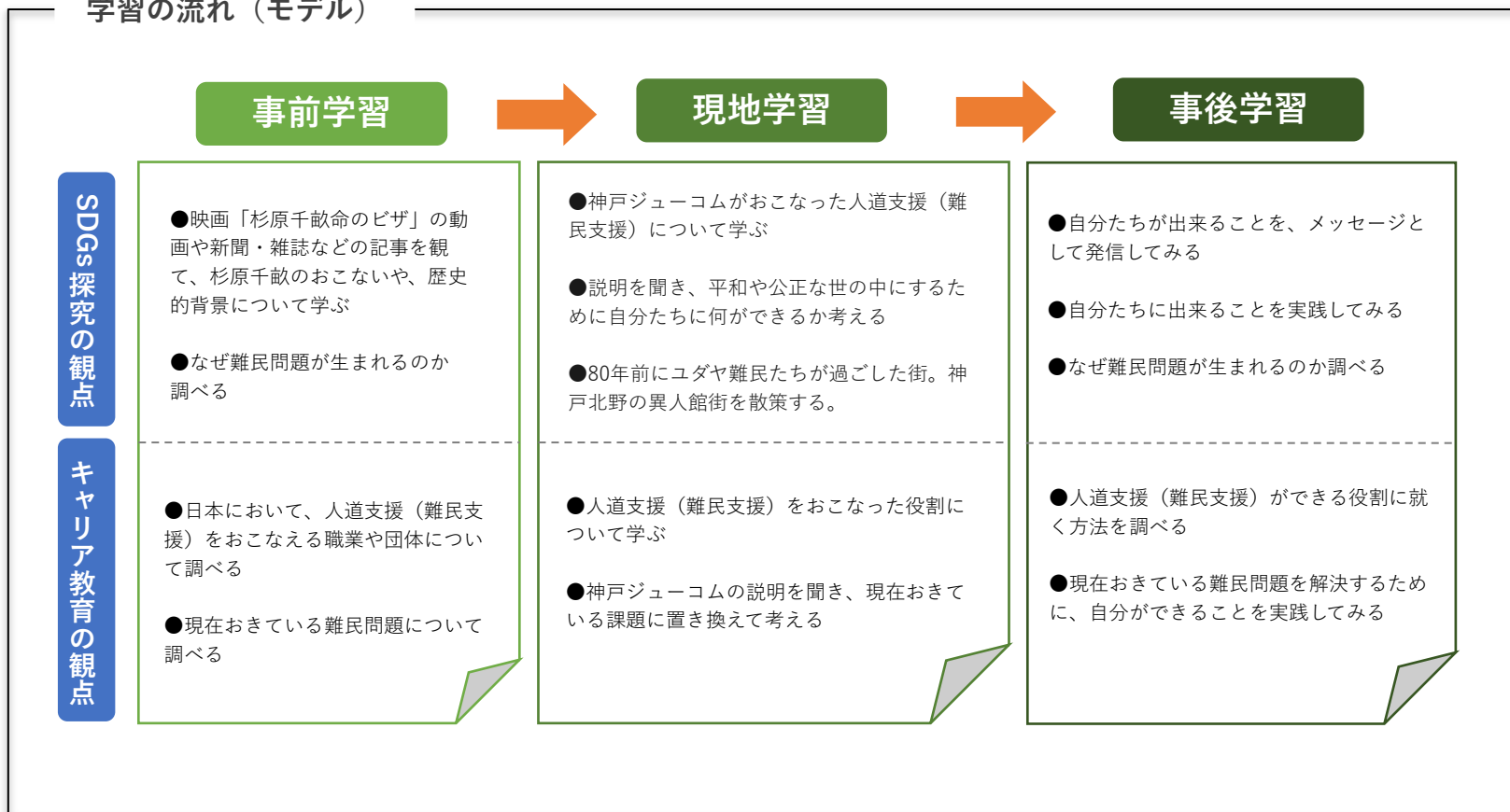


学習のポイント

- ① 人道支援（難民支援）の ところからSDG s を学ぶ
- ② 平和と公正について学ぶ
- ③ 身近に難民がいたら、あなたに何ができるか考える



学習の流れ（モデル）



31. 理化学研究所計算科学研究センター

はじめに

プログラムについて

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ



スーパーコンピュータ「富岳」で科学や社会が抱える課題を解決



プログラムスケジュール例

- 10:00 理研R-CCSの活動と「富岳」概要説明
- 10:20 「富岳」研究成果動画視聴
- 10:40 「富岳」見学、質疑応答
- 11:00 研究者インタビュー動画視聴
- 11:20 まとめ
- 11:30 終了

実施場所：理化学研究所計算科学研究センター（R-CCS）
（神戸市中央区）
実施時間：10:00～12:00
13:30～15:00
15:00～17:00
所要時間：約90分
実施可能人員：10名～70名
実施費用：無料

「デジタルツインで最適解を導き出す」

あらゆるモノ、空間、機能、サービスがスマート化し、つながり合う複雑な世界が確実に現実化しつつあります。

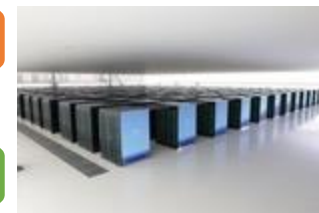
このような社会における複雑に絡み合った課題の解決方法の一つが、

「さまざまな社会システムの横断的な連携と最適化」です。

それを実現するためには、コンピュータの中に再現した仮想社会と実社会を膨大なデータで繋ぎ合わせ（デジタルツイン）シミュレーション・ビッグデータ解析・AIによる予測の繰り返しにより解決策を検証する必要があり、それらの下地となるスーパーコンピュータの役割を学びます。

①理研R-CCSの活動と「富岳」概要説明

「富岳」の概要を学びます。



②「富岳」研究成果視聴

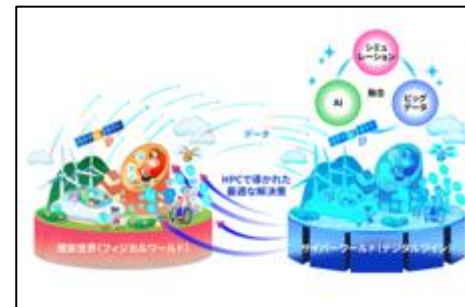
「富岳」で生み出されたさまざまな研究成果を学びます。

③見学後に質疑応答

実物の「富岳」を見て、聞いてみたいことを質問しましょう。

④研究者インタビュー動画視聴

なぜ研究者になったのか、
中学高校生へのメッセージなどを含む
スーパーコンピュータの研究者の
インタビューをキャリアの参考にしよう。



31. 理化学研究所計算科学研究センター

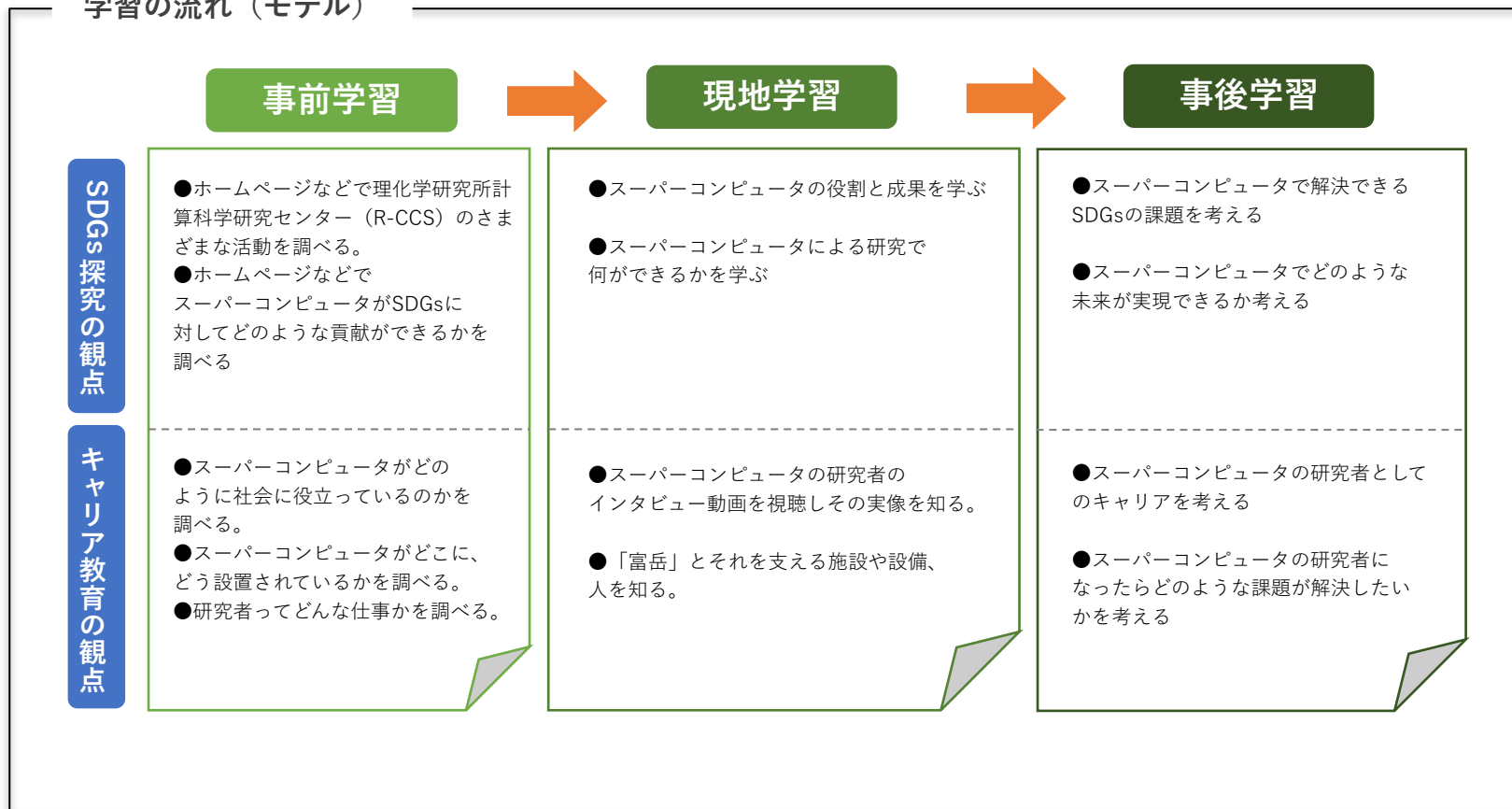


学習のポイント

- ① スーパーコンピュータの役割と研究成果を学ぶ
- ② 「富岳」を通じて最先端科学について考える
- ③ 研究者の仕事とキャリアを知る



学習の流れ (モデル)





CO₂ゼロ修学旅行 ～地球にイネ！ 修学旅行で持続可能な社会に貢献～



プログラムスケジュール例

- 10:00～ カーボンニュートラルとは？
- 10:15～ JTBの取り組みについて
- 10:45～ ワークショップ
- 12:00 終了

実施場所：株式会社JTB 神戸支店

実施時間：10:00～17:00

所要時間：約2時間

実施可能人員：～80名(2クラス)

実施費用：1,500円/人

「CO₂ゼロ修学旅行」

CO₂ゼロ修学旅行は、修学旅行中に排出するCO₂をグリーン電力の価値を購入することで実質ゼロにするものです。CO₂の排出は、国連が定めたSDGsの取り組みからもわかるように、今や世界的に大きな問題です。

「未来の子どもたちのために、少しでも美しい地球を残したい」「子どもたち自身にもSDGsへの関心を高めてほしい」そんな思いからこのプログラムは生まれました。

この取り組みの学習を通して、「温室効果ガス削減」「地球温暖化」

「カーボンニュートラル」といった地球規模の課題を、一緒に考えてみませんか？

①身近な修学旅行からJTBの取り組みを知る

JTBは、2007年よりエコツアーブランド「GreenShoes（グリーンシューズ）」や「LOVEARTH（ラバース）」などの旅行商品を中心に「CO₂ゼロ旅行」を販売してまいりました。「CO₂ゼロ旅行」には延べ17,765名が参加し、総発電量914,200 k Whの自然エネルギーを調達することで、旅行の際の移動などで排出されたCO₂を相殺しました。このカーボンオフセットの仕組みを利用して削減したCO₂量は447トンに相当します。



②ワークショップを通してカーボンニュートラルを学ぶ

2020年10月、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。また、海外を見渡せば2050年までのカーボンニュートラルにコミットした国と地域は、123カ国・1地域に上り、最大のCO₂排出国である中国、アメリカもCO₂削減に大きく舵を切り始めました。日本としても大きな決断をしたものの、未来への課題は山積みです。技術の進歩や産業構造の変化の中で、私たちができることは…環境省が作成した動画『2100年 未来の天気予報』を題材に、地球温暖化対策による影響・被害の可能性についてカーボンニュートラルに関する基礎的な知識を抑えながら、日々の行動の中でできることを考えるワークショップを提供します。



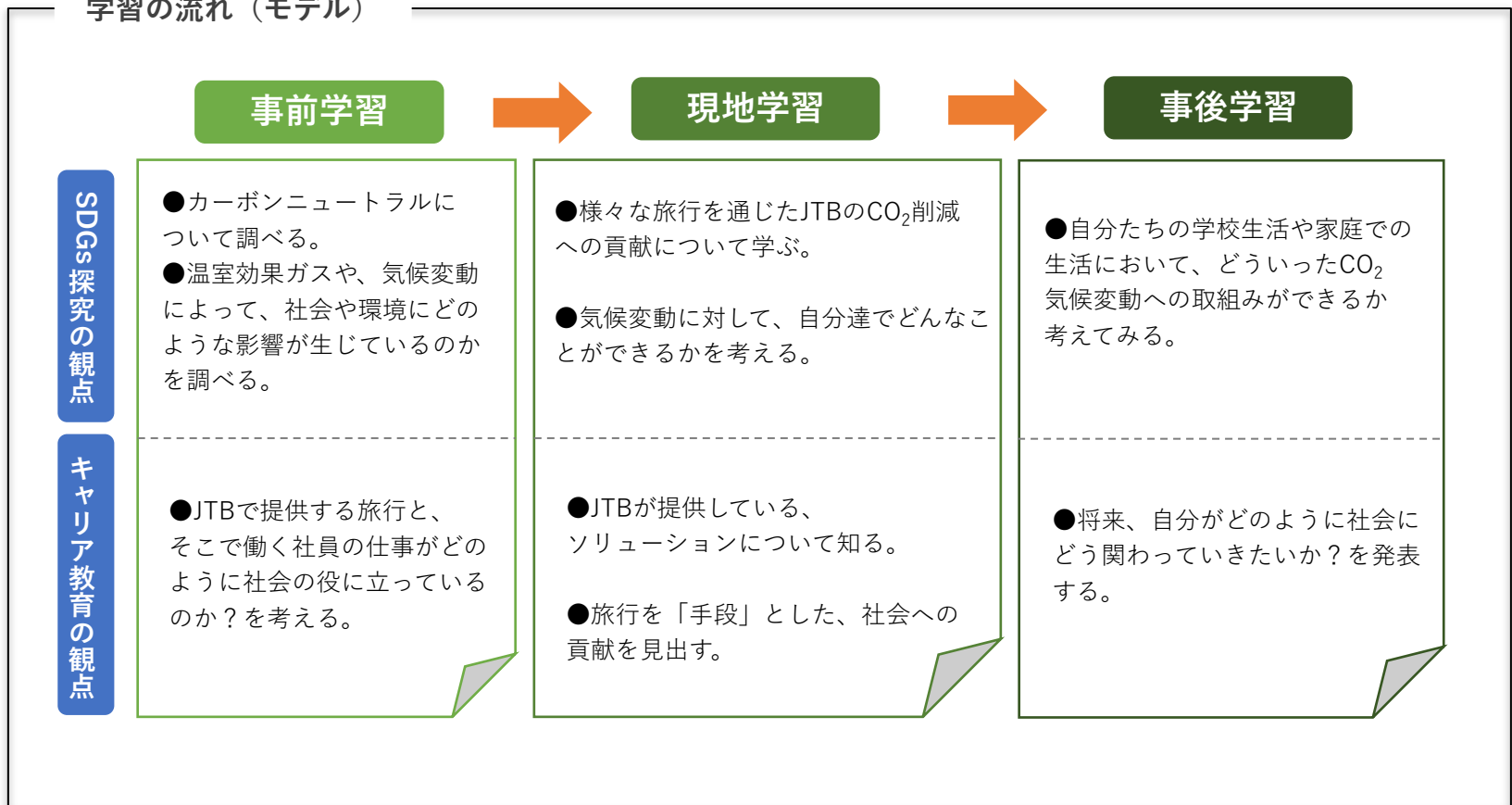


学習のポイント

- ① 身近なものからSDGsを学ぶ
- ② 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国レベルの取組を学ぶ
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ (モデル)



イケアのサステナビリティ戦略とその取り組みを学ぶ



イケアは、「より快適な毎日を、より多くの方々に」をビジョンとするスウェーデン発祥のホームファニッシングカンパニーです。そして、イケアが掲げる2030年までの大きな目標は、人だけでなく社会、地球という家に対して、ポジティブな影響をもたらす「ピープル・アンド・プラネット・ポジティブ」な状態になること、そして、多くの人々が限りある資源のなかでより快適な暮らしを実現できるよう、インスピレーションを提供し、その力となることです。

プログラムスケジュール例

11:00～ スタッフによるイケアのサステナビリティ戦略
についてのプレゼンテーション

11:50頃～

【プランA】

IKEA神戸にて、その取り組みを理解するため店内を自由見学
及びIKEAギフトカードにてお買物体験。

12:30頃 終了

【プランB】

IKEA神戸にて、スタッフによるガイド付きでその取り組みを
見学し、その後IKEAギフトカードにてお買物体験。

13:00頃 終了

実施場所：IKEA神戸

実施時間：11:00～16:00

実施曜日：平日

各プラン詳細：プランA及びプランBは上記を参照

人数上限：プランA 30名～80名程度/ プランB 30名～60名

費用：1,000円/人

*お買物体験用にIKEAギフトカード1000円分をご用意します。

①スタッフによるイケアのサステナビリティ戦略の プレゼンテーション

イケアでは、「ピープル・アンド・プラネット・ポジティブ」をサステナビリティ戦略とし、2030年に向けた共通の課題に対する目標とコミットメントをまとめています。この戦略において「健康的でサステナブルな暮らし」「サーキュラー＆クライメートポジティブ」「公平性と平等性」という3つの注力分野を設け、積極的に課題解決に取り組んでいます。本プログラムでは、この取り組みをイケアの歴史からひもといてご紹介します。

②お買物体験を通して、店内を見学

イケアでは、店内の掲示物を通して多くの方々にサステナブルへの取り組みや、サステナブルに暮らすヒントなどお伝えしています。

このような掲示物を見つけながらお買物体験をして頂きます。

- サステナブルなアイデアがいっぱいのルームセット、ホームセット
- サステナブルリビングショップ
- サーキュラービジネスを実践しているサーキュラーマーケット
- 太陽光発電の稼働状況がわかるモニターなど。

33. IKEA神戸

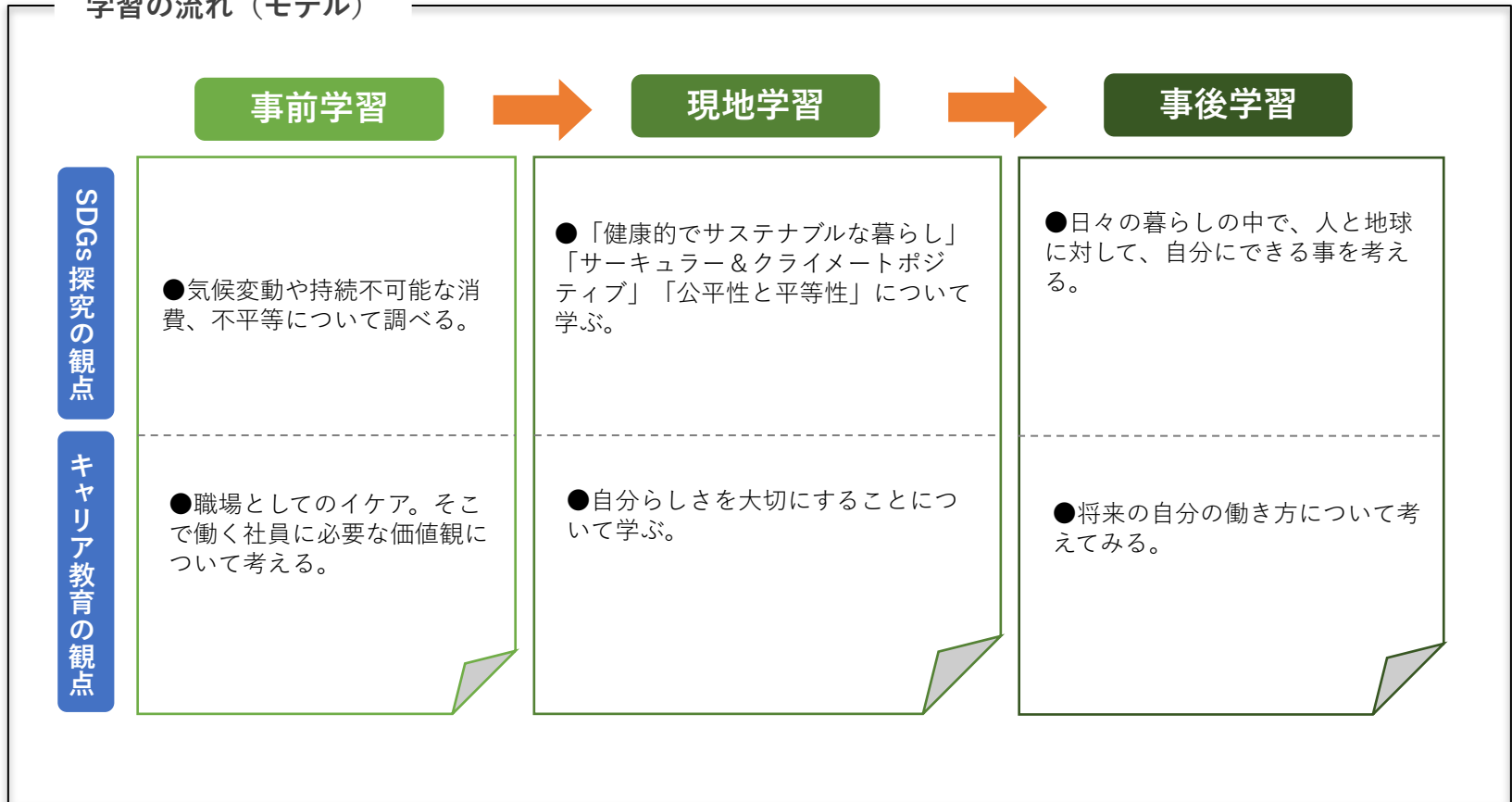


学習のポイント

- ① ピープル&プラネットポジティブを理解する
- ② サステナブルに暮らす方法を学習する
- ③ 日々の暮らしの中で実践できる事について考える



学習の流れ (モデル)





人工芝コートを雨水で冷却 SDGs取り組むサッカー場



「スポーツを通じたSDGsへ」

スポーツを通じたSDGsへの貢献は海外では進んでいます。特に先進地のオランダの首都アムステルダムには、100カ所以上の人工芝コートがあり、子どもたちが気軽にサッカーを楽しんでいます。ただ、人工芝は強い日差しを浴びるとアスファルトよりも温度が上昇する弱点があり、その問題を解消するのが、コートの地下に雨水をためて気化熱で人工芝を冷やす設備。夏場は60度にもなる表面温度を4割ほど下げられます。スポーツを通じた、気候変動への具体的な取り組みなどを学び、SDGsについて考えるきっかけを提供します

FC BASARA HYOGO

元サッカー日本代表の岡崎慎司選手が理事を務める、(一社)Misterが運営する総合型地域スポーツクラブ。2014年には、ドイツ(マインツ)にFC BASARA MAINZを創設。Jリーグ参入はもちろん、グローバルに活躍できる人材の輩出と、地域コミュニティを通じてサステナブルな共生社会を実現を目指している。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ MinisterのSGDsの取り組みについて
- 10:30～ ワークショップ
※海外でのSDGsの取組や、スポーツを通じたSDGsに関するテーマ
- 11:15～ ピッチ体験
- 11:30 終了

実施場所：Basara Village Green (愛称: BVG)

実施時間：10:00～16:00

所要時間：約1時間30分

実施可能人員：20名

実施費用：1,500円/人

①環境志向

ピッチの下に雨水を貯水できる、オランダの新しいグリーンインフラを導入。真夏の人工芝は最高60度まで上がるとされ、この機能を使えば最大40%カットできるので、ヒートアイランド現象を抑える効果が期待できる。ピッチの表面温度が下がれば、選手は快適で、パフォーマンスも向上する。実際、イングランド・プレミアリーグの名門、リバプールの本拠地アンフィールドにも同じシステムが導入されている。



②防災への取り組み

アムステルダムでは、都市の高温化の抑制に加え、オランダは国の大部分が海抜ゼロ地帯のため、気候変動で増えるゲリラ豪雨や大雨が社会問題になっている。街に水があふれる状況を防ぐため、駅前の中心地ではアスファルトを石畳に張り替え、その下に人工芝と同じシステムを埋め込み、雨水の逃げ場を造っている。また、我々は神戸のスポーツクラブである為、阪神・淡路大震災の教訓を生かし、断水の影響で、トイレなど生活水の確保に困らないよう、非常時になれば、蓄えた雨水を住民に配る災害対応も行う。



③「ひょうごフィールドパビリオン」SDGs体験型地域プログラム

ひょうごフィールドパビリオンは、2025年「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催される、大阪・関西万博を舞台に、地域の「活動の現場そのもの(フィールド)」を、地域の方々が主体となって発信し、多くの人に来て、見て、学び、体験していただく取組である。我々のサッカー場も、『SPORTS FOR CLIMATE ACTION～雨水循環型スポーツピッチの取り組み～』として認定をされた。

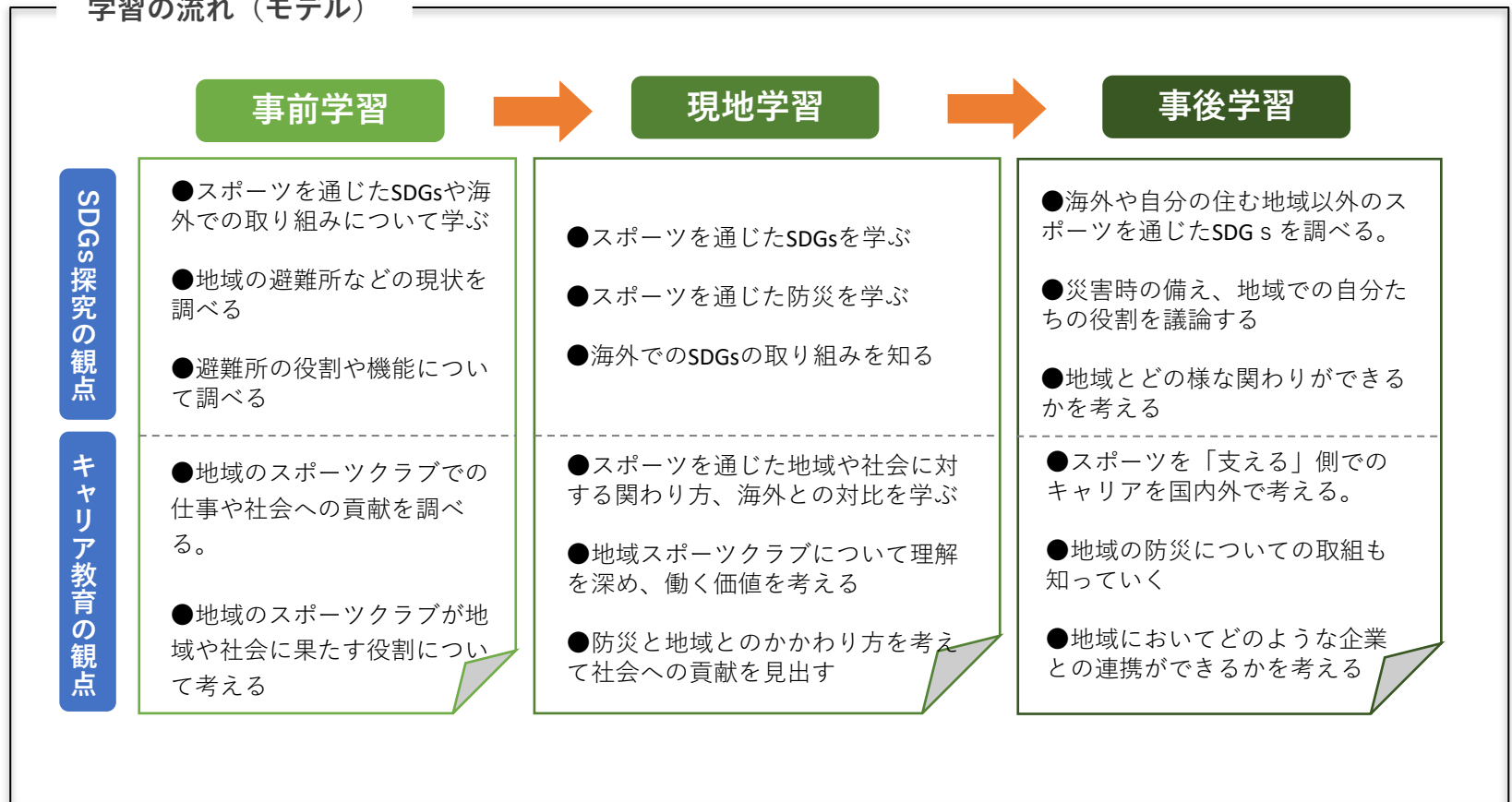


学習のポイント

- ① スポーツを通じたSDGsを学ぶ
- ② スポーツを通じた防災を学ぶ
- ③ 海外でのSDGsの取り組みを知る



学習の流れ（モデル）





「地球をワクワクに変える」

～社会の課題を発見し、挑人® (=挑戦する人) たちと共に世界をより良く変えていく～

何か新しいことを挑戦しよう。

『あなたと同じ視点で問題解決を提供する』企業は何かを提供しないと生き残りはできない。私たちは「問題解決」を提供している。もっと言えば「機会開発」を提供しようとしている。問題を発見しその解決に挑戦する限り、他から必要とされるため企業として滅亡することはない。



「シュリンク包装とは」

シュリンク包装とは、熱を加えることで収縮するフィルムの性質を利用し、容器にそってぴったり収縮させる包装のことです。清涼飲料などのPETボトルや調味料などの食品、化粧品、医薬品、生活用品など広い分野で採用されています。また、シュリンク包装はラベルをはがしやすいため、分別のしやすさもメリットの1つです。容器に直接印字をしたびんやアルミに比べ、リサイクルが容易という点でも環境保護に貢献する包装として注目を集めています。減プラ、エネルギー使用量、リサイクル…。さまざまな観点でTORNADO®は環境にやさしいシュリンク包装を実現します。
(「神戸発・優れた技術」認定)

プログラムスケジュール例

- 10:00～ 社長によるセミナー
 - ・企業の取り組み
 - ・SDGs、環境問題
 - ・キャリアについて
- 10:30～ ワークショップ
 - ・ディスカッション
 - ・プレゼンテーション
- 11:15～ 工場・オフィス見学
- 12:00 終了

①フィルム包装の課題を解決するオンリーワン技術の新製品

「熱旋風式シュリンク装置TORNADO® (トルネード)」海外勢の影響が少ない食品・化粧品・医薬品の3品業界向けに絞り、フィルム包装の課題を解決する独自技術の製品です。これが今日まで20年以上、我が社のパッケージ事業を牽引するロングセラーとなりました。販路は国内外30カ国以上に広がり、多くのグローバル企業にも納めています。



②社長自らの講話により、経営者目線での「キャリア」を学ぶ

『あなたと同じ視点で問題解決を提供する』を企業の価値観としています。企業は何かを提供しないと生き残りはできません。私たちは「問題解決」を提供しています。もっと言えば「機会開発」を提供しようとしています。問題を発見しその解決に挑戦する限り、他から必要とされるため企業として滅亡することはありません。当社では、『プロフェッショナル制度』の導入などにより、企業内起業家を応援する取り組みを行っています。



③問題解決を提供する「ソリューションコーディネーター®」

「地球をワクワクに変える。社会の課題を発見し、挑人® (=挑戦する人) たちと共に世界をより良く変えていく」2001年に定めた経営理念・価値観に基づき、製造業向けの問題解決サービスを提供してきましたが、さらに2021年のパーパスに基づき、多様な価値を組み合わせて事業展開する「ソリューションコーディネーター®」として歩み始めています。



実施場所：日本テクノロジーソリューション株式会社
実施時間：10:00～16:00
所要時間：約2時間
実施可能人員：80名
実施費用：2,000円/人

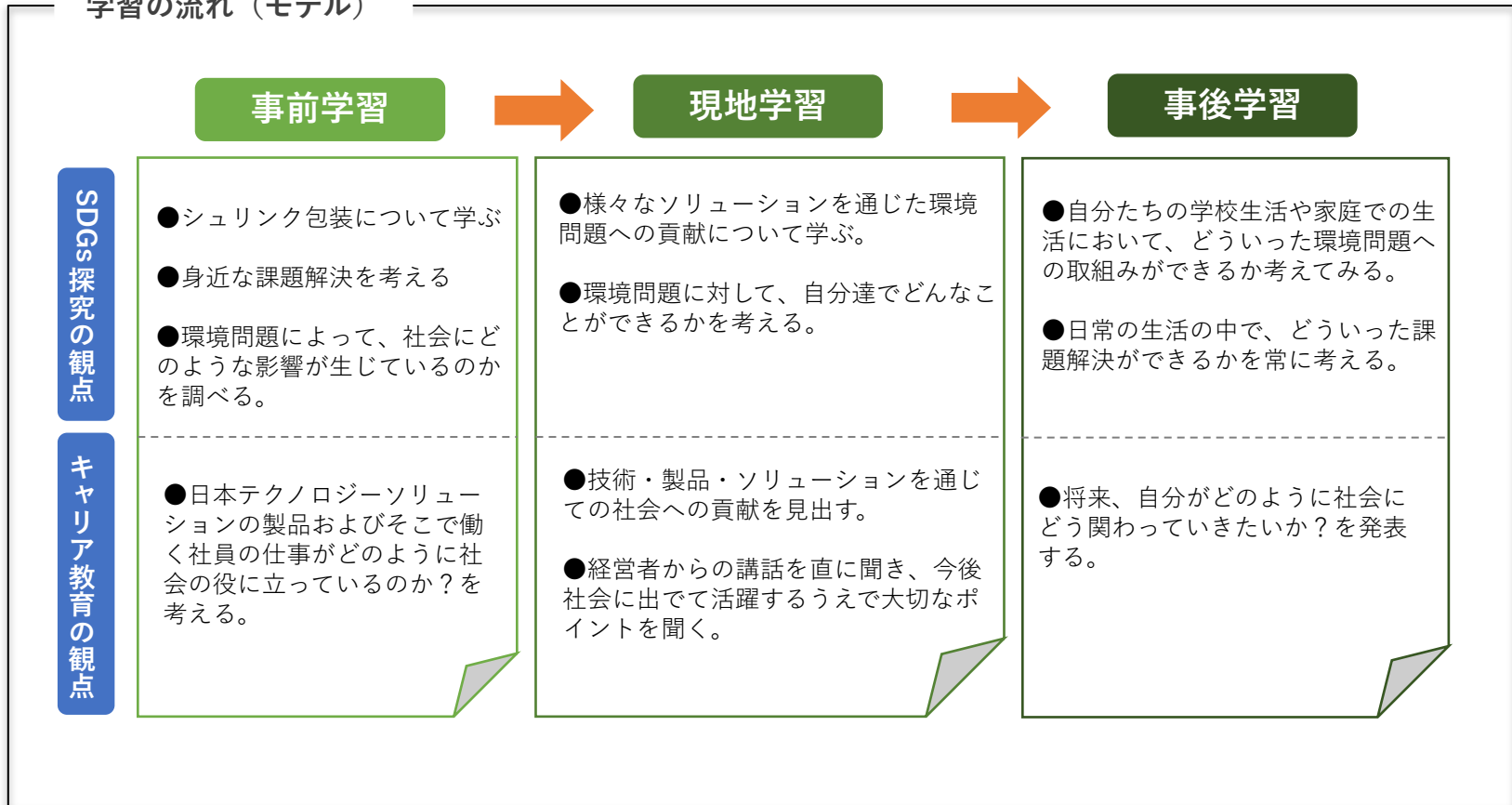


学習のポイント

- ① 経営者から「社会で必要な考え方」を学ぶ
- ② 環境問題を考える
- ③ シュリンク包装を通したSDGsを学ぶ



学習の流れ（モデル）



36. NPO法人Peace & Nature



～日本の課題を肌で感じ、ビジネスチャンス（起業）に対する発想を「Mind Set」する～

グリーンリーダー育成探究プログラム



Peace & Natureのミッションと取り組み

『地球の平和と環境』をテーマに活動を行い、農山村の活性化と都市と農村の交流を促進し平和で自然環境に恵まれた地球の創造に寄与することが目的です。SDGsについて、若者が現場で体験しながら、地域や社会・環境の課題に気づき、自らが解決に向けて行動できる「グリーンリーダー」を育むことを目指します。

「代表理事 バハラム イナナル さんからのメッセージ」

「高齢化」「日本における食料自給率の低さ」「第一次産業に携わるに若手の少なさ」という諸課題。海外目線での「これからの日本に足りないもの」「課題をビジネスへ」の発想転換の重要性。この想いを生徒の皆さまにぶつけることからこのプログラムがはじまります。関西エリアの兵庫県には、SDGsを育む豊かな土壌があります。様々な人と繋がり、「子孫良し（将来の子どもたち）」「地球良し（世界の人々良し）」のサステナブルの観点で考えると面白いと思います。是非、大沢ファームへお越しください。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ SDGsセミナー
 - ・地域における環境
 - ・社会課題
 - ・Peace & Natureの取り組み
- 10:45～ 体験・ワークショップ
 - ・農業体験
 - ・森林保全体験 等
 - ※実施時期により内容調整
- 12:15～ 振り返り
- 12:30 終了

実施場所：大沢ファーム（神戸市北区大沢町）
 実施時間：10:00～16:00
 所要時間：約2時間30分
 実施可能人員：20名～
 （100名以上の修学研修も可能、要相談）
 実施費用：3,300円/人

①海外目線でのSDGs ～バハラム代表理事～

1964年イラン・テヘラン生まれ。イラン・イラク戦争を体験し、平和に憧れ1989年に初来日。“和のこころ”を大切に、日本が大好きである。1995年、阪神淡路大震災が起き、横浜からボランティアで初めて神戸を訪れ、人々の逞しさと明るさに感銘し、神戸に住居を構え、在日34年目。現在は環境活動の一環として地域の里山保全・森林保全にも取り組んでいる。持続可能な地球環境を次世代へ引き継ぐことを目的に自然の中で食や環境づくりが体験できるように、様々なイベントやプログラムを開催中。現在45ヶ国のメンバー450名が在籍し、共に活動している。



②グリーンリーダーの育成

①竹伐採体験/竹パウダーづくり体験②稲藁織り体験/菰樽づくり体験③植樹体験（土づくり、下草刈り、植樹の体験）④畑づくり・植付け・収穫体験（枝豆収穫体験など）等の実際の体験を通して、自然から学び、地域や社会の課題を知り、解決に向けて行動する人材を目指すきっかけになることを願っています。



③令和5年度 神戸市SDGs表彰の「大賞」を受賞

2023年度神戸市SDGs表彰の「大賞」を受賞。外国人と日本人や多様な幅広い年齢層が20年間に渡りSDGsのコンセプトがない時代から一緒に活動していること、大沢の地域に根付き、食や環境の取り組みを広く展開してきたこと、また大学/学校・企業・地域・行政が協働してSDGs17番のパートナーシップを実践していることは、とても神戸らしくユニークな組織であることを評価頂きました。



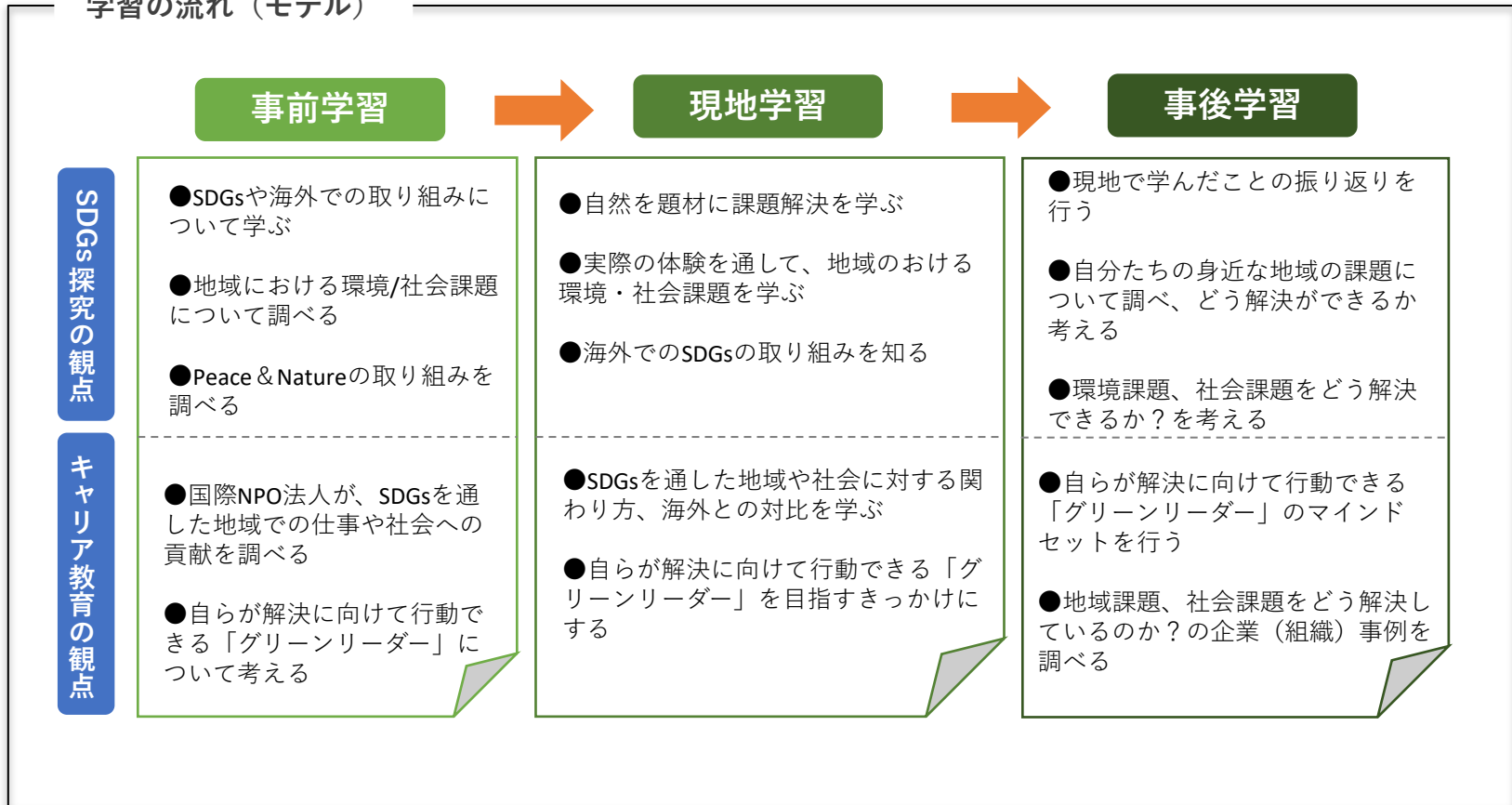


学習のポイント

- ① 自然を題材に課題解決を学ぶ
- ② 地域における環境・社会課題を学ぶ
- ③ 海外でのSDGsの取り組みを知る



学習の流れ（モデル）



37. 株式会社ソウルメイト

違いを越えてひとつになれる場をつくり新しい価値を生み出す！ 「平和と公正をすべての人に」を目指して



私たちソウルメイトの教育プログラムは、誰かから教えられるわけでもなく、ネット上で情報を拾うのでもなく、「体験・体感」から自ら気づき学ぶことで、参加者たちが主体的なマインドセットして、変化適応が可能な強くしなやかなチームづくりへの気づきを得ることが出来ます。

クラス全体が「一丸」となる経験を提供し、「この仲間たちでよかった」と思える関係性の高いクラスづくりのためのプログラムを実施し、違いを越えてひとつになることで「平和と公正」を意識し、生徒達がクラスや実社会に戻っても主体的なクラスづくりへのアクションを生み出します。

プログラムスケジュール例

- 10：00～ ソウルメイトにおけるSDG'sの取り組み
- 10：30～ クラスでのワークショップ①
多様な価値観に触れる
- 11：00～ クラスでのワークショップ②
すれ違いがちなコミュニケーションを知る
- 11：30～ クラスでのワークショップ③
クラス全員の叡智を結集して達成にむかう
- 11：45～ ふりかえりとアクションプラン宣言
- 12：30～ 終了

実施場所：天空×大冒険ソラカケル（雨天時 三宮室内会場）
実施時間：10：00～12：30（150分 貸し切り対応）
13：30～16：00 午前または午後を選択
所要時間：2時間～2時間半（要相談）

人数上限：30名～120名（最少催行人数30名）
実施費用：3,000円/人（税別）

①企業紹介とわたしたちの取り組みについて

たくさんの個性と多様性があるからこそ、意見やプロセスは人それぞれ。そんな違いがあるからこそ生まれる、想像を超えるアイデアや、自由闊達な議論など、「違っててもいいんだ。違ってからの素晴らしい」と気付く人と社会を目指すわたしたちの取り組みをわかりやすく説明します。



②体験から学ぶ（グループワークによる体験学習）

違った個性をもつメンバーが叡智を結集させて課題にチャレンジする体験。答えが分からない予測不可能なワークショップを通じて、自分自身の思い込みに気付いたり他者理解を深めたりしながら、相互理解やクラスでの行動規範などを明確にしていきます。



③グループでアクションプランを発表

「体験で得た気づきを、実社会で実践するためには？」といったテーマを小グループで対話し、具体的なアクションプランを言語化し、クラス全体にコミットメントします。



37. 株式会社ソウルメイト

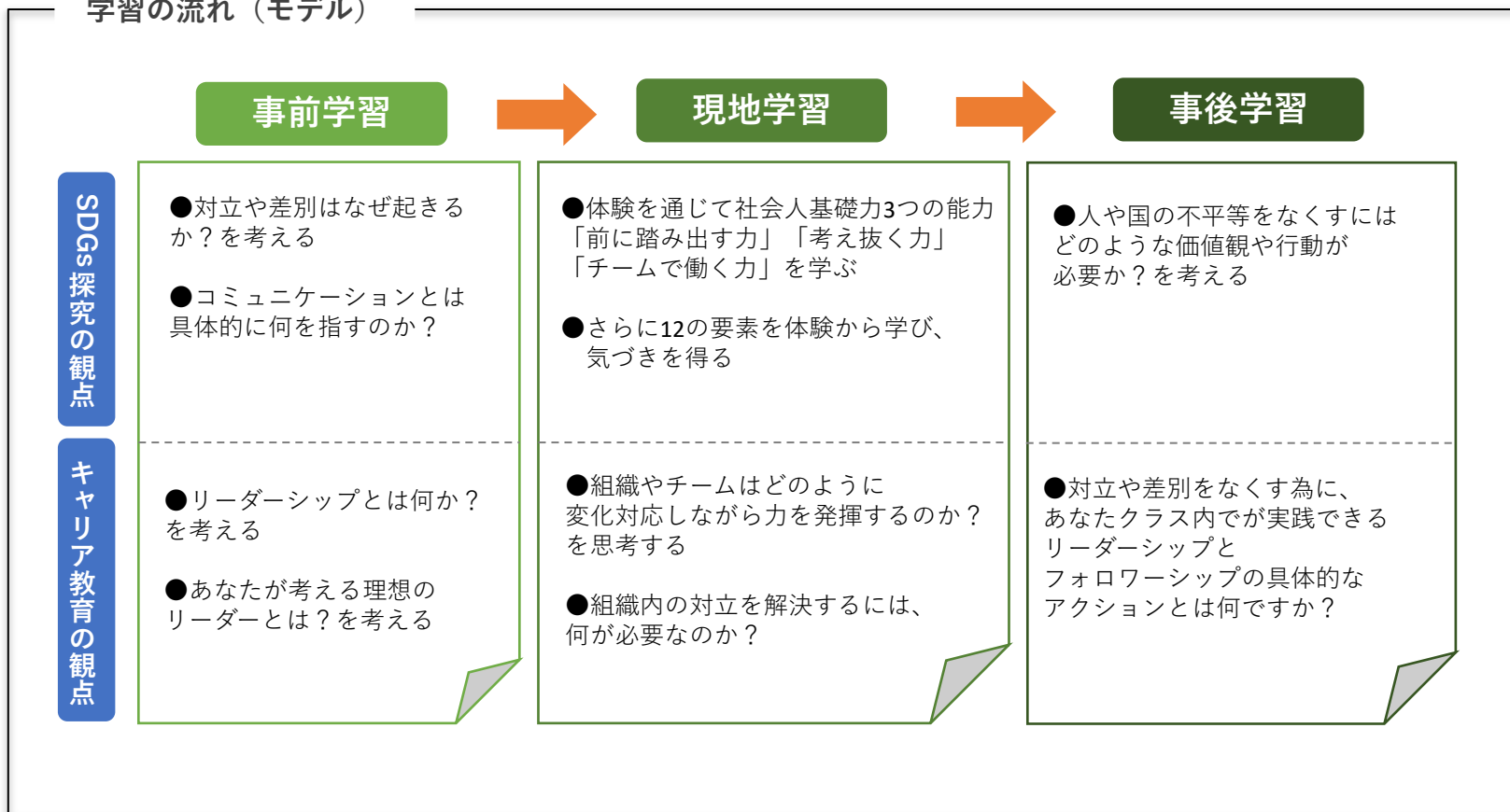


学習のポイント

- ① コミュニケーションとは何か？を考える
- ② 対立や差別は何で起きるのか？原因を探る
- ③ 強くしなやかなチームを作るためには何が必要か？を考える。



学習の流れ（モデル）



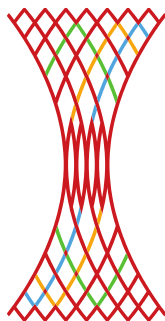
神戸SDGs探究プログラムのサポート体制

当日の研修を円滑に進行できるように万全なサポートをいたします。(別途費用が発生します。)

1. 各研修場所へ幹旋員の配置
2. 貸切バスの駐車案内
3. 生徒様の誘導
4. 当日のスケジュール管理
5. 当日人数変更の調整



神戸SDGs探究プログラムのお問合せ



KOBE TOURISM BUREAU
神戸観光局

一般財団法人 神戸観光局

TEL : 078-571-0120

MAIL : kobe_sdgs@bsec.jp

探究手帳（赤：SDG's、青：キャリア学習）

ご希望に応じて訪問団体の事前学習資料「探究手帳」をご用意しております（データ納品）
SDGsプログラム事務局へお問い合わせください

This is a red notebook template for SDG's learning. It features a central title page with the text '神戸の企業・団体からSDGsを学ぼう。' and 'Why!?! KOBE educational program'. The notebook is divided into several sections: a top-left section for 'summary' with a '03' marker and a 'learn' sub-section; a top-right section for '11' with a 'learn' sub-section; a middle section for '01' with a 'learn' sub-section; and a bottom section for '先生から' (from the teacher) with a 'learn' sub-section. The notebook also includes a '神戸心算' logo and a 'プログラムテーマ' (Program Theme) section.

This is a blue notebook template for career learning. It features a central title page with the text '神戸の企業・団体から自分の未来について考えよう。' and 'Why!?! KOBE educational program'. The notebook is divided into several sections: a top-left section for 'summary' with a '03' marker and a 'learn' sub-section; a top-right section for '11' with a 'learn' sub-section; a middle section for '01' with a 'learn' sub-section; and a bottom section for '先生から' (from the teacher) with a 'learn' sub-section. The notebook also includes a '神戸心算' logo and a 'プログラムテーマ' (Program Theme) section.

神戸市は当プログラムを通じて持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



神戸市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。